

津市

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

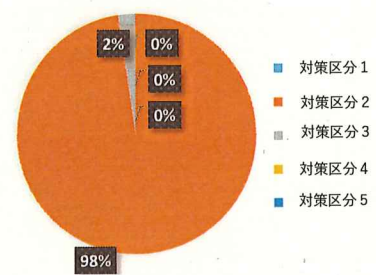
市町名	津市	三重県
人口（人）	275,223	1,782,190
年少人口割合（%）*1	12.4%	12.4%
森林面積(ha)	41,560.61	372,352.55
民有林面積(ha)*2	40,820.03	348,833.49
森林率(%)	58.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	7.6	10.1

*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	津市林地残材搬出促進事業	30,428,800	30,420,600		30,420,600				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,323,737	1,000,000		1,000,000				
3	3	津市森林環境教育事業	499,400	499,400			499,400			
4	3	美里水源の森「林業体験」事業	250,000	250,000			250,000			
計			34,501,937	32,170,000	0	31,420,600	749,400	0	0	0

3. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	61.93	36,337,400	36,337,400	
森林再生力強化対策事業	5,364m	3,650,000	3,650,000	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.1	3,094,673	773,667	

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	<ul style="list-style-type: none"> 間伐等で発生する林地残材等を搬出し、木質バイオマスとして利用を図ることで、林地残材の減少を図り、河川等への流出を防ぐことで流木を出さない森林づくりを進める。 木のぬくもりや良さを知ってもらい、森林や木材について学び、林業の現場での体験を通して正しく理解してもらい、自らが進んで森林環境教育に取り組める人材を育てていく。
事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> 林地残材の減少により河川への流出危険性が減少し、減災効果が得られた。また、バイオマス発電燃料として未利用材の有効活用が進んだ。 直接木に触れることや、森林のはたらきについて学ぶことで、循環可能な資源である木材を利用する意義を知るとともに、森林の持つ公益的機能の理解を深めることができ、森を育む人としてのきっかけづくりの場を提供することができた。
情報発信への取組	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施個所については、税ののぼり旗により啓発を行った。 県民税の活用についてホームページや広報誌等に掲載した。 森林環境教育の参加者の募集方法として、「美里水源の森林体験事業」は市内の小学4、5年生の児童の保護者へチラシを配布し、「お正月版 森と緑の親子塾」「里山整備体験」は広報津を活用し、広く募集に関する周知を図った。 アンケートを行い、次回以降の取組へ反映する。 マスコミによる取材があり、後日、イベントの様子が配信された。 市町交付金事業のパネルを市役所庁舎に掲示し、PRを行った。

* 評価の参考として、別紙「森林環境譲与税事業の実績」を添付すること。

令和2年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(円)	内、譲与税
1	② 意向調査	42,075,000	42,075,000
2	② 意向調査	15,400,000	15,400,000
3	③ 私有林整備	24,733,500	24,733,500
4	④ 公有林整備 (財産区有林含む)	13,750,000	13,750,000
5	⑩ 専門員の雇用	3,497,000	3,497,000
6	⑦ その他 (森林整備)	435,000	435,000
7	⑰ 基金積立 (森林整備等)	8,219,179	8,219,179
8			
9			
10			
	合計	108,109,679	108,109,679

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業別実績書

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり			市町名	津市
番号	事業名				
1	津市林地残材搬出促進事業				
事業費	30,428,800円	(財源内訳)	当年度交付金 30,420,600	市町基金 0	その他 8,200

1. 事業の目的

間伐等で発生する林地残材等について、再生可能エネルギーである木質バイオマスエネルギー利用を図るため、採算の合にくい林地からの搬出・運搬に関し、間伐施業地から山土場、山土場からチップ工場への搬出経費を支援することで、森林所有者・林業事業者への意識啓発、取組拡大、利用量の増加を図る。また、林地残材の減少を図り、河川等への流出を防ぐことで流木を出さない森林づくりを進める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

間伐施業地から山土場まで、及び、山土場からチップ工場までの搬出経費の一部を支援する。

【実施主体(補助事業の場合は補助事業実施主体)】

認定事業者(津市内の木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者14業者)

【補助率等】

定額(間伐施業地から山土場まで:上限6,400円/㎡、山土場からチップ工場まで:上限1,200円/㎡)

【箇所数】

事業者A(津市美杉町太郎生地内ほか)、事業者B(津市美杉町下之川地内)、
事業者C(津市美杉町丹生俣地内)、事業者D(津市美杉町丹生俣地内ほか)

【事業量】

林地残材搬出材積 6,968㎡
事業者A(4,968㎡)、事業者B(1,360㎡)、事業者C(480㎡)、事業者D(160㎡)

【事業実施期間】

令和2年4月1日から令和3年3月19日

【受益者、参加者、利用者数等】

流域居住者(不特定)、認定事業者4者、バイオマスエネルギー利用者(不特定)

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【実施箇所の選定理由】

林地残材の流出が多く発生している間伐実施箇所を対象に搬出を支援することで、効率的に未利用材の利用が進むと考えられるため。

【事業実施により得られた効果】

林地残材の減少により河川への流出危険性が減少し、減災効果が得られた。
また、バイオマス発電燃料として未利用材の有効活用ができた。

【整備した場所・施設・備品の今後の活用】

森林の持つ多面的機能が発揮されるよう、維持していく。
搬出した林地残材は、バイオマス発電用の燃料として活用している。

【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】

流域住民からは、安心感が増したとの反応があった。
バイオマス発電利用者や林業事業者からは、当事業により木材資源の有効利用が進んだとの反応があった。

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり			市町名	津市
番号	事業名				
1	津市林地残材搬出促進事業				
事業費	30,428,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			30,420,600	0	8,200

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】
搬出経費に対する補助

【実施方法の選定理由】
災害時の林地残材の流出に対する不安を軽減してほしいという地域住民の声と木質バイオマス発電燃料の供給促進が、林地残材の搬出という行為でマッチングしたため。

【契約方法と落札率または補助率等】
定額助成（間伐施業地→山土場6,400円/m³、山土場→チップ工場1,200円/m³）

【契約相手方の選定理由】
補助金交付申請方式であり、該当なし。

【事業費の積算根拠】
津市林地残材搬出促進事業補助金交付要綱に基づき積算。
本事業では事業創設時（平成28年度）の造林事業の換算係数0.8を適用している。このことから、1t当たりの単価は間伐施業地から山土場まで5,120円、山土場からチップ工場まで960円である。

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】
事業の参加資格については補助金交付申請書で確認している。

【公的関与の必要性】
林内に残される林地残材を放置することにより想定される林野災害を防止するためには、事業負担の軽減を図る必要がある。地域住民の不安解消という観点においても非常に重要な取り組みである。
また、津市バイオマス都市構想におけるバイオマスエネルギー原料として有効活用している。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】
規制は設けていないが、森林所有者が引き続き適切な管理を行う。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前・中・後	本事業が県民税を活用して実施していることを周知した。
のぼり設置	実施中	事業実施箇所において、税ののぼり旗により啓発を行った。
パネル展示	実施後	市町交付金事業のパネルを庁舎（白山）に掲示し、PRを行っている。

7. 写真
別紙のとおり

8. その他特記事項

(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	津市
-----	----

事業名	津市林地残材搬出促進事業
-----	--------------

7. 写真

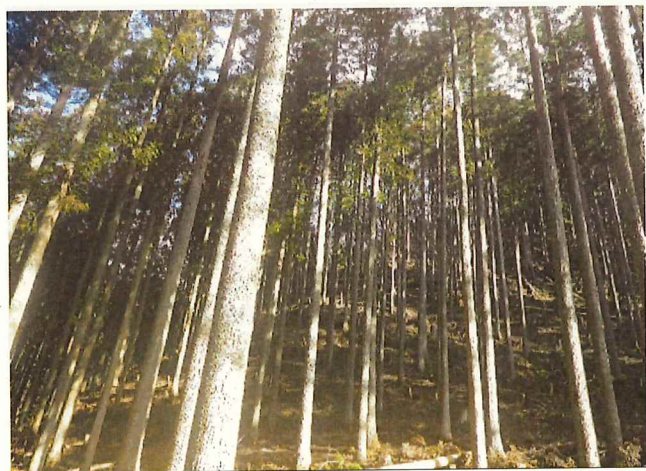


写真1
林地残材除去後の森林



写真2
林地残材の集積状況（山土場）



写真3
林地残材の積込状況（山土場）



写真4
林地残材の積込状況（山土場）



写真5
林地残材の搬入状況（山土場）



写真6
林地残材の搬入状況（チップ工場）

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	津市
------	----------------	-----	----

事業名	林地残材搬出促進事業
-----	------------

積算資料（実績報告参考資料）

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
林地残材搬出材積(施業地から工場)	m ³	1360.00	7,600	10,336,000	事業体A
林地残材搬出材積(山土場から工場)	m ³	800.00	1,200	960,000	事業体A
林地残材搬出材積(山土場から工場)	m ³	560.00	1,200	672,000	事業体A
林地残材搬出材積(山土場から工場)	m ³	1200.00	1,200	1,440,000	事業体A
林地残材搬出材積(山土場から工場)	m ³	960.00	1,200	1,152,000	事業体A
林地残材搬出材積(施業地から工場)	m ³	88.00	7,600	668,800	事業体A
林地残材搬出材積(施業地から工場)	m ³	1360.00	7,600	10,336,000	事業体B
林地残材搬出材積(施業地から工場)	m ³	240.00	7,600	1,824,000	事業体C
林地残材搬出材積(施業地から工場)	m ³	240.00	7,600	1,824,000	事業体C
林地残材搬出材積(施業地から工場)	m ³	48.00	7,600	364,800	事業体D
林地残材搬出材積(施業地から工場)	m ³	56.00	7,600	425,600	事業体D
林地残材搬出材積(施業地から工場)	m ³	40.00	7,600	304,000	事業体D
林地残材搬出材積(施業場から工場)	m ³	16.00	7,600	121,600	事業体D
事業費		6968.00		30,428,800	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計				0	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計				0	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計				0	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計				0	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計				0	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計				0	

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	津市
番号	事業名				
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事業費	3,323,737 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,000,000	0	2,323,737

1. 事業の目的	<p>台風等で発生した倒木による配電線の断線等による停電は、市民生活や行政の防災機能に大きな支障を及ぼし、災害後の処理作業には多大な労力とコスト、危険が伴うことから、ライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行うことで、未然に災害防止策を講じることを目的としている。</p>
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 津市美杉町八知地内における電線路を寸断の恐れがある立木の伐倒整理</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 津市</p> <p>【補助率等】 ライフライン事業者1/2、みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）1/4、みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）1/4</p> <p>【箇所数】 1箇所（美杉町八知地内）</p> <p>【事業量】 電線沿いの立木（44本）を伐倒、整理</p> <p>【事業実施期間】 令和2年10月1日から令和3年3月31日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 美杉地域の電気利用者（不特定）、白山消防署美杉分署、JR名松線</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】 倒木被害の頻度が高く、計画停電除外施設の他に踏み切り等の重要施設への電力供給を行っていることから、美杉地域内の竹原地区にある美杉変電所から八知地区を経由し、白山消防署美杉分署のある奥津地区までの配電ルート上の箇所を選定した。なお、当該選定は中部電力(株)と協議を行いながら選定した。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 電線沿いの立木を伐採したことにより、台風等の災害時の風倒木防止の対策を取ることができた。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 森林所有者が維持管理を行う。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 事前伐採を行ったことで風倒木による停電を未然に防いでいただけたので、助かったとの声をいただいている。</p>

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	津市
番号	事業名			
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業			
事業費	3,323,737 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金
			1,000,000	0
				その他
				2,323,737

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

事業は委託により実施。

【実施方法の選定理由】

伐採等の事業を安全かつ確実に完遂できる、林業の専門的な知識と高い技術が求められることから、委託により実施。

【契約方法と落札率または補助率等】

地方自治法施行令第167条第1号による指名競争入札

【契約相手方の選定理由】

伐採等の事業を安全かつ確実に完遂できる、林業の専門的な知識と高い技術が求められることから、津市競争入札参加資格者名簿に登録されている業者の内、認定林業事業者の4者を選定。

【事業費の積算根拠】

事前の参考見積による。

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】

事業箇所は中部電力(株)と協議の上選定しており、特に公益的に効果がある箇所である。

【公的関与の必要性】

当該事業は住民の生活に密着したライフラインを保全する地域密着型の事業であることから、津市が事業主体となり、県、市、ライフライン事業者の三者で協議して、事前伐採に取り組む。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

規制は設けていないが、森林所有者が引き続き適切な管理を行う。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前・中・後	本事業が県民税を活用して実施していることを周知した。
のぼり設置	実施中	事業実施箇所において、税ののぼり旗により啓発を行った。

7. 写真

別紙のとおり

8. その他特記事項

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	津市
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業		

5. 写真



写真1
災害からライフラインを守る事前伐採事業
(美杉町八知地内 実施前)



写真2
災害からライフラインを守る事前伐採事業
(美杉町八知地内 実施中)



写真3
災害からライフラインを守る事前伐採事業
(美杉町八知地内 実施中)



写真4
災害からライフラインを守る事前伐採事業
(美杉町八知地内 実施中)



写真5
災害からライフラインを守る事前伐採事業
(美杉町八知地内 実施後)



写真6
災害からライフラインを守る事前伐採事業
(美杉町八知地内 実施後)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	津市
------	----------------	-----	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

積算資料（実績報告参考資料）

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
事前伐採事業	式	1.00		3,323,737	
事業費		1.00		3,323,737	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
業務委託	事業委託料	1	式	3,190,000	3,190,000	
	計				3,190,000	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
立木補償金	立木補償金	1	式	127,542	127,542	森林所有者2名
	計				127,542	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
PR用のぼり	消耗品費	1	式	6,195	6,195	
	計				6,195	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
					0	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
					0	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
					0	

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり			市町名	津市
番号	事業名				
3	津市森林環境教育事業				
事業費	499,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			499,400	0	0

1. 事業の目的	
<p>お正月版 森と緑の親子塾 (白山町佐田地内) 自分の手で木や葉に触れたり、森林の香りを感じたりして、その良さを実感する体験を通じて、育った森林や、そこで営まれる林業に対する参加者の理解を得ることを目的とする。</p> <p>里山整備体験 (美里町三郷地内) 里山の整備を体験し、竹の伐倒、処理の方法について学んでいただくことにより、参加者が里山整備の正しい方法を理解すること、里山整備を行う意欲の向上を図ることを目的とする。</p>	
2. 事業実績概要	
<p>【事業内容】</p> <p>お正月版 森と緑の親子塾 : しめ飾りづくり、クップ体験、丸太切り体験 里山整備体験 : 竹の伐倒体験、竹の処理体験</p> <p>【実施主体(補助事業の場合は補助事業実施主体)】</p> <p>津市</p> <p>【補助率等】</p> <p>補助事業ではないので該当しない。</p> <p>【箇所数】</p> <p>お正月版 森と緑の親子塾: 1箇所 【猪ノ倉温泉しらさぎ苑及びアズキキングの森】 里山整備体験: 1箇所 【津市 美里庁舎付近の竹林】</p> <p>【事業量】</p> <p>お正月版 森と緑の親子塾: 1回、 里山整備体験: 2回(半日×2部構成)</p> <p>【事業実施期間】</p> <p>お正月版 森と緑の親子塾: 令和2年11月16日～令和2年12月13日(募集期間含む) 里山整備体験: 令和3年2月1日～令和3年3月6日(募集期間含む)</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】</p> <p>お正月版 森と緑の親子塾: 16名、 里山整備体験: 27名</p>	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
<p>【実施箇所の選定理由】</p> <p>お正月版 森と緑の親子塾: 新型コロナウイルス感染症の影響により冬季の開催となったため、三密を避けられる広い部屋や、丸太切り体験等が行える空間を持った森林を確保する必要がある、検討した結果、猪ノ倉温泉しらさぎ苑及びアズキキングの森を選定した。</p> <p>【事業実施により得られた効果】</p> <p>お正月版 森と緑の親子塾: しめ飾りづくりの飾りとして様々な葉やスギやヒノキのかんなくずを使用したため葉や木の感触や香りも感じていただけた。また、クップ体験や丸太切り体験は森の心地よさを体感しながら、木に触れる場を提供することができ、森を育む人としてのきっかけづくりに寄与することができた。</p> <p>里山整備体験: 竹の伐倒、玉切り、片付けを正しく安全に行う方法を学んでいただき、また、市が貸出を行っている破砕機の処理を体験していただいたことで、里山整備に対する理解を深めていただくことができた。地元の里山を整備する意識向上にも繋がった。</p>	

対策区分	3. 森を育む人づくり			市町名	津市
番号	事業名				
3	津市森林環境教育事業				
事業費	499,400 円	(財源内訳)	当年度交付金 499,400	市町基金 0	その他 0

【整備した場所・施設・備品の今後の活用】
 体験学習の開催であり該当しない。※平成26年度から毎年実施しており、今後も継続して開催したい。

【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】
お正月版 森と緑の親子塾：かんなくずや自然の葉を使った飾り付けができ、他ではできない体験ができたという声をいただいた。丸太切りはたくさん切れて良かったという子供がいる一方で、大変だったという意見もいただいた。林業の楽しさややりがいを感じる一方で、人力で作業するのは大変苦労する仕事ということを体験いただいた。
里山整備体験：「今まで適当に切っていた」「正しい伐採方法を知ることができた」という声をいただいたため、森を育む人づくりに寄与することができた。また、体験をしたことにより、破碎機を借りて里山整備をしたいという方もみえたことから、意識向上にも繋がっている。

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】
【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】
 市広報や市ホームページ上で、参加者を募集。事業は委託により実施。
【実施方法の選定理由】
 森林や林業をより身近に感じてもらいながら、森林環境教育を促進させるには、木工細工や林業体験などの体験活動型のイベントをすることが効果的なため。
【契約方法と落札率または補助率等】
お正月版 森と緑の親子塾：地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の規定に基づく随意契約 落札率 99.69%
里山整備体験：地方自治法施行令第167条の2第1項第1号の規定に基づく随意契約 落札率 99.85%
【契約相手方の選定理由】
お正月版 森と緑の親子塾：アズキキングの森の管理を受託しており、かつ、森林インストラクターの資格を有する職員が在職している団体を委託先として選定した。
里山整備体験：津市競争入札参加資格者名簿において森林に関する希望を出している者のうち、認定林業事業体である2者から選定。
【事業費の積算根拠】
お正月版 森と緑の親子塾：事前の参考見積による。 **里山整備体験**：事前の参考見積による。

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】
【事業参加や整備施設等の公益性】
 広く市民を対象として参加者を募集している。
【公的関与の必要性】
 森林の公益的価値や機能を学ぶ森林環境教育は、人材育成だけでなく、国土の2/3を占める森林が身近で大切な資産であり、守り育てることの大切さを理解してもらう上で、非常に重要である。
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】
 体験学習の開催であり、該当しない。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市
------	-------------	-----	----

番号	事業名				
3	津市森林環境教育事業				
事業費	499,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			499,400	0	0

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】		
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
広報誌掲載	実施前	イベントの募集として広報津を活用し広く周知を行った。
HP掲載	実施前・後	イベントの募集及び実施状況をホームページに掲載し周知を行った。
パネル展示	実施中	みえ森づくりサポートセンターからパネルを借用し設置した。
パネル展示	実施後	市町交付金事業のパネルを庁舎（白山）に掲示し、PRを行っている。
のぼり設置	実施中	のぼり旗を掲げて、県民税を活用しているイベントであると周知した。
アンケート実施	実施中	アンケートを行い、次回以降の取組へ反映する。
TV（行政チャンネル等）	実施後	マスコミによる取材があり、後日、イベントの様子が配信された。

7. 写真
別紙のとおり

8. その他特記事項
新型コロナウイルス感染症の影響があり、内容や時期を変更して行った。

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	津市
-----	----

事業名	津市森林環境教育事業
-----	------------

7. 写真



写真1
しめ飾りづくり会場 パネル展示状況



写真2
しめ飾りづくり



写真3
クップ体験・丸太切り体験

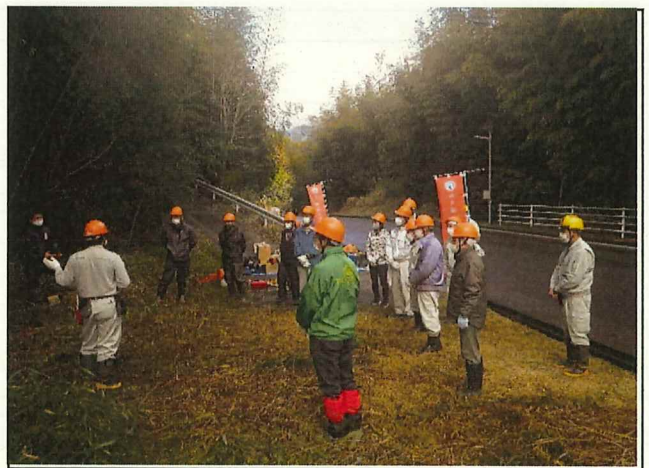


写真4
里山整備体験 全体説明



写真5
竹の伐倒体験



写真6
竹の破碎体験

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市
------	-------------	-----	----

事業名	津市森林環境教育事業
-----	------------

積算資料（実績報告参考資料）

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
お正月版 森と緑の親子塾	式	1.00	279,400	279,400	
里山整備体験	式	1.00	220,000	220,000	
事業費				499,400	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
お正月版 森と緑の親子塾	開催業務委託	式	1.00	254,000	254,000	
	消費税（10%）				25,400	
	計		1.00		279,400	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
里山整備体験	開催業務委託	式	1.00	200,000	200,000	
	消費税（10%）				20,000	
	計		1.00		220,000	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり			市町名	津市
番号	事業名				
4	美里水源の森「林業体験」事業				
事業費	250,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			250,000	0	0

1. 事業の目的	
美里水源の森の水源涵養林等を活かしながら、自然や環境保全を学べる場として市内の小学生を対象に、野外体験や林業体験を通して自然や森林・林業の魅力を感じてもらい、森林に対する理解を深める。	
2. 事業実績概要	
【事業内容】	
平成26年度から平成30年度にかけて市町交付金を活用して整備した美里水源の森をフィールドとして自然に親しむ市民の憩いの場、青少年の自然・環境体験学習の場として、市内在学の小学生を対象に野外体験（樹種銘板づくり、野鳥巣箱作り）、林業体験（シイタケ菌打ち）を実施。	
【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】	
長野川流域環境保全協議会	
【補助率等】	
補助事業ではないので該当しない。	
【箇所数】	
美里水源の森「林業体験」：3回	
【事業量】	
美里水源の森「林業体験」：3回	
【事業実施期間】	
令和2年4月1日から令和3年3月31日	
「銘板づくりとシイタケ原木作り」12月13日開催	
「野鳥巣箱づくり」2月7日開催 「シイタケ菌打ちと火おこし体験」3月7日開催	
【受益者、参加者、利用者数等】	
「銘板づくり」市内在学の小学生と保護者12組31名、「野鳥巣箱作り」市内在学の小学生と保護者10組25名、「シイタケ菌打ち」市内在学の小学生と保護者11組31名	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
【実施箇所の選定理由】	
美里水源の森は、津市総合計画後期基本計画に位置付けられており、当該森林を水源かん養機能を保全しつつ住民に安らぎを与える憩いの場・交流の場、そして子育ての場として整備した箇所であるため。	
【事業実施により得られた効果】	
銘板づくり：森林インストラクターに講師になっていただき、水源の森を親子で散策し、木々にふれあい観察等の学習を行った後に樹木の銘板を作成、取り付けた。主体的に考え、また自然に触れ合うことを通じて森林の大切さについて理解を深める事業とすることができた。	
巣箱作り：水源涵養林等を活かして森林のはたらき、大切さを知るとともに、木に触れ合い、森林での学習を深めることができた。また、自然環境学習の一環として巣箱作りを通じて、野鳥をはじめとする生物の生態の理解につなげることができた。	
シイタケ菌打ち：菌打ち体験を通じて、森のはたらきや、森と人との関わり、林業や産業への理解を深めることができた。火おこしの体験を通じて、森林にあるいろいろな素材に触れるとともに、自然と人間の関わりについて考えることができた。	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市
------	-------------	-----	----

番号	事業名				
4	美里水源の森「林業体験」事業				
事業費	250,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			250,000	0	0

【整備した場所・施設・備品の今後の活用】

体験学習の開催であり該当しない。※今後も継続して開催したい。

【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】

銘板づくり：親子で森林内をゆっくり散策ができ、森林インストラクターからいろいろな植物の説明を聞きながら観察ができ、普段体験できないことができた、などの感想をいただいています。

巣箱作り：鳥や植物の観察をしながら生物の生態について学習できたこと、また親子で工作ができたことなど貴重な時間が持てたなど感想をいただいています。

シイタケ菌打ち：親子で体験学習に取り組むことで、森と人との関わりや林業等への理解を深められ、有意義な時間を過ごすことができたなどの感想をいただいています。

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

長野川流域環境保全協議会への負担金

【実施方法の選定理由】

協議会が主体となって行う森林環境教育事業の費用を市が一部負担して、協議会が実施することで、水源の森の活用を進めてきており、令和元年度においても、同様に実施した。

【契約方法と落札率または補助率等】

負担金

【契約相手方の選定理由】

負担金のため、該当なし

【事業費の積算根拠】

別紙のとおり

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】

長野川流域環境保全協議会が主催者であることことから、事前打ち合わせを行い、市内の小学校すべてに案内を行い、参加者を募集している。

【公的関与の必要性】

森林の公益的価値や機能を学ぶ森林環境教育は、人材育成だけでなく、国土の2/3を占める森林を身近で大切な資産であり、守り育てることの大切さを理解していただく上で、非常に重要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

体験学習の開催であり、該当しない。

対策区分	3. 森を育む人づくり			市町名	津市
番号	事業名				
4	美里水源の森「林業体験」事業				
事業費	250,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			250,000	0	0
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】					
【情報発信の内容】					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
チラシ等配布	実施前	市内の小学4、5年生の児童の保護者へチラシを配布し、イベント開催の周知を図る。			
のぼり設置	実施中	のぼりを設置し、県民税事業を啓発する。			
HP掲載	実施後	美里水源の森専用のHPを作成し、事業のPRを行っている。			
広報誌掲載	実施後	地域広報誌でイベントの内容について掲載した。			
パネル展示	実施後	市町交付金事業のパネルを庁舎（白山）に掲示し、PRを行っている。			
7. 写真					
別紙のとおり					
8. その他特記事項					

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	津市
-----	----

事業名	美里水源の森「林業体験」事業
-----	----------------

7. 写真



写真1
樹木の銘板づくり



写真2
樹木の銘板づくり



写真3
シイタケ菌打ち



写真4
火おこし体験



写真5
野鳥巣箱づくり



写真6
野鳥巣箱づくり

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	津市
-----	----

事業名	美里水源の森「林業体験」事業
-----	----------------

7. 写真



写真7
美里水源の森のホームページ (1)

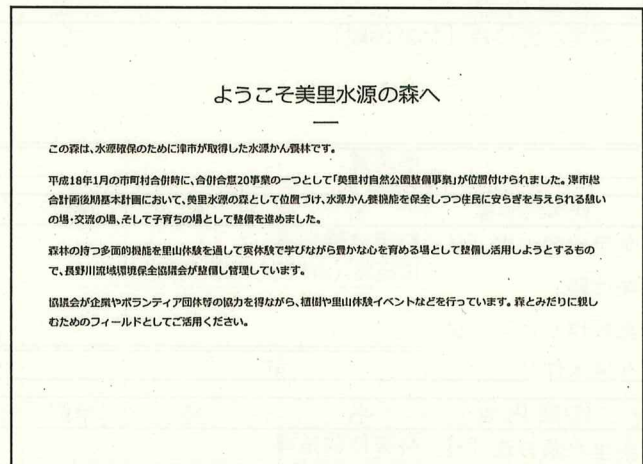


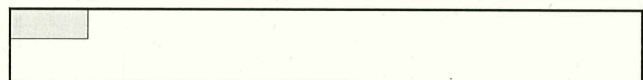
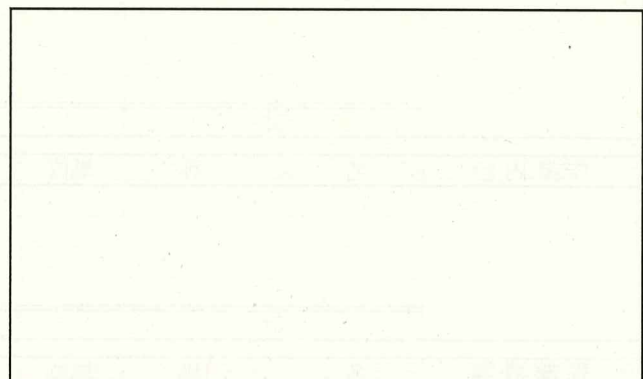
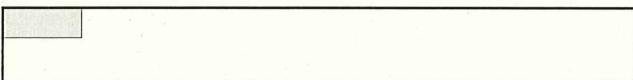
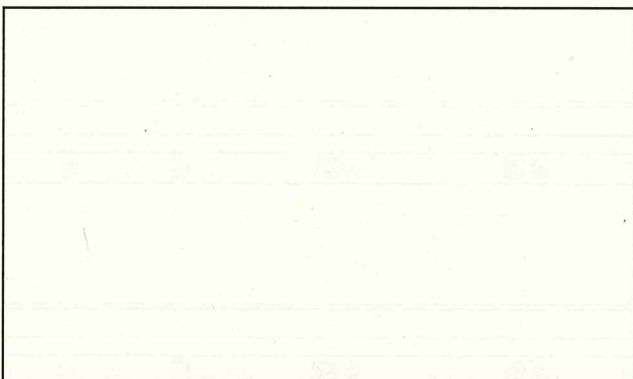
写真8
美里水源の森のホームページ (2)



写真9
美里水源の森のホームページ (3)



写真10
広報誌への掲載状況
地域だより「みさと通信」(R3.4.1発行)



対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市
------	-------------	-----	----

事業名	美里水源の森「林業体験」事業
-----	----------------

積算資料（実績報告参考資料）

作業内容	単位	数量	単価	金額	備 考
美里水源の森「林業体験」	式	1.00	250,000	250,000	
事業費					

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備 考
美里水源の森「林業体験」 銘板作りとシイタケ原木作り	林業体験指導				40,136	
	諸経費（消耗品、保険料等）				6,652	
	計				46,788	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備 考
美里水源の森「林業体験」 野鳥巣箱作り	林業体験指導				30,000	
	諸経費（消耗品、保険料等）				7,973	
	計				37,973	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備 考
美里水源の森「林業体験」 シイタケ菌打ち体験と火おこし体験	林業体験指導				40,000	
	諸経費（消耗品、保険料等）				19,478	
	計				59,478	

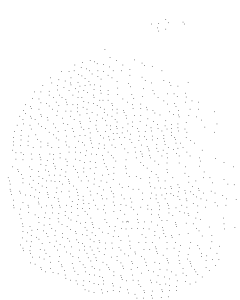
作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備 考
美里水源の森「林業体験」 ホームページ制作費	ホームページ制作費	式	1.00		120,000	
	計				120,000	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備 考
	計					

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備 考
	計					

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備 考
	計					

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備 考
	計					



松阪市

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報

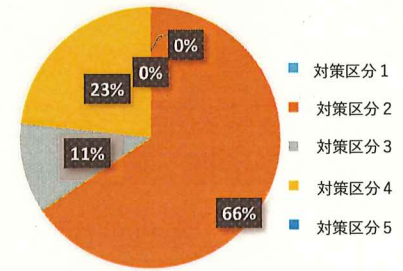
市町名	松阪市	三重県
人口 (人)	161,900	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	12.3%	12.4%
森林面積(ha)	42,652.00	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	41,300.00	348,833.49
森林率(%)	69.0%	64.0%
都市公園面積 (m ² /人口) * 3	9.3	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	里山の森林安全安心対策事業	14,910,500	14,861,500		14,861,500				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	8,400,000	2,100,000		2,100,000				
3	3	森林環境学習事業	2,887,500	2,887,500			2,887,500			
4	4	幼稚園木育推進事業	2,200,000	2,000,000				2,000,000		
5	4	都市公園整備事業	6,140,200	4,000,000				4,000,000		
計			34,538,200	25,849,000	0	16,961,500	2,887,500	6,000,000	0	0

3. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	4.0ha	7,744,000	7,725,000	調整伐200本、伐倒・搬出356本
森林再生力強化対策事業	5,332m	3,137,522	3,137,522	防護柵補助5,332m
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.5ha	8,400,000	2,100,000	危険木伐採447本

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	<p>松阪市ではみえ森と緑の県民税市町交付金の活用主旨に則り「災害につよい森林づくり」を目指しつつ川上から川下まで普く当該交付金を有効に活用すべく5つの事業を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 里山の森林安全安心対策事業…民家裏、重要施設付近、幹線道路沿線等において懸案となっている支障木を伐採し、住民の安全安心を確保する目的で実施。 2. 森林環境学習事業…将来の森林の担い手を育成することを目的に、管内小学校を対象に森林環境教育を実施。 3. 都市公園整備事業…都市公園内に地域産の東屋・ベンチを設置し利用者に木の持つ「温かみ」「やすらげる空間」を提供すると共に木材利用に繋げるという目的で実施。 4. 幼稚園木育推進事業…市内の幼稚園の備品を木質化し、幼少期より木との関係を深める。 5. 災害からライフラインを守る事前伐採事業…台風や近年多発するゲリラ豪雨等による倒木被害に起因する停電被害を防止すべく、リスクマネジメントの一環として、被害想定箇所の事前伐採を実施し、県民・市民の安全安心を確保する。
事業実施により得られた効果	<p>里山の森林安全安心対策事業及び災害からライフラインを守る事前伐採事業については、自助努力により対応できない箇所について、配電事業者や地域と連携しながら実施したことにより、物理的な安全安心の確保に加え森林所有者による事業実施後の管理意識の向上に繋がった。</p> <p>森林環境学習については、小学校の従来のカリキュラムである清掃工場における環境学習に加え当該事業を実施したことにより、飛躍的に森林の公益的機能の理解が定着すると好評を得ている。</p>
情報発信への取組	<p>森林整備・都市公園整備遂行にあたり、地域住民への回覧等による情報伝達時に併せて県民税のPRチラシ配布し積極的な啓発を行っている。</p> <p>森林環境学習については、報道機関へ情報提供を行い、新聞紙上やテレビ放映において、情報を発信した。</p> <p>又、森林環境学習の一環で幼児から小学生向けの森林環境教育用の絵本を昨年度作製し、市内全小学校・保育園・幼稚園に配布を行い、絵本を活用した環境学習の推進に努めたが、令和2年度においても第2弾となる絵本を企画し、令和3年度に製本予定である。</p>

(参考資料)

令和 2 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(円)	内、譲与税
1	② 意向調査	9,174,000	9,174,000
2	① 意向調査の準備作業	1,172,000	1,172,000
3	③ 私有林整備	74,427,000	74,427,000
4	⑰ 基金積立（森林整備等）	20,906,000	20,906,000
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	105,679,000	105,679,000

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	松阪市
番号	事業名				
1	里山の森林安全安心対策事業				
事業費	14,910,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			14,861,500		49,000

1. 事業の目的	<p>集落や公共施設周辺の森林で、森林の持つ公益的機能が十分に発揮されない状態にある森林を対象に、森林所有者や地域の自治会等と連携し、集落の安全と安心を確保することを目的に森林整備を行う。</p>
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】</p> <p>該当地域において、関係者と連携して現地調査を行い、森林の境界確認・測量及び間伐等の森林整備を行う。</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】</p> <p>松阪市</p> <p>【補助率等】</p> <p>補助事業でなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】</p> <p>森林整備箇所13箇所</p> <p>【事業量】</p> <p>間伐 3.29ha、支障木伐採 434本</p> <p>【事業実施期間】</p> <p>令和2年10月～令和3年3月</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】</p> <p>整備によって安全と安心が確保される集落、市道、国県道、公共施設</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】</p> <p>自主防災組織や自治会長等と協働して、緊急性・公共性の高い箇所から効率的に実施した。</p> <p>【事業実施により得られた効果】</p> <p>集落周辺の森林が整備されたことにより、地域住民の生活環境の向上や道路の安全性が確保された。又、地域の自主防災組織や自治会長と連携することにより、地域の里山の在り方を見直す良いきっかけとなり、継続的な取組ができた。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】</p> <p>所有者が主体的に管理を行う。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】</p> <p>人家裏など直接被害を及ぼす範囲を伐採し、さらに山側の間伐を行ったことで、災害に強い森林づくり化が促進され、台風時等のリスクが軽減されたと、自治会や受益者から喜びの声をいただいている。</p>

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	松阪市
番号	事業名				
1	里山の森林安全安心対策事業				
事業費	14,910,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			14,861,500		49,000

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

委託

【実施方法の選定理由】

委託方式とすることで、事業遂行における安全面と専門的な技術が確保できるため。

【契約方法と落札率または補助率等】

随意契約

【契約相手方の選定理由】

市、森林所有者及び認定林業事業体の3者において、将来にわたって「災害に強い森林づくり協定」を締結しているため。

【事業費の積算根拠】

間伐3.3ha約240万円、支障木伐採 約1,250万円

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】

受益戸数92戸、市道・国県道・公共施設等の受益11件であり、普く公益性が担保されている。

【公的関与の必要性】

地域の懸案箇所整備が中心であり、官民協働の横断的な調整が必要であることから公的関与が不可欠である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

森林所有者との協定により、適切な維持管理と転用等制限を担保している。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
標識・標柱等設置	実施後	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
ポスター掲示	実施前・中・後	森林のはたらきや当該交付金の主旨説明とPR
チラシ等配布	実施前	森林のはたらきや当該交付金の主旨説明とPR
施工看板に掲示	実施前・中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
アンケート実施	実施後	

7. 写真

別紙のとおり

8. その他特記事項

平成26年度からの継続事業。平成26年度～令和2年度）の実績75箇所。

対策区分 2.暮らしに身近な森林づくり

市町名 松阪市

事業名 里山の森林安全安心対策事業

7. 写真



写真1 森林整備(着手前)松阪市飯南町上仁柿地内
地域の幹線道路際で倒木の恐れがあり、孤立集
落を招く懸念がある。



写真2 森林整備(完成)松阪市飯南町上仁柿地内
倒木による孤立集落化の懸念が解消された。



写真3 森林整備(着手前)松阪市嬉野須賀町地内
人家及び地域の幹線道路に倒木の恐れがある。

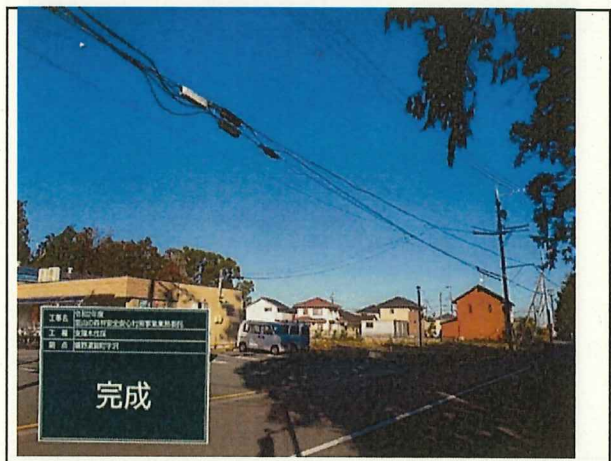


写真4 森林整備(完成)松阪市嬉野須賀町地内
倒木の懸念が解消された。



写真5 森林整備(作業状況) 松阪市殿町地内
12t級ラフタークレーン、27m級高所作業車使用



写真6 森林整備(作業状況)
17m級高所作業車使用

対策区分 2.暮らしに身近な森林づくり

市町名 松阪市

事業名 里山の森林安全安心対策事業

7. 写真



写真7
PR標柱設置状況



写真8
配布した啓発チラシ



写真9
みえ森と緑の県民税のぼり設置によるPR状況



写真10
みえ森と緑の県民税のぼり設置によるPR状況



写真11
工事看板設置状況 (事業PR仕様)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市
事業名	里山の森林安全安心対策事業		

積算資料（実績報告参考資料）

作業内容	備考	
間伐（飯南町上仁柿字浦ノ田）	3.29 ha	
支障木伐採（嬉野須賀町字ミツコウベ）	杉・桧・雑木	40 本
支障木伐採（嬉野須賀町沢）	杉・桧・雑木	154 本
支障木伐採（殿町）	雑木	13 本
支障木伐採（久保町）	雑木	9 本
支障木伐採（岡本町）	杉・桧・雑木・竹	60 本
支障木伐採（藤之木町）	雑木	1 本
支障木伐採（飯高町宮前）	雑木	16 本
支障木伐採（勢津町）	雑木	8 本
支障木伐採（飯南町上仁柿）	杉・桧	70 本
支障木伐採（飯高町森）	杉・桧	10 本
支障木伐採（桜町）	雑木	3 本
支障木伐採（嬉野合ヶ野町）	雑木	50 本
		計434本

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠) 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市
------	-----------------	-----	-----

番号	事業名				
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事業費	8,400,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,100,000		6,300,000

1. 事業の目的	
<p>当該市管内において、平成30年度における台風21号及び24号時の倒木被害の影響で、配電線の断線や配電柱の倒壊が多発しライフラインが寸断され、市民生活に大きなリスクをもたらした。災害時のライフラインの寸断は、行政の防災機能にも大きな支障を及ぼす中で、リスクマネジメントの対策として被害想定箇所の事前伐採を実施することにより、市民生活の安全安心に努めたい。</p>	
2. 事業実績概要	
<p>【事業内容】 該当地域において、関係者と連携して現地調査を行い、森林の境界の確認・測量及び間伐等の森林整備を行う。</p> <p>事業実施該当候補地をベースに関係者と連携のうえ事業計画を立案し、段階的に事前伐採を行う。</p> <p>【実施主体(補助事業の場合は補助事業実施主体)】 松阪市</p> <p>【補助率等】 補助事業でなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】 森林整備箇所3箇所</p> <p>【事業量】 事前伐採：447本</p> <p>【事業実施期間】 令和2年9月～令和3年2月</p>	
<p>【受益者、参加者、利用者数等】 整備によって安全と安心が確保される集落、市道、国県道、公共施設</p>	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
<p>【実施箇所の選定理由】 配電事業者と協働して、緊急性・公共性の高い箇所から効率的に実施した。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 過去に倒木被害の影響で、ライフラインが寸断され、県民・市民生活に支障をもたらした危険箇所を中心に危険木の事前伐採を実施し、被害を未然に防ぐことで、県民・市民生活の安全性が担保された。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 所有者が主体的に管理を行う。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 過去に直接被害があり、未だ倒木のリスクがあったを範囲を伐採し、安全性を担保したことで、災害に強い森林づくりが促進され、台風時等のリスクが軽減されたと、自治会や受益者から喜びの声をいただいている。</p>	

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市
------	-----------------	-----	-----

番号	事業名			
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業			
事業費	8,400,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金
			2,100,000	
			その他	6,300,000

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】		
【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】		
委託		
【実施方法の選定理由】		
委託方式とすることで、事業遂行における安全面と専門的な技術が確保できるため。		
【契約方法と落札率または補助率等】		
随意契約		
【契約相手方の選定理由】		
高圧線を含む配電線付近の伐採に際し、危険が伴うこと又、近接業務の知識・経験等が求められることから近接業務の資格を有し、加えて、作業を効率的かつ迅速に行う必要があるため、高性能林業機械（スイングヤーダ等）を所有している事とした。		
【事業費の積算根拠】		
予備調査約6万円、事前伐採 約760万円、立木補償約70万円		
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】		
【事業参加や整備施設等の公益性】		
受益戸数969戸、加えて整備箇所3箇所に隣接の市道・国道・林道・公共施設等への倒木時の影響も緩和され、普く公益性が担保されている。		
【公的関与の必要性】		
地域の懸案箇所整備が中心であり、官民協働の横断的な調整が必要であることから公的関与が不可欠である。		
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】		
実施後は森林所有者が適切な維持管理を担っているが、地元自治会・地域団体協力のもと、植栽・植樹等による山林の保全を促し、再度荒廃する事や伐木後の斜面崩落等の抑制に努めている。		
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】		
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施前・中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
回覧板・掲示板	実施前	森林のはたらきや当該交付金の主旨説明とPR
7. 写真		
別紙のとおり		
8. その他特記事項		
-		

対策区分 2.暮らしに身近な森林づくり

市町名 松阪市

事業名 災害からライフラインを守る事前伐採事業

7. 写真

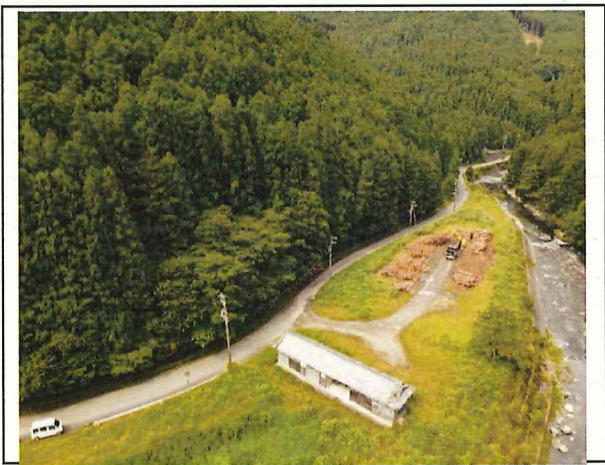


写真1
事前伐採(着手前)松阪市飯高町青田地内

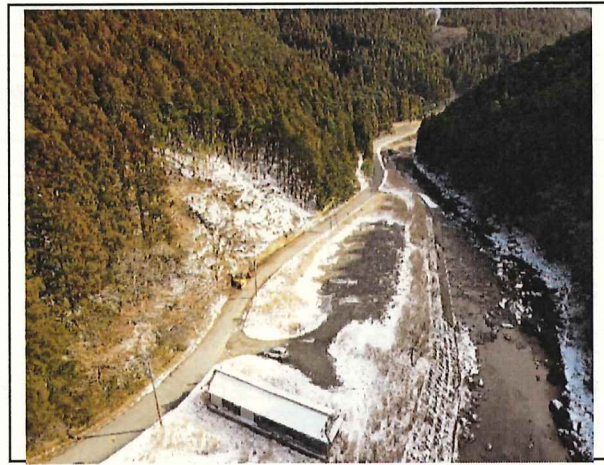


写真2
事前伐採(完成)松阪市飯高町青田地内

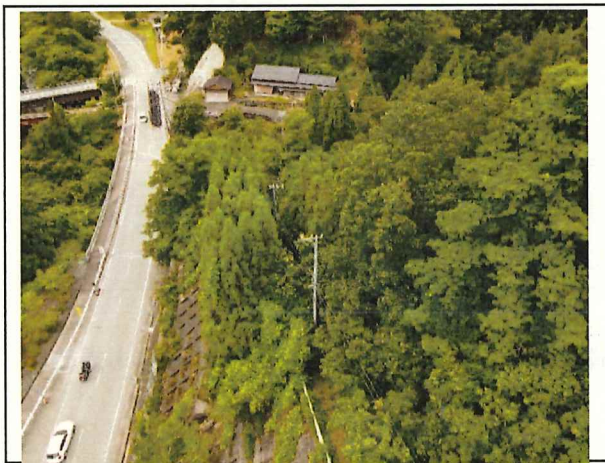


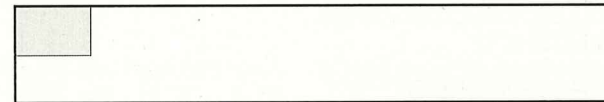
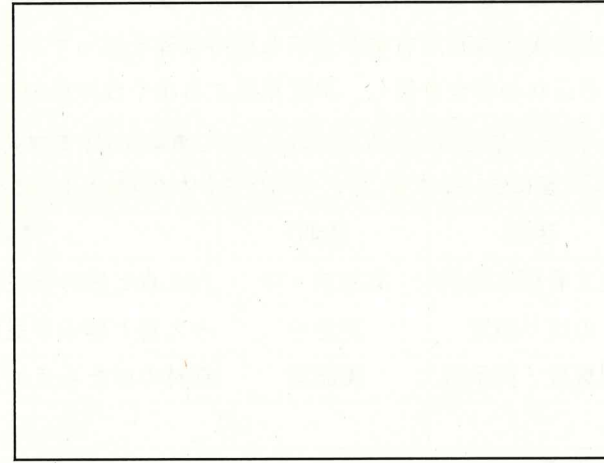
写真3
事前伐採(着手前)松阪市飯高町加波地内



写真4
事前伐採(完成)松阪市飯高町加波地内



写真5
みえ森と緑の県民税のぼり設置によるPR状況



対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市
------	----------------	-----	-----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

積算資料（実績報告参考資料）

作業内容	備考
予備調査	毎木調査 1 式
立木補償	杉・桧・雑木 447 本
事前伐採（飯高町月出）	杉・桧・雑木 205 本
事前伐採（飯高町青田）	杉・桧・雑木 211 本
事前伐採（飯高町加波）	杉 31 本 計447本

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり			市町名	松阪市
番号	事業名				
3	森林環境学習事業				
事業費	2,887,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,887,500		0

1. 事業の目的	<p>市内の小学校の教室等を松阪地域の木材を使用して木質化し、児童を対象に森林の持つ公益的機能や木材の特性についての「木育」を実施し、将来の森林の担い手を育成する。</p>
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 松阪地域の木材を使用し、小学校の教室等を木質化する。また、児童を対象に森林環境保全や森林整備に纏わる森林環境教育を実施した。</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 松阪市</p> <p>【補助率等】 補助事業でなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】 2箇所（松阪市立掃水小学校、松阪市立徳和小学校）</p> <p>【事業量】 森林環境教育及び木質化（掃水小学校：図書室・廊下の木質化（延べ45m²）、徳和小学校：図書室の木質化（延べ60m²））</p> <p>【事業実施期間】 令和2年6月～令和2年12月</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 松阪市立掃水小学校：5年生(児童数40名)、松阪市立徳和小学校:1年生(児童数107名)</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】 近時、森林環境学習への関心が高まっているなか、要望のあった小学校と森林環境学習の目的等の協議を行う過程で積極的な学校を選定し調整を進めている。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 児童達が、松阪市産材で木質化された教室で学ぶことにより、木材とのふれあいが促進された。また併せて森林環境学習を実施することにより、木材の活用や森林づくりへの理解が深まった。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 森林環境保全や森林整備についての森林環境教育を展開していく。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 対象児童にアンケートを実施し、高評価（興味や理解の深まり）を得ており、継続実施していく。</p>

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市
------	-------------	-----	-----

番号	事業名				
3	森林環境学習事業				
事業費	2,887,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,887,500		0

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

委託

【実施方法の選定理由】

委託方式とすることで専門の見地から森林環境学習の重要性を認識したうえで、適切な教育を実施することができるため。

【契約方法と落札率または補助率等】

随意契約

【契約相手方の選定理由】

森林・林業に携わる関係者による組織であり、森林・林業に精通し、又、普段から小学生を対象とした森林に纏わる学習イベントを開催するなど、適切な教育を実施することができるため。

【事業費の積算根拠】

小学校2校の木質化 約130万円、森林環境学習、教育用冊子作成等 約100万円、その他諸経費

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】

森林環境教育を实际受けた掃水小学校児童40名、徳和小学校児童107名に加え、その保護者及び学校関係者や木質化により全校生徒にも影響が及んでいる事に加え、昨年度に引き続き、森林環境学習用に絵本を作製する等、森林環境教育の促進につとめた。

【公的関与の必要性】

市内小学校と協働し、当市における環境側面のカリキュラムとの相乗効果をはかりながら、森林環境を推進していく事を鑑みると公的関与の必要性大である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

木質化を行った構造物については、実施した施設にて適正な管理を行うこととしている。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
TV（行政チャンネル等）	実施後	報道機関への情報提供を行い、みえ森と緑の県民税を活用した取り組みであることを周知
のぼり設置	実施中	学習実施時にのぼりを設置し当該交付金活用事業であることをPR
啓発物品配布	実施後	森林のはたらきをテーマとした絵本を作製し、市内小学校・保育園・幼稚園に配布
アンケート実施	実施後	
ロゴマーク掲示（シル・プレート等）	実施後	校舎の木質化を行った後にプレートを設置し、当該事業活用の取組であることを周知

7. 写真

別紙のとおり

8. その他特記事項

平成26年度からの継続事業。平成26年度～令和2年度の実績13校。

対策区分 3. 森を育む人づくり

市町名 松阪市

事業名 森林環境学習事業

7. 写真



写真1

森林環境学習（森林組合原木市場見学）



写真2

森林環境学習（木工教室状況）



写真3

森林環境学習（森林環境教育状況）



写真4

森林環境学習（森林環境教育状況）



写真5

みえ森と緑の県民税のぼり設置によるPR状況

写真6 木質化後に設置したオリジナル木製プレート
(県民税ロゴマーク付き)

対策区分 3. 森を育む人づくり

市町名 松阪市

事業名 森林環境学習事業

7. 写真

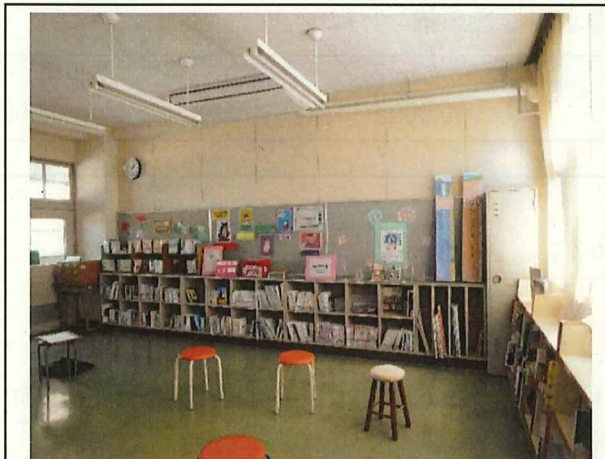


写真 7

掃水小学校図書室木質化（着手前）



写真 8

掃水小学校図書室木質化（完成）



写真 9

徳和小学校図書室木質化（着手前）

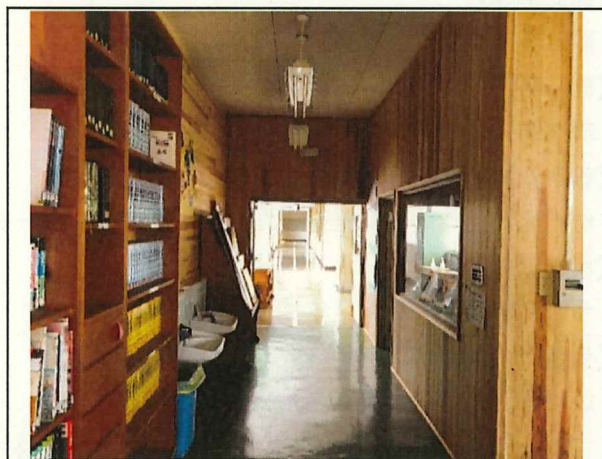


写真 10

徳和小学校図書室木質化（完成）



写真 11

徳和小学校図書室木質化（着手前）



写真 12

徳和小学校図書室木質化（完成）

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠) 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり			市町名	松阪市
番号	事業名				
4	幼稚園木育推進事業				
事業費	2,200,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		200,000

1. 事業の目的	市内の幼稚園の備品を木質化し、木材と市民の関係を深める。
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】</p> <p>市内の幼稚園の備品を市産材で木質化する。また、森林環境学習の一環として、みえ森と緑の県民税市町交付金事業にて作製した、児童及び園児向けの森林環境学習用絵本の読み聴かせ等を行う。</p> <p>【実施主体(補助事業の場合は補助事業実施主体)】</p> <p>松阪市</p> <p>【補助率等】</p> <p>補助事業でなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】</p> <p>幼稚園15園</p> <p>【事業量】</p> <p>幼稚園15園への木育推進のための木製備品導入一式</p> <p>【事業実施期間】</p> <p>令和2年8月～令和2年12月</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】</p> <p>幼稚園15園(園児数730名)</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】</p> <p>市内全幼稚園対象。平成26年～平成30年において、当該交付金を活用し、市内全保育園の机・椅子を木質化したところ、園関係者や保護者から、木材とふれあいの機会の創出、木育啓発に繋がることから大変好評であり、関係者から幼稚園においても備品の木質化のニーズが高まったため。</p> <p>【事業実施により得られた効果】</p> <p>園児達が、市産材で木質化された備品にふれることで、木材とのふれあいが進んだ。</p> <p>また、当事業交付金を活用して作製した森林環境学習用の絵本の読み聴かせを行い、幼少期からの木育の促進を図った。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】</p> <p>市において、維持管理、長寿命化を行っていく。今後の活用としては、各園において、森林環境学習用絵本の読み聴かせを引き続き実施する事と、木製備品に触れることにより幼少期からの木育推進に繋げる。また、園関係者や保護者にも波及させていく。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】</p> <p>園児及び関係者が、備品が導入されたことにより、木に触れ合う空間が創出され、また、木材特有の「温かみ」「親しみ」を感じていただいているという反応が多く、今後も継続的に導入していきたい。</p>

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市
------	-------------------	-----	-----

番号	事業名			
4	幼稚園木育推進事業			
事業費	2,200,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金
			2,000,000	
			その他	200,000

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】		
【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】 物品売買契約		
【実施方法の選定理由】 一般競争入札により経費の削減にも繋がる。		
【契約方法と落札率または補助率等】 条件付き一般競争入札落札率99.90%		
【契約相手方の選定理由】 入札条件に適合した参加者により、一般競争入札を行い、落札した業者である。		
【事業費の積算根拠】 別添		
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】		
【事業参加や整備施設等の公益性】 幼稚園15園、園児約730名に木に触れ合う空間を提供し、また当事業交付金を活用して作製した森林環境学習用の絵本の読み聴かせを行い、幼少期からの木育を促進を図られた。		
【公的関与の必要性】 市が管理者である施設のため、公的関与は必要である。		
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】 維持管理は市が主体的に実施する。転用、目的外使用については公共施設整備であるため想定されない。		
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】		
【情報発信の内容】		
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
回覧板・掲示板	実施前・後	幼稚園関係者・保護者に対して、幼稚園だより等掲載により、森のはたらきと当該交付金事業の活用をPR
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施後	校舎の木質化を行った後にプレートを設置し、当該事業活用の取組であることを周知
7. 写真		
別紙のとおり		
8. その他特記事項		
-		

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり
------	-------------------

市町名	松阪市
-----	-----

事業名	幼稚園木育推進事業
-----	-----------

7. 写真



写真1

木製パーテーション設置状況

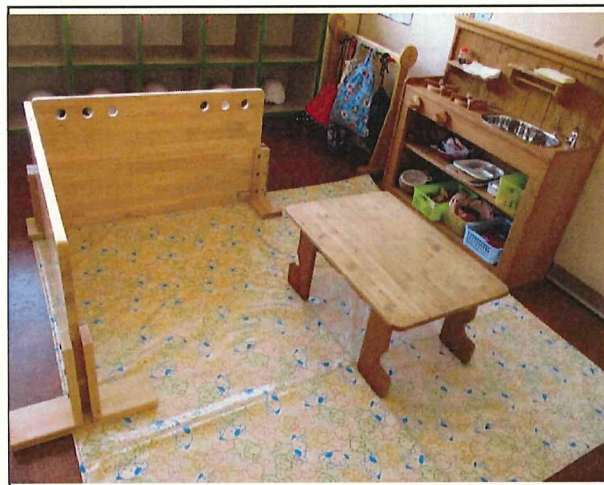


写真2

木製パーテーション、ままごとセット等設置状況



写真3

みえ森と緑の県民税市町交付金の木製プレート設置状況



写真4

掲示板で「みえ森と緑の県民税」の周知と森林の大切さや必要性を説明

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市
------	-------------------	-----	-----

事業名	幼稚園木育推進事業
-----	-----------

積算資料（実績報告参考資料）

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
会議用テーブル	卓	4.00	80,000	320,000	
絵本棚	架	4.00	90,000	360,000	
木製座卓	卓	5.00	60,000	300,000	
木製パーテーション	基	2.00	50,000	100,000	
木製フックスタンド	基	1.00	30,000	30,000	
台形テーブル	卓	1.00	70,000	70,000	
キューブ椅子	脚	3.00	20,000	60,000	
ままごとキッチン	基	2.00	70,000	140,000	
収納棚	基	4.00	40,000	160,000	
パーテーション(連結)	基	8.00	35,000	280,000	
積み木セット	セット	9.00	10,000	90,000	
衣類掛けラック	台	2.00	45,000	90,000	
				2,000,000	
			消費税(10%)	200,000	
			合計	2,200,000	
事業費				2,200,000	

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市
------	-------------------	-----	-----

番号	事業名			
5	都市公園整備事業			
事業費	6,140,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金
			4,000,000	
				その他
				2,140,200

1. 事業の目的	公共空間である公園において、市産材の木材利用を促進し、木材と市民の関係を深める。
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 都市公園内の東屋及びベンチを市産材で木質化する。</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 松阪市</p> <p>【補助率等】 補助事業でなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】 2箇所（東公園、小黑田町公園）</p> <p>【事業量】 東屋1棟、ベンチ4基</p> <p>【事業実施期間】 令和2年8月～令和2年11月</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 東町・高町・幸生町受益戸数1,441世帯、小黑田町受益戸数832世帯</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】 利用者の多い箇所から効果的に実施。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 多くの市民に利用される公園において、市産材で東屋やベンチを建築することにより、市民が木材とふれあう機会が増え、木材の活用や森林づくりへの理解が深まった。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 市において、点検の実施など維持管理を行っていく。今後の活用としては、施設管理者である松阪市が周辺自治会との協働のもと、公園を利用される市民、遠足などで訪れる保育・幼稚園児・小中学校児童生徒等への木材とのふれあいの場の利用促進を図りつつ、森林づくりへの理解を更に深めていく。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 地域住民にとって、東屋やベンチが整備されたことで、憩いの場所が創出され喜ばれている。また木材特有の「温かみ」「親しみ」を感じていただいているという反応が多く、今後も継続的に実施していきたい。</p>

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり			市町名	松阪市
番号	事業名				
5	都市公園整備事業				
事業費	6,140,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,000,000		2,140,200
4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】					
【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】					
工事請負					
【実施方法の選定理由】					
請負とすることで、実施における安全面と専門的な技術の確保が可能となるため、また、競争入札により経費の削減にも繋がる。					
【契約方法と落札率または補助率等】					
一般競争入札落札率84.54%					
【契約相手方の選定理由】					
入札条件に適合した参加者により、一般競争入札を行い、落札した業者である。					
【事業費の積算根拠】					
東屋一棟約400万円、ベンチ4基約200万円					
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】					
【事業参加や整備施設等の公益性】					
東町・高町・幸生町受益戸数1,441世帯、小黑田町受益戸数832世帯の他、市内の保育園・幼稚園・小中学校の遠足等の利用が見込まれる。					
【公的関与の必要性】					
市が管理者である公園の整備であり、公的関与は必要である。					
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】					
維持管理は市が主体的に実施する。転用、目的外使用については公共施設整備であるため想定されない。					
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施後	ベンチ設置後に、ロゴマークのシールとプレートの設置を行い、当該交付金活用事業であることをPR			
施工看板に掲示	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR			
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR			
7. 写真					
別紙のとおり					
8. その他特記事項					
平成26年度からの継続事業。平成26年度～R2年度の実績24箇所。					

対策区分 4. 森と人をつなぐ学びの場づくり

市町名 松阪市

事業名 都市公園整備事業

7. 写真



写真1

都市公園整備 東屋 1棟 (東公園)



写真2

都市公園整備 木製ベンチ 4基 (小黒田町公園)



写真3

都市公園整備 木製ベンチ (桜町2号公園その1)



写真4

PR標柱設置状況

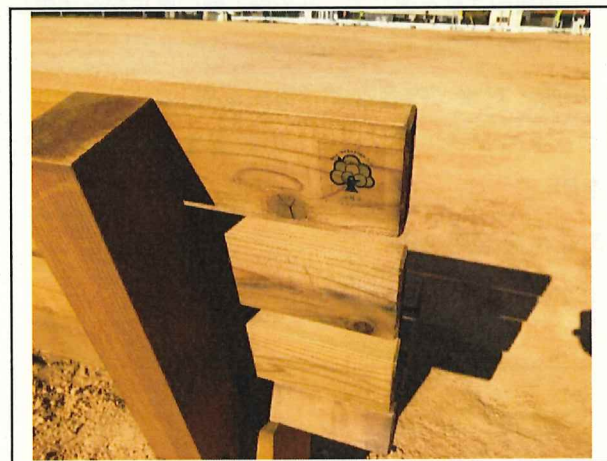


写真5

ロゴマークシール貼付状況



写真6

施工中 啓発のぼり設置状況

対策区分 4. 森と人をつなぐ学びの場づくり

市町名 松阪市

事業名 都市公園整備事業

7. 写真



写真7
回覧及び配布した啓発チラシ



写真8
回覧及び配布した啓発チラシ

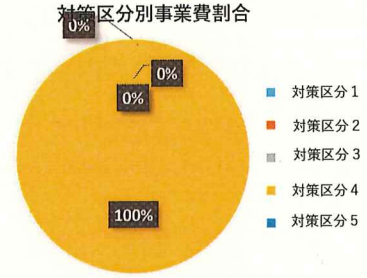


多氣町

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	多気町	三重県
人口（人）	14,345	1,782,190
年少人口割合（%）*1	12.8%	12.4%
森林面積(ha)	5,915.33	372,352.55
民有林面積(ha)*2	5,915.33	348,833.49
森林率(%)	57.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	23.2	10.1



- *1：全人口に占める15歳未満の人の割合
- *2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
- *3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	4	木とふれあう環境づくり事業	4,945,600	4,945,600				4,945,600		
2		基金積立	2,564,400							2,564,400
3										
4										
5										
6										
7										
計			7,510,000	4,945,600	0	0	0	4,945,600	0	2,564,400

3. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	5.79	1,731,400	1,550,000	
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	県産材を利用した備品等を配置することにより、次世代を担う子供たちに地域資源である木の素晴らしさを再認識できる事業にする。
事業実施により得られた効果	県産木材を利用した木製備品を小学校、中学校、地域公共施設（勢山荘）に配置したことにより、木と緑にたいする関心が高まり、また森林のしくみを紹介した看板を設置（勢山荘）したことにより、森林を身近に感じることができるようになった。
情報発信への取組	多くの地域の方に、木製備品の素晴らしさを実感してもらうため広報誌等でアピールしていきたい。

令和2年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(円)	内、譲与税
1	② 意向調査	730,000	730,000
2	⑰ 基金積立（森林整備等）	6,704,000	6,704,000
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	7,434,000	7,434,000

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	4.森と人をつなぐ学びの場づく	市町名	多気町
------	-----------------	-----	-----

番号	事業名			
1	木とふれあう環境づくり事業			
事業費	4,945,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金
			4,945,600	0
			その他	

1. 事業の目的	<p>木材は柔らかく温かみのある感触を有する。次世代を担う地域住民が多く利用する場所で、県産木材について学びふれ合う機会を提供する。</p>
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 公共施設に木製遊具を設置し、次世代を担う地域住民に木材の持つ素晴らしい特性を伝える。また、学校にて木製製品を設置することにより木を身近に感じてもらう。さらに町内に木製案内看板（森林の役割や木製製品の良さを示した看板とともに歴史的な遺物を紹介した看板も作成）を設置し木材にふれ合う機会を増やす。</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 多気町</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】 勢山荘周辺 小中学校</p> <p>【事業量】 勢山荘周辺（木製遊具1台、看板6枚）、 小中学校（戸棚、書架、作業椅子20台、ベンチ4台、作業台4台、展示付書架）</p> <p>【事業実施期間】 令和2年5月～令和3年3月</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 勢山荘周辺の利用者、小中学校在学学生</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】 毎年度小中学校より木製備品の要望があるため。また地域住民からも木製遊具の設置の要望があったため。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 木製の温かみを身近に感じることができ、利用した県木産に対して関心が高まった。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 整備した木製備品を森林環境教育に利用してもらう。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 多くの住民や在校生の方からは、木の持つ素晴らしい特性（柔らかさ、環境になじみやすい等）を感じることができ非常に素晴らしいとの声が多く寄せられた。</p>

対策区分	4.森と人をつなぐ学びの場づく	市町名	多気町
------	-----------------	-----	-----

番号	事業名				
1	木とふれあう環境づくり事業				
事業費	4,945,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,945,600	0	

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

随意契約で事業を行った。

【実施方法の選定理由】

県産材木材調達から施工まで一貫して実施できる能力がある唯一の業者であるため随意契約を行う。

【契約方法と落札率または補助率等】

随意契約

【契約相手方の選定理由】

県産材木材調達から施工まで一貫して実施できる能力がある業者のため。

【事業費の積算根拠】

原材料費等により算定

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】

日常生活に身近な場所で木製製品に触れることができる。

【公的関与の必要性】

日常生活に常に木製備品を意識できる場を提供する必要性がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

設置を行った施設においてはその責任者が維持管理につとめ、目的以外使用がないように対策を行う。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
広報誌掲載	今後	町内全域
ポスター掲示	今後	小中学校
HP掲載	今後	多気町のホームページに事業内容掲載（令和2年度実施分）
ロゴマーク掲示（シル・プレート等）	実施中	小中学校の木製備品

7. 写真

別紙のとおり

8. その他特記事項

対策区分 4.森と人をつなぐ学びの場づくり

市町名 多気町

事業名 木とふれあう環境づくり事業

7. 写真



写真1
木製工具戸棚

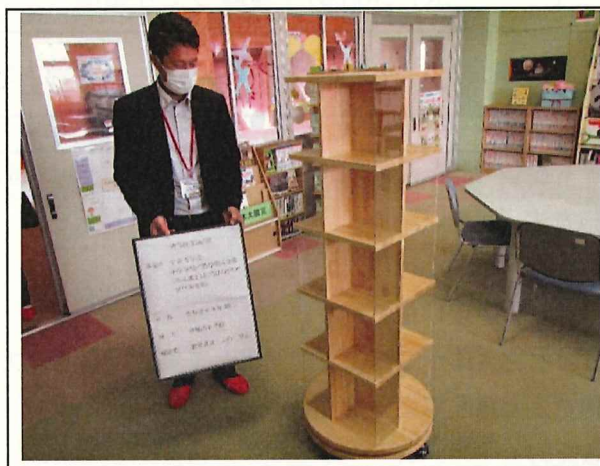


写真2
木製回転書架



写真3
木製作業椅子

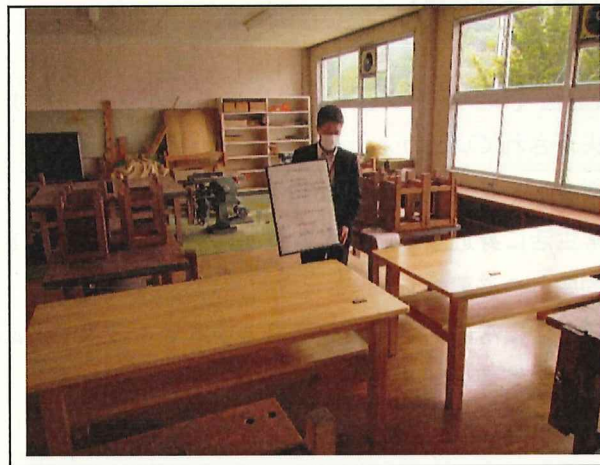


写真4
木製作業台



写真5
木製展示台付書架



写真6
木製ベンチ

対策区分	4.森と人をつなぐ学びの場づくり
------	------------------

市町名	多気町
-----	-----

事業名	木とふれあう環境づくり事業
-----	---------------

7. 写真



写真7
木製遊具

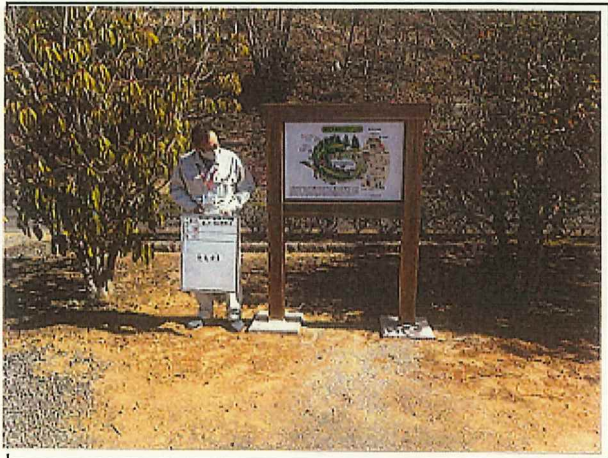


写真8
木製看板



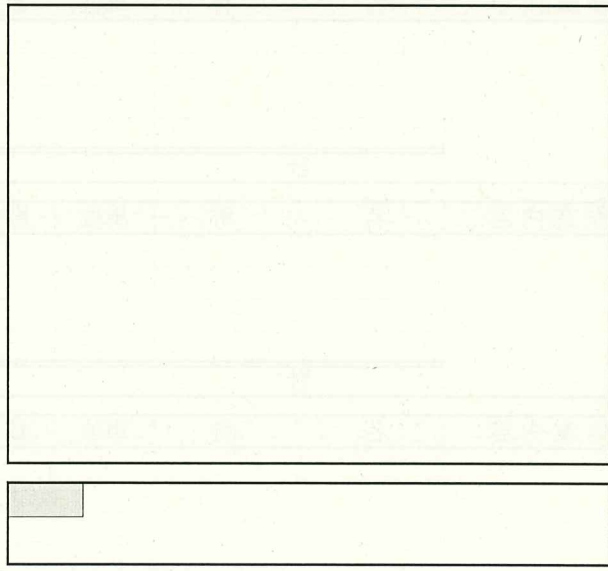
写真9
ロゴマーク掲示（プレート）



写真10
ロゴマーク掲示（プレート）



写真11
案内看板



(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町
------	-------------------	-----	-----

事業名	木とふれあう環境づくり事業
-----	---------------

積算資料(実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
小学校、中学校備品一式				2,470,600	
勢山荘木製遊具等				2,475,000	
事業費				4,945,600	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
小学校、中学校 備品一式	木製工具戸棚	台	1.00	500,000	550,000	税込
	木製回転書架	台	1.00	250,000	275,000	税込
	木製作業椅子	台	20.00	276,000	303,600	税込
	木製ベンチ	台	4.00	280,000	308,000	税込
	木製作業台	台	4.00	640,000	704,000	税込
	木製展示付書架	台	1.00	300,000	330,000	税込
	計				2,470,600	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
勢山荘木製遊具 等	木製備品・看板		一式	2,475,000	2,475,000	税込
計					2,475,000	

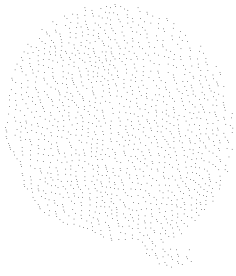
作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						



明和町

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報

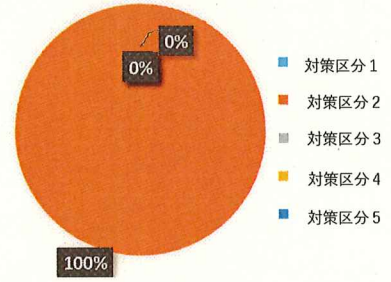
市町名	明和町	三重県
人口（人）	22,563	1,782,190
年少人口割合（%）*1	13.1%	12.4%
森林面積（ha）	310.97	372,352.55
民有林面積（ha）*2	310.97	348,833.49
森林率（%）	8.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	13.0	10.1

*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別別事業費割合



2. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	松林整備事業	1,403,600	1,403,600		1,403,600				
2		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	5,941,400	5,941,400						5,941,400
計			7,345,000	7,345,000	0	1,403,600	0	0	0	5,941,400

3. 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	税を活用することで、多くの地域住民に安全・安心な環境を提供する。
事業実施により得られた効果	防風林としての役割を持つ松林の、松くい虫被害拡大を防ぐとともに、枯損木による危険低減させることができた。
情報発信への取組	広報誌や町ホームページ等にて事業の取り組み状況について情報発信を実施。 ホームページの上位に表示されるよう頻繁に更新を行ったり、写真等画像を多くしたり工夫をした。

*評価の参考として、別紙「森林環境譲与税事業の実績」を添付すること。

令和2年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(円)	内、譲与税
1	⑰ 基金積立（森林整備等）	2,500,000	2,500,000
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	2,500,000	2,500,000

みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	明和町
------	-----------------	-----	-----

番号	事業名			
1	松林整備事業			
事業費	1,403,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金
			1,403,600	

1. 事業の目的	<p>・明和町内の沿岸部（川尻～大淀地内）にかけて広がる山林・防風保安林は近年、病害虫（松くい虫）による松林の立ち枯れが顕在化している。当該地域には毎年多くの観光客が訪れるキャンプ場も含まれている。交付金の活用によりこの地域の松林整備を実施することで、景観保持や安全の確保を図り地域住民や観光客の憩いの場を提供する。</p>
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 当該区域に植生している松林の保全を図る。</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 明和町（薬剤散布 森林組合へ業務委託、伐採 土屋建設）</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】 明和町大淀 地内（2箇所）、明和町川尻 地内（1箇所）</p> <p>【事業量】 松林整備 面積：9.7ha（大淀地内 2.7ha 川尻地内 7.0ha）（地上散布 9.7ha 倒木・立木処理 22本）</p> <p>【事業実施期間】 令和2年5月から令和2年10月</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 利用者、周辺住民、周辺児童（見込み） 5,000人／年</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】 松林の立ち枯れが顕在化している当該地域には、毎年多くの観光客が訪れる。景観保持や安全の確保を図り、近隣住民の安全や観光客の憩いの場を提供するために必要であると判断したため。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 松くい虫被害予防のため、薬剤を散布することにより新たな被害の軽減が図れた。 また、既に枯れてしまった松を伐倒することにより、倒木による危険の低減や、新たな松くい虫被害の低減に繋げることができた。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 松くい虫被害については、継続的な防除や伐倒等の整備を実施することで、より安全・安心な松林環境を整備していく。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 近隣住民や施設関係者等より、更に松くい虫被害の防除、枯損木の伐倒を進めて欲しいとの声をいただいた。</p>

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	明和町
------	-----------------	-----	-----

番号	事業名			
1	松林整備事業			
事業費	1,403,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金
			1,403,600	
			その他	

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

業務委託契約にて実施

【実施方法の選定理由】

松林整備には専門的知識や経験、技能が必要であるため。

【契約方法と落札率または補助率等】

明和町会計規則に基づき、見積徴収（2者）の上、随意契約を実施

【契約相手方の選定理由】

明和町会計規則第109条の規定による随意契約

【事業費の積算根拠】

見積徴収による積算および、県標準単価（森林病虫害防除事業）を使用

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】

施設利用者、周辺住民、周辺児童等 5,000人／年の利用者に受益が見込める。

【公的関与の必要性】

保安林（防風林）である公有林の整備であるため妥当と考える。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

幅広い虫被害に対する整備のため、目的外使用等が想定されず該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	町HP
ポスター掲示	実施前・中・後	庁舎内
広報誌掲載	今後	町内全域

7. 写真

別紙のとおり

8. その他特記事項

対策区分 2. 暮らしに身近な森林づくり

市町名 明和町

事業名 森林整備事業

7. 写真

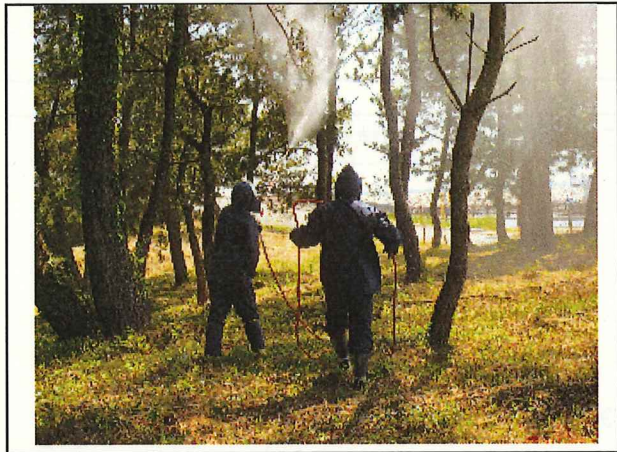


写真1 松林 (明和町大淀 地内) (薬剤散布)

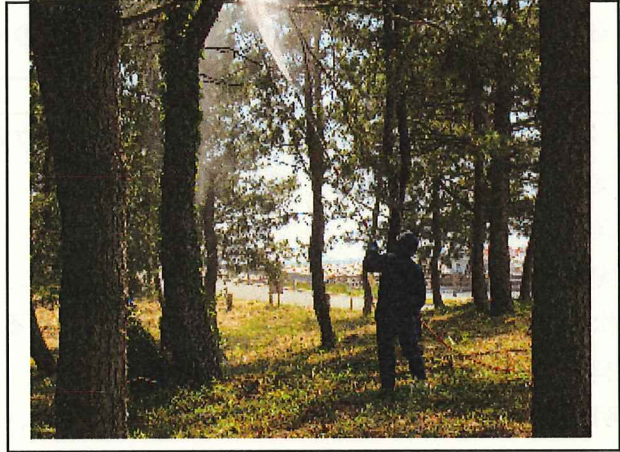


写真2 松林 (明和町大淀 地内) (薬剤散布)



写真3 松林 (明和町川尻 地内) (薬剤散布)



写真4 松林 (明和町川尻 地内) (薬剤散布)



写真5 松林 (明和町大淀 地内)

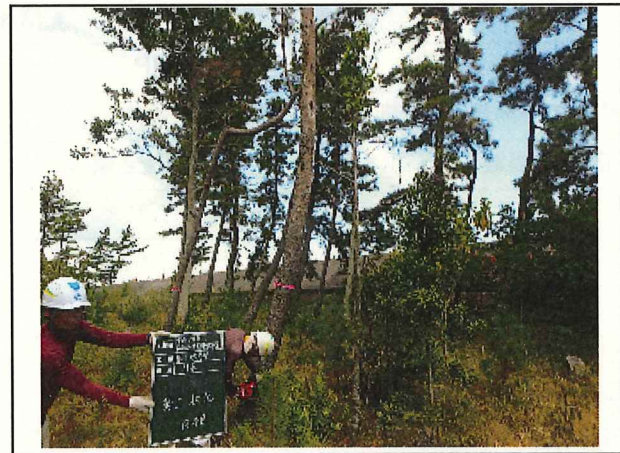


写真6 松林 (明和町川尻 地内)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	明和町
-----	-----

事業名	松林整備事業
-----	--------

積算資料（実績報告参考資料）

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
松林整備事業（薬剤地上散布）	式	1	968,000	968,000	税込
松林整備事業（倒木・立木処理）	式	1	435,600	435,600	税込
事業費				1,403,600	税込

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

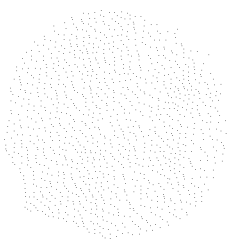
作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					



大台町

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

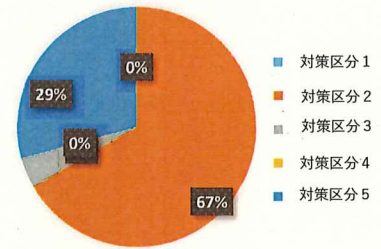
市町名	大台町	三重県
人口（人）	8,975	1,782,190
年少人口割合（%）*1	9.8%	12.4%
森林面積（ha）	33,760.45	372,352.55
民有林面積（ha）*2	27,941.63	348,833.49
森林率（%）	93.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	0.0	10.1

*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



2. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	18,008,659	4,500,000		4,500,000				
2	2	集落周辺等危険木伐採事業	4,700,300	4,533,000		4,533,000				
3	3	森林環境教育事業	728,200	550,000			550,000			
4	5	森とのふれあい空間整備事業	4,001,800	3,950,000					3,950,000	
計			27,438,959	13,533,000	0	9,033,000	550,000	0	3,950,000	0

3. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業	78.84ha	28,039,000	27,596,000	災害緩衝林事業の周囲の間伐
森林再生力強化対策事業	4,411m	3,215,891	3,215,000	獣害防護施設設置に対する補助
災害からライフラインを守る事前伐採事業	1.15ha	18,008,659	4,500,000	ライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	「みえ森と緑の県民税」の趣旨である「災害に強い森林づくり」の推進については、防災減災対策の事業として、道路沿いに設置されたライフライン（電線）を風倒被害から守るための事前伐採、集落周辺や人家等への風倒被害を未然に防ぎ、住民の安全・安心を確保するため、人工林を帯状に間伐する事業を実施した。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」の推進については、地元の高校生を対象に森林や林産物などを学習する場としてキノコ栽培の実習、奥伊勢フォレストピア等の観光客が森林とふれあう場の環境整備として町有林の整備を実施した。
事業実施により得られた効果	災害からライフラインを守る事前伐採事業については、三重県、電力会社との共同の取組として、また集落周辺等危険木伐採事業については、地元区長からの要望等の聞き取りにより実施するなど、各関係機関と連携を図りながら実施することにより、地域住民の安全・安心の確保につながった。森林環境教育事業については、農林業を専攻する高校生を対象として実施したことにより大台町の森林や林産物への関心や理解を深めることができたことと好評を得た。
情報発信への取組	災害からライフラインを守る事前伐採事業については、報道機関へ情報提供を行い、新聞紙面やテレビ放映により、県民税を活用した事業の趣旨等の情報発信を行った。森とのふれあい空間整備事業については標柱の設置、環境学習については高校生に対して県民税の趣旨説明、その他の事業についても施工中ののぼり旗等の設置や町広報紙、町ホームページによる情報発信を行っている。

令和2年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(円)	内、譲与税
1	② 意向調査	5,955,000	5,900,000
2	③ 私有林整備	30,802,000	30,700,000
3	⑬ 木造公共建築物の整備等	751,000	500,000
4	⑨ 林業就業者の育成	206,000	206,000
5	⑧ 担い手確保	819,000	750,000
6	⑩ 専門員の雇用	1,677,000	1,677,000
7	⑰ 基金積立（森林整備等）	26,047,000	26,047,000
8			
9			
10			
	合計	66,257,000	65,780,000

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町
------	----------------	-----	-----

番号	事業名			
1	災害からライフラインを守る事前伐採事業			
事業費	18,008,659 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金
			4,500,000	0
			その他	13,508,659

1. 事業の目的	<p>近年の台風倒木被害による停電の長期化といった問題を受け、ライフラインの保全が喫緊の課題となっている。これまでも中部電力パワーグリッド(株)が事前伐採に向けた取組は行ってきたが、民間企業単独では地元調整等が課題となり対策が進まない状況にある。防災・減災対策としての森づくりを、三重県、電力会社、町</p>
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行う。</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 大台町（委託契約先：宮川森林組合、(株)フォレストファイターズ）</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく該当しない。</p> <p>【箇所数】 伐採施工：2箇所 大台町岩井地内私有林(地権者4名)、 大台町滝谷地内私有林(地権者3名) 伐採調査：2箇所 大台町岩井地内私有林(地権者1名)、 大台町岩井地内私有林(地権者3名)</p> <p>【事業量】 伐採施工 岩井地内：0.62ha、625本 滝谷地内：0.53ha、498本 伐採調査 岩井地内：0.38ha、608本</p> <p>【事業実施期間】 令和2年4月24日～令和3年1月29日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 大杉谷地区の世帯数及び人数 113世帯 199人（R3.3末時点）</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】 三重県・中部電力パワーグリッド(株)・大台町の三者で現場立会いを行い、過去に倒木による被害のあった箇所を選定した。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 台風などの倒木による停電や交通障害等による被害への懸念が解消された。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 伐採箇所の公益的機能を高めるための森林管理を、今後、森林所有者との協議を踏まえ検討していく。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 風倒被害等の懸念がなくなり、地域住民からは評価を得ている。</p>

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	大台町
番号	事業名			
1	災害からライフラインを守る事前伐採事業			
事業費	18,008,659 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金
			4,500,000	0
			その他	13,508,659

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】
委託（請負）

【実施方法の選定理由】
道路沿いの森林伐採は特殊伐採であり、実績のある認定林業事業者による請負を選定した。

【契約方法と落札率または補助率等】
伐採施工 岩井地内：2者による随意契約、滝谷地内：指名競争入札 93.60%
伐採調査 岩井地内：1者による随意契約

【契約相手方の選定理由】
伐採施工を行った岩井地内は、道路の電線沿いの森林の特殊伐採のため、特定の認定林業事業者による随意契約（地方自治法施行令第167条の2第1項第2号）とした。滝谷地内は、前施工箇所（岩井地内）の実績を踏まえ発注方法の検討を行い、競争入札とした。
伐採調査を行った岩井地内は、認定林業事業者との随意契約（地方自治法施行令第167条の2第1項第1号）とした。

【事業費の積算根拠】
特殊伐採であることから、設計単価見積りにより積算した。

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】
幹線道路の電線沿いの森林伐採を行ったことにより、大杉谷地区に居住する住民の停電被害の防止及び通行する不特定多数の安全安心につながった。

【公的関与の必要性】
事業実施箇所は幹線道路の電線沿いの森林であり、電力会社等による事前伐採の取組は行われてきたが、伐採の法的制限や地元調整等が課題となること、また、採算が取れず施業放棄されている場所が多く見られる。風倒被害による停電や交通障害を未然に防ぐため、防災減災対策の取組として公的機関の関与は必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】
本事業は、人工林による再造林は適さないことから、森林所有者に事業の趣旨を十分に説明する必要がある。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施中	みえ森と緑の県民税を活用した事業であることを施工看板に表記
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税を活用した事業であるのぼりを設置
HP掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した取組として、町HPに掲載
広報誌掲載	今後	みえ森と緑の県民税を活用した取組として、町広報誌に掲載予定
TV（行政チャンネル等）	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した取組として、報道機関（新聞社、テレビ局）へ情報提供を行った。

7. 写真
別紙のとおり

8. その他特記事項

対策区分 2. 暮らしに身近な森林づくり

市町名 大台町

事業名 災害からライフラインを守る事前伐採事業

7. 写真



写真1
大台町岩井地内①【伐採前】



写真2
大台町岩井地内①【伐採後】



写真3
大台町岩井地内②【伐採前】



写真4
大台町岩井地内②【伐採後】



写真5
大台町滝谷地内【伐採前】



写真6
大台町滝谷地内【伐採後】

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	大台町
-----	-----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7. 写真



写真 7
大台町岩井地内 工事看板、のぼり掲示状況



写真 8
大台町岩井地内 工事看板設置状況



写真 9
大台町滝谷地内 工事看板設置状況



写真10
大台町滝谷地内 のぼり掲示状況

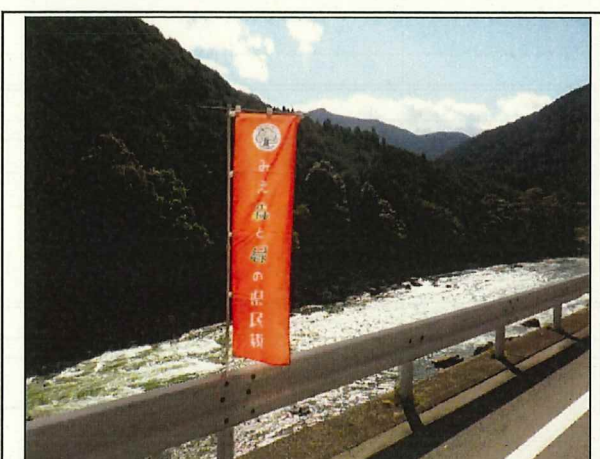
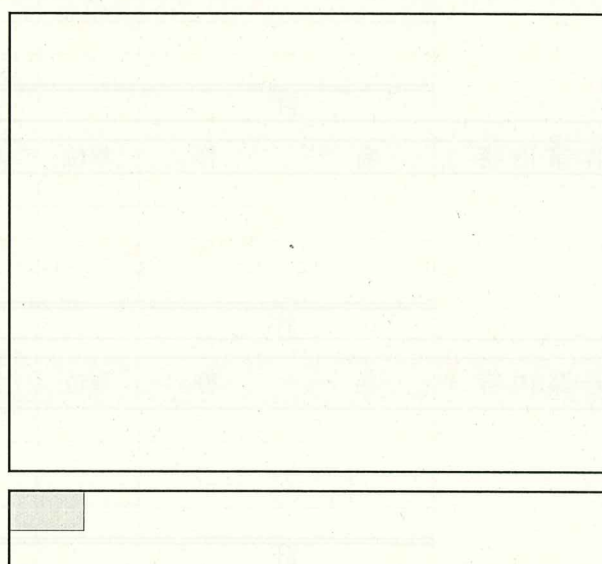


写真11
大台町滝谷地内 のぼり掲示状況



対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町
------	-----------------	-----	-----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

積算資料(実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
立木補償					
伐採箇所：大台町岩井地内 4名				1,236,805	
伐採箇所：大台町滝谷地内 3名				843,854	
事業費				2,080,659	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
立木補償 岩井地内	スギ		506.00		1,082,066	
	ヒノキ		65.00		115,086	
	雑木		54.00		39,653	
	計				1,236,805	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
立木補償 滝谷地内	スギ		305.00		665,358	
	ヒノキ		87.00		135,719	
	広葉樹		1.00		2,590	
	雑木		105.00		40,187	
計				843,854		

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町
------	----------------	-----	-----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

積算資料(実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
伐採施工(大台町岩井地内)					
伐採	式	1.00		4,281,580	
運搬	式	1.00		112,500	
作業道	式	1.00		1,500,000	
安全対策	式	1.00		414,000	
直接工事費計				6,308,080	
諸経費				1,892,000	
工事価格				8,200,000	
消費税				820,000	
本工事費計				9,020,000	
事業費				8,910,000	(契約金額)

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
伐採	伐倒	m ³	274.00	3,800	1,041,200	
	玉切り・枝払い	m ³	274.00	5,000	1,370,000	
	伐倒(広葉樹A)	本	23.00	500	11,500	
	伐倒(広葉樹B)	本	26.00	20,000	520,000	
	プロセッサ 0.25	日	14.00	29,380	411,320	
	グラップル 0.25	日	27.00	16,280	439,560	
	高所作業車 12m	日	2.00	20,000	40,000	
	クレーン運転費	日	3.00	56,000	168,000	
	重機回送	式	1.00	80,000	80,000	
	雑費	式	1.00	200,000	200,000	
計				4,281,580		

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
運搬	枝条等運搬	回	5.00	22,500	112,500	
	計				112,500	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
作業道開設	作業道開設 W=3.5m	m	150.00	10,000	1,500,000	
	計				1,500,000	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
安全対策	交通誘導警備員A	人	15.00	14,800	222,000	
	交通誘導警備員B	人	15.00	12,800	192,000	
	計				414,000	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業		

積算資料 (実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
伐採施工 (大台町滝谷地内)					
伐採	式	1.00		4,042,140	
運搬	式	1.00		337,500	
安全対策	式	1.00		552,000	
直接工事費計				4,931,640	
諸経費				1,479,000	
工事価格				6,410,000	
消費税				641,000	
本工事費計				7,051,000	
事業費				6,600,000	(契約金額)

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
伐採	伐倒	m ³	178.00	3,800	676,400	
	玉切り・枝払い	m ³	178.00	7,500	1,335,000	
	伐倒 (広葉樹A)	本	86.00	500	43,000	
	伐倒 (広葉樹B)	本	20.00	20,000	400,000	
	プロセッサ 0.25	日	8.00	29,380	235,040	
	グラップル 0.25	日	15.00	16,280	244,200	
	高所作業車 12m	日	3.00	20,000	60,000	
	スイングヤーダ 0.25	日	15.00	28,700	430,500	
	クレーン運転費	日	3.00	56,000	168,000	
	重機回送	式	1.00	150,000	150,000	
	雑費	式	1.00	300,000	300,000	
	計				4,042,140	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
運搬	枝条等運搬	回	15.00	22,500	337,500	
	計				337,500	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
安全対策	交通誘導警備員A	人	20.00	14,800	296,000	
	交通誘導警備員B	人	20.00	12,800	256,000	
計					552,000	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町
------	-----------------	-----	-----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

積算資料 (実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
伐採調査					
整備計画作成	式	1.00		14,984	
面積調査 (境界確認)	式	1.00		20,070	
境界杭	式	1.00		19,800	
立木調査	式	1.00		43,982	
特殊伐採方法提案	式	1.00		150,000	
業務原価				248,836	
諸経費				133,164	
業務価格				382,000	
消費税				38,200	
業務委託料				420,200	
事業費				418,000	(契約金額)

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
整備計画作成	整備計画作成	ha	0.55	27,244	14,984	
	計				14,984	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
面積調査 (境界確認)	面積調査 (境界確認)	km	0.40	50,176	20,070	
	計				20,070	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
境界杭	測量境界杭	本	200.00	99	19,800	
	計				19,800	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
立木調査	選木	ha	0.55	79,968	43,982	
	計				43,982	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
特殊伐採方法提案	特殊伐採方法提案	箇所	2.00	75,000	150,000	
	計				150,000	

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町		
番号	事業名				
2	集落周辺等危険木伐採事業				
事業費	4,700,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,533,000		167,300

1. 事業の目的					
<p>集落周辺や人家裏等に位置する森林の公益的機能を高め、災害に強い森林づくりを行うため危険木の伐採を実施し、地域住民の安全安心を確保する。</p> <p>人家裏等に位置する森林は、家屋等に近いなどの理由から伐採経費が高額となる場合が多いため、認定林業事業体等による森林整備が進んでいない箇所が多い。近年では各地で起こる台風被害等もあり、当町でも里山には人工林が多いため被害が懸念されることから、大台町が事業主体となり実施する。</p>					
2. 事業実績概要					
【事業内容】					
間伐等の森林整備					
【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】					
大台町（委託契約先：宮川森林組合）					
【補助率等】					
補助事業ではなく、該当しない。					
【箇所数】					
森林調査：8地区					
大台町滝谷地区私有林、大台町大井地区私有林、大台町神滝地区私有林、大台町小滝地区私有林、大台町清水地区私有林、大台町本田木屋地区私有林、大台町弥起井地区私有林、大台町長ヶ地区私有林					
伐採施工：2地区					
大台町清水地区私有林、大台町弥起井地区私有林					
【事業量】					
森林調査 大台町滝谷地区他7地区：13.04ha					
伐採施工 大台町清水地区：0.14ha、大台町弥起井地区：0.26ha					
【事業実施期間】					
令和2年11月30日～令和3年3月26日					
【受益者、参加者、利用者数等】					
大台町の世帯数及び人数 4,132世帯 8,893人（R3.3末時点）					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【実施箇所の選定理由】					
大台町内の各区に要望調査を行い、要望のあった箇所から緊急性の高い箇所を選定した。					
【事業実施により得られた効果】					
集落周辺等の危険木伐採、間伐を実施したことで、地域住民の安全・安心が確保された。					
【整備した場所・施設・備品の今後の活用】					
事業の趣旨について十分説明を行い、森林所有者が適切な森林管理を行っていく。					
【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】					
風倒被害等の懸念がなくなり、地域住民からは評価を得ている。					

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町
------	-----------------	-----	-----

番号	事業名				
2	集落周辺等危険木伐採事業				
事業費	4,700,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,533,000		167,300

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

委託（請負）

【実施方法の選定理由】

森林調査業務に精通しており、特殊伐採技術を有している認定林業事業者による請負を選定した。

【契約方法と落札率または補助率等】

森林調査 指名競争入札 96.94%

伐採施工 指名競争入札 98.68%

【契約相手方の選定理由】

森林調査業務に精通しており、特殊伐採技術を有している認定林業事業者による競争入札とした。

【事業費の積算根拠】

森林調査については、環境創造事業及び林野庁の参考歩掛により積算し、伐採については、特殊伐採であることから設計単価見積りにより積算した。

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】

集落周辺の人家裏の森林を帯状に整備したことにより、多くの町民の安全・安心につながった。

【公的関与の必要性】

事業箇所は人家裏等であり、採算が取れず施業放棄されている場所が多く見られる。台風等による人家への倒木被害を未然に防ぐため、防災対策の取組として町が主体となり実施している。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

森林所有者に事業の趣旨について十分説明を行い、森林所有者が適切な森林管理を行っていく。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した取組として、町HPに掲載
広報誌掲載	今後	みえ森と緑の県民税を活用した取組として、町広報紙に掲載予定

7. 写真

別紙のとおり

8. その他特記事項

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	大台町
-----	-----

事業名	集落周辺等危険木伐採事業
-----	--------------

7. 写真



写真1
大台町長ヶ地内調査状況【現地立合】



写真2
大台町長ヶ地内調査状況【測量】



写真3
大台町清水地内危険木伐採【施工前】



写真4
大台町清水地内危険木伐採【施工中】

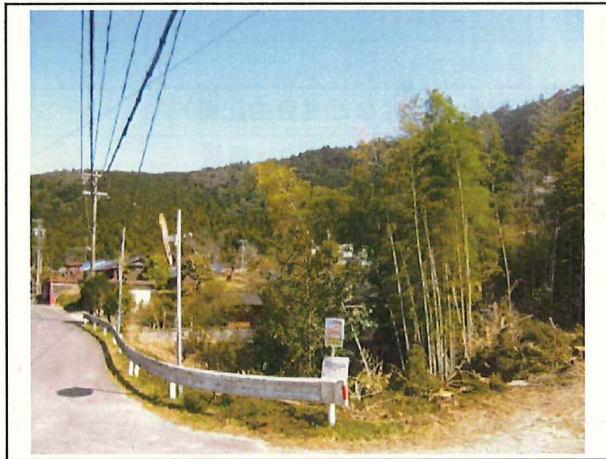


写真5
大台町清水地内危険木伐採【施工後】



写真6
大台町弥起井地内間伐【施工後】

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町
------	-----------------	-----	-----

事業名	集落周辺等危険木伐採事業
-----	--------------

積算資料 (実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
森林調査					
現地調査 (標準地設定・毎木調査)	式	1.00		362,600	
選木	式	1.00		87,150	
面積調査 (境界確認)	式	1.00		420,976	
整備計画作成	式	1.00		398,711	
境界杭	式	1.00		99,000	
直接工事費計				1,368,437	
諸経費				409,563	
工事価格				1,778,000	
消費税				177,800	
業務委託料				1,955,800	
事業費				1,895,300	(契約金額)

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
現地調査 (標準地設定・毎木調査)	現地調査	箇所	25.00	14,504	362,600	
	計				362,600	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
選木	選木	本	1245.00	70	87,150	
	計				87,150	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
面積調査 (境界確認)	面積調査 (境界確認)	km	8.39	50,176	420,976	
	計				420,976	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
整備計画作成	整備計画作成	ha	13.04	30,576	398,711	
	計				398,711	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
境界杭	境界杭	本	1000.00	99	99,000	
	計				99,000	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町
------	-----------------	-----	-----

事業名	集落周辺等危険木伐採事業
-----	--------------

積算資料(実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
伐採					
間伐	式	1.00		58,386	
危険木伐採	式	1.00		1,722,434	
安全対策	式	1.00		192,400	
直接工事費計				1,973,220	
諸経費				610,780	
工事価格				2,584,000	
消費税				258,400	
業務委託料				2,842,400	
事業費				2,805,000	(契約金額)

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
間伐	A箇所	ha	0.20	132,697	26,539	
	C箇所	ha	0.12	265,396	31,847	
	計				58,386	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採A箇所	杉・桧伐採箇所①	m ³	60.08	3,800	228,304	
	杉・桧伐採箇所②	m ³	28.58	11,000	314,380	
	広葉樹	式	1.00	71,000	71,000	
	グラップル 0.25	日	1.00	15,000	15,000	
	枝葉処理小運搬	日	1.00	5,000	5,000	
	枝葉処理運搬	車	1.00	22,500	22,500	
	重機回送	回	2.00	15,000	30,000	
	雑費	式	1.00	63,000	63,000	
	計				749,184	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採B箇所	杉・桧	m ³	19.55	5,200	101,660	
	広葉樹	式	1.00	86,400	86,400	
	高所作業車 12m	日	1.00	20,000	20,000	
	高所作業車 22m	日	1.00	32,000	32,000	
	クレーン運転費	日	1.00	46,000	46,000	
	グラップル 0.2	日	1.00	11,000	11,000	
	重機回送	回	4.00	15,000	60,000	
	雑費	式	1.00	52,000	52,000	
	計				409,060	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採C箇所	杉・桧	m ³	8.50	4,100	34,850	
	広葉樹	式	1.00	195,840	195,840	
	高所作業車 22m	日	1.00	32,000	32,000	
	クレーン運転費	日	1.00	56,000	56,000	
	グラップル 0.2	日	3.00	11,000	33,000	
	枝葉処理小運搬	日	2.00	9,000	18,000	
	枝葉処理運搬	車	1.00	22,500	22,500	
	重機回送	回	2.00	15,000	30,000	
	雑費	式	1.00	142,000	142,000	
計				564,190		

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
安全対策	交通誘導警備員A	人	13.00	14,800	192,400	
	計				192,400	

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町
------	-------------	-----	-----

番号	事業名				
3	森林環境教育事業				
事業費	728,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			550,000		178,200

1. 事業の目的
森林空間の利活用から、森林とふれあう機会を創設し、森林利用について学ぶ機会を提供するため、地元の昴学園高校の生徒と共同し、キノコ栽培を通じた学びの機会を提供する。
2. 事業実績概要
<p>【事業内容】 植付から収穫までの栽培体験の実施と、経過観察、林地毎の収量等の比較を行い報告書として纏める。収穫したキノコは道の駅での販売体験や、奥伊勢フォレストピアでの利用、森林空間を利用した収穫体験イベントなど利活用についても昴学園生徒と共に検討を図る。</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 大台町（委託契約先：宮川森林組合）</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】 栽培箇所：2箇所 大台町菌地内町有林（奥伊勢フォレストピア周辺） 大台町茂原地内町有林（宮川中学校周辺の森林）</p> <p>【事業量】 ・マイタケ菌床 50個、マイタケ駒菌・シイタケ駒菌・ナメコ駒菌 各1,000個の栽培 ・現地学習 回数：1回 開催日：令和3年1月21日 概要：宮川森林組合、三重県林業研究所指導のもと昴学園高校生徒と菌打ち作業の体験を実施</p> <p>【事業実施期間】 令和2年12月25日～令和3年3月19日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 昴学園高校生徒及び教員等 17名</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p>【実施箇所の選定理由】 宮川森林組合の専門職員の立会いの下、適切に栽培、管理を行える箇所を選定した。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 参加した高校生は主に農林業を専攻している生徒であることから、本事業により森林林業や林産物に対する理解をより深め、森林への関心が高まった。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 施設整備等ではなく、該当しない。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 参加した高校生・教員は、本事業の趣旨を十分に理解していただき、高い評価を得ている。</p>

対策区分	3. 森を育む人づくり			市町名	大台町
番号	事業名				
3	森林環境教育事業				
事業費	728,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			550,000		178,200

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】		
【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】		
委託(請負)		
【実施方法の選定理由】		
キノコ栽培の準備や管理等、また現地での体験授業を行う必要があることから請負を選定した。		
【契約方法と落札率または補助率等】		
1者による随意契約		
【契約相手方の選定理由】		
キノコ栽培に精通した職員を雇用しており、森林環境教育の実績を有する宮川森林組合との随意契約（地方自治法施行令第167条の2第1項第2号）による請負を選定した。		
【事業費の積算根拠】		
キノコの栽培管理や現地での体験授業等、特殊な業務であることから見積りにより積算した。		
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】		
【事業参加や整備施設等の公益性】		
学生に森林林業や林産物について学習を行う場の提供を行うことができた。また、林産物の栽培方法等を報告書に纏め、広く周知することで森林所有者や林業経営者の副収入につながる事が期待される。		
【公的関与の必要性】		
大台町は町内唯一の高校である昴学園高校を支援していく方針であり、農林業を専攻する生徒への学習の場を提供することは重要な対策であるため、公的機関として関与することは必要である。		
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】		
大台町、昴学園高校及び宮川森林組合により実施箇所の管理を行っていく。		
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】		
【情報発信の内容】		
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
その他	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業である看板を設置
その他	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した取組として、昴学園高校のブログに事業内容を掲載
HP掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した取組として、町HPに掲載
広報誌掲載	今後	みえ森と緑の県民税を活用した取組として、町広報紙に掲載予定
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税を活用した事業であるのぼりを設置
7. 写真		
別紙のとおり		
8. その他特記事項		

対策区分 3. 森を育む人づくり

市町名 大台町

事業名 森林環境教育事業

7. 写真



写真1
原木設置状況



写真2
原木設置状況



写真3
授業風景 (キノコ駒菌植え付け作業)



写真4
授業風景 (キノコ駒菌植え付け作業)

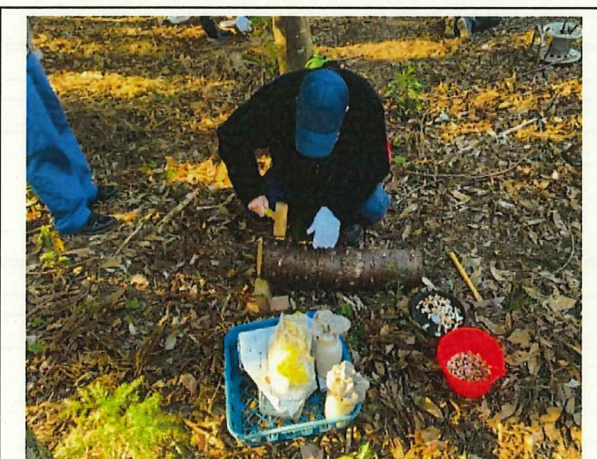


写真5
授業風景 (キノコ駒菌植え付け作業)



写真6
集合写真

(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町
事業名	森林環境教育事業		

積算資料(実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
種菌	式	1.00		32,760	
資材	式	1.00		86,400	
原木準備	式	1.00		176,400	
現地作業	式	1.00		215,600	
業務原価				511,160	
諸経費				157,480	
業務価格				669,000	
消費税				66,900	
業務委託料				735,900	
事業費				728,200	(契約金額)

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
菌種	マイタケ菌駒	個	1000.00	5	5,000	
	シイタケ菌駒	個	1000.00	4	4,000	
	ナメコ菌駒	個	1000.00	5	5,000	
	マイタケ菌床	個	50.00	330	16,500	
	菌床送料	式	1.00	2,260	2,260	
	計				32,760	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
資材	遮光ネット	枚	1.00	26,400	26,400	
	原木煮沸消毒用ドラム缶	本	1.00	20,000	20,000	
	菌打ち用ドリル	台	2.00	20,000	40,000	
	計				86,400	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
原木準備	原木切り出し	人	6.00	19,600	117,600	
	原木玉切り	人	3.00	19,600	58,800	
	計				176,400	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
現地作業	事前準備	人	9.00	19,600	176,400	
	現地作業	人	2.00	19,600	39,200	
	計				215,600	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	大台町
------	--------------------	-----	-----

番号	事業名			
4	森とのふれあい空間整備事業			
事業費	4,001,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金
			3,950,000	
			その他	51,800

1. 事業の目的	<p>森と触れ合える場の環境づくりとして、散策できる林内環境の整備と歩道整備等を行い地域住民や観光客が森とふれあう環境整備を実施する。</p>
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 奥伊勢フォレストピアに隣接する町有林を、森とのふれあい空間として利用するため森林整備等を行う。</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 大台町（委託契約先：(株)フォレストファイターズ）</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく該当しない。</p> <p>【箇所数】 施工箇所：1箇所 大台町菌地内（奥伊勢フォレストピア周辺の町有林）</p> <p>【事業量】 森林整備1.91ha、歩道整備578.66m、敷砂利舗装898.62㎡、 木製ベンチ設置4脚、案内看板設置1基</p> <p>【事業実施期間】 令和2年12月3日～令和3年3月19日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 奥伊勢フォレストピア利用客、総門山登山者、その他観光客等不特定多数</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】 奥伊勢フォレストピアは大台町の豊かな自然に触れ合える宿泊施設であり、隣接する町有林は開業と同時に来客者の憩いの場として整備された。整備以降、相当の年数が経ち、当時植栽された雑木林が成長し生い茂っている状況であったことから整備が必要となり選定した。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 人工林の間伐や雑木林の伐採により、枝葉が生い茂った鬱蒼とした空間が解消された。また、ベンチや表示板の設置により、観光客や住民が森との関係を深める場として期待できる。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 町有林のため今後も町が管理し、奥伊勢フォレストピアと一体的に環境整備を行っていく。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 森林整備に合わせ、歩道等の整備も行ったことから、利用客から評価を得ている。</p>

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり			市町名	大台町
番号	事業名				
4	森とのふれあい空間整備事業				
事業費	4,001,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,950,000		51,800

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

委託（請負）

【実施方法の選定理由】

町有林施業の実績のある認定林業事業体による請負を選定した。

【契約方法と落札率または補助率等】

指名競争入札 97.61%

【契約相手方の選定理由】

過去に町有林施業の実績のある認定林業事業体による競争入札とした。

【事業費の積算根拠】

造林補助事業単価、環境創造事業単価及び見積りにより積算した。

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】

事業実施箇所は奥伊勢フォレストピア周辺であること、また総門山の登山口の入り口であり多くの観光客が利用しやすい環境整備につながった。

【公的関与の必要性】

事業箇所は町有林であること、また奥伊勢フォレストピアは町の施設であることから、施設の一体的な整備を行うため町が実施する必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

事業箇所は観光客等が利用する町有林であり、目的外利用されることは想定していない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施中	みえ森と緑の県民税を活用した事業であることを施工看板に表記
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税を活用した事業であるのぼりを設置
HP掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した取組として、町HPに掲載
広報誌掲載	今後	みえ森と緑の県民税を活用した取組として、町広報紙に掲載予定

7. 写真

別紙のとおり

8. その他特記事項

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり
------	--------------------

市町名	大台町
-----	-----

事業名	森とのふれあい空間整備事業
-----	---------------

7. 写真



写真1
伐採、敷砂利舗装工【施工前】



写真2
伐採、敷砂利舗装工【施工後】

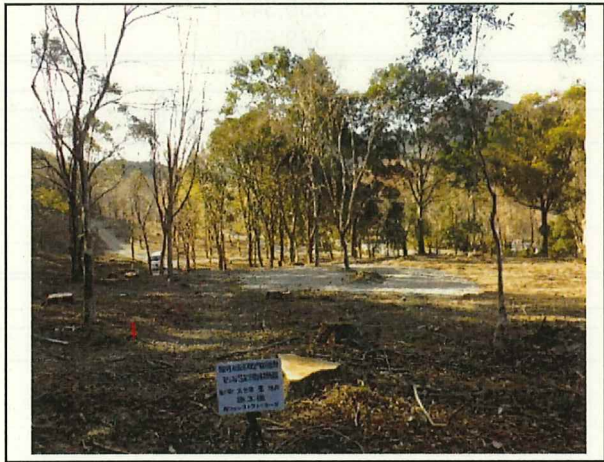


写真3
伐採施工【施工後】



写真4
木製ベンチ設置状況



写真5
PR標柱設置状況



写真6
表示板設置状況

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	大台町
------	--------------------	-----	-----

事業名	森とのふれあい空間整備事業
-----	---------------

積算資料 (実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
森林整備	式	1.00		2,867,165	
直接工事費計				2,867,165	
諸経費				859,835	
工事価格				3,727,000	
消費税				372,700	
本工事費計				4,099,700	
事業費				4,001,800	(契約金額)

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
森林整備	搬出間伐	ha	0.25	520,000	130,000	
	除伐	ha	1.66	215,346	357,474	
	雑木搬出	m ³	67.00	5,000	335,000	
	歩道整備	m ³	578.66	422	244,194	
	人工林・雑木枝条等運搬	回	8.00	23,500	188,000	
	表示板設置	基	1.00	228,500	228,500	
	木製ベンチ設置	基	4.00	60,000	240,000	
	PR標柱	基	1.00	20,000	20,000	
	敷砂利舗装工	m ²	898.62	618	555,347	
	人工林搬出	m ³	113.73	5,000	568,650	
計					2,867,165	

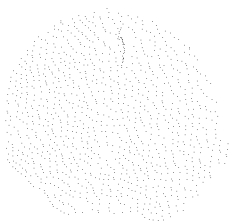
作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						



伊勢市

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

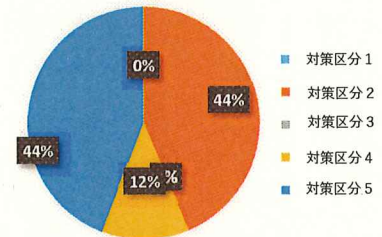
市町名	伊勢市	三重県
人口（人）	123,911	1,782,190
年少人口割合（%）*1	11.9%	12.4%
森林面積(ha)	10,956.43	372,352.55
民有林面積(ha)*2	10,956.43	348,833.49
森林率(%)	53.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	9.3	10.1

*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



2. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	森林整備事業	4,787,200	4,787,200		4,787,200				
2	4	みなと小学校家具製作事業	1,340,680	1,340,680				1,340,680		
3	5	みなと小学校整備事業	4,835,600	4,835,600					4,835,600	
4		みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	4,186,520	4,186,520						4,186,520
計			15,150,000	15,150,000	0	4,787,200	0	1,340,680	4,835,600	4,186,520

3. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
森林再生力強化対策事業	0	0	0	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	<p>伊勢市では、「みえ森と緑の県民税市町交付金」の活用主旨に則り、3つの事業を実施した。</p> <p>① 森林整備事業 伊勢市の沿岸部には、防風林として松林が広がっているが、近年の病虫害被害により枯れ松が激増し、保安林としての機能が低下し、倒木被害が心配されていることから、病虫害被害を未然に防ぎ、地域住民の安全や防風林の機能維持を図る。</p> <p>② みなと小学校家具製作事業 みなと小学校の児童が親しみを持って活用できる県産材を使用した木材の家具を製作・導入することにより、木の温もりを感じ学べる環境をつくる。</p> <p>③ みなと小学校整備事業 伊勢市大湊町地内において、神社小学校・大湊小学校の統合小学校を新築するにあたり、校舎周辺を緑化することにより、児童及び地域住民に身近な緑の環境を提供する。</p>
事業実施により得られた効果	<p>① 病虫害被害を最小限にとどめることにより、防風林の役割を担っている海岸林の景観保全及び倒木による住民への被害防止を図ることが出来た。</p> <p>② 県産材を使用した棚・イスを学校に配置することで、森林資源の活用と日常的に木に触れる機会を作り出すことが出来た。</p> <p>③ 植樹祭を開催し、木を植え育てる大切さを学ぶことが出来た。</p>
情報発信への取組	<p>当事業全般については市HPにおいて紹介していく。また事業ごとに、以下の方法で実施。</p> <p>① 施行前に地元自治会を通じて案内チラシを回覧することで、地元への周知を図っている。また、施行期間中は現地へのぼり旗の設置、訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。</p> <p>②、③ チラシを作成して、植樹祭や小学校の完成式、見学会において配布し、その中で本事業の財源が県民税であることを明示した。</p>

令和2年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(円)	内、譲与税
1	② 意向調査	1,509	1,509
2	① 意向調査の準備作業	9,296	9,296
3	⑬ 木造公共建築物の整備等	5,337	5,337
4	⑰ 基金積立（森林整備等）	9,225	9,225
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	25,367	25,367

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	伊勢市
番号	事業名				
1	森林整備事業				
事業費	4,787,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,787,200		

1. 事業の目的	伊勢市の沿岸部には、防風林として松林が広がっているが、近年の病虫害被害により枯れ松が激増し、保安林としての機能が低下し、倒木被害が心配されていることから、当該交付金を活用し病虫害被害を未然に防ぎ、地域住民の安全や防風林の機能維持を図る。
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 沿岸部に植生した松の病虫害被害防止を図る為、地上散布、樹幹注入、伐倒破碎を行う。</p> <p>【実施主体(補助事業の場合は補助事業実施主体)】 伊勢市</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】 6箇所(二見町茶屋、二見町荘、二見町西、二見町今一色、村松町、東大淀町)市有林、一部自治会管理の私有林</p> <p>【事業量】 地上散布6.1ha 樹幹注入577本 伐倒駆除22m³</p> <p>【事業実施期間】 令和2年5月 ~ 令和3年3月</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 付近住民:3,434世帯・8,020人(R3.3) 観光客:1,632,570人(R2年度) 波及効果:観光客数の低下防止、倒木被害の防止につながる。</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】 伊勢市有数の観光名所である二見海岸の景観保全や、防風林として市民の生活を守る役割を担っている海岸林の機能低下の防止を行うことにより、災害に強い森林づくりを推進する。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 病虫害被害を最小限にとどめることにより、防風林の役割を担っている海岸林の景観保全及び倒木による住民への被害防止を図ることが出来た。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 防風林として地域住民の安全・安心な暮らしを確保し、観光名所である二見浦海岸に訪れた観光客に散策コースとして利用を図る。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 二見浦海岸等は多くの観光客が散策コースとして利用していただいている。また、地域住民には、防風林を守る趣旨を理解していただいている。</p>

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	伊勢市
番号	事業名				
1	森林整備事業				
事業費	4,787,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,787,200		

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

委託（請負）

【実施方法の選定理由】

専門的な知識と資格が必要であるため。

【契約方法と落札率または補助率等】

地上散布	物品要件付一般競争入札	落札率	90.9%
樹幹注入	物品要件付一般競争入札	落札率	90.9%
伐倒破砕	物品要件付一般競争入札	落札率	90.9%

【契約相手方の選定理由】

一般競争入札による。

【事業費の積算根拠】

令和2年度 森林病虫害等防除事業標準単価表（松くい虫事業関係）による。（三重県）

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】

防風林としての機能を保ち、地域住民の生活環境を保全する。

【公的関与の必要性】

地域住民の安全・安心な暮らしを守るために必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

無断伐採や不法投棄がないよう、地域住民と協力しあって監視体制を強化していきたい。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	今後	みえ森と緑の県民税市町交付金事業を財源とした事業であることのPR。
チラシ等配布	実施後	施行前に地元自治区へ業務の案内チラシを配布し、地域住民に周知を図る。
施工看板に掲示	実施前・中	施行前、施工中は県民税のPR看板とのぼりを設置してPRを実施。
のぼり設置	実施前・中	施行前、施工中は県民税のPR看板とのぼりを設置してPRを実施。

7. 写真

別紙のとおり

8. その他特記事項

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり
------	----------------

市町名	伊勢市
-----	-----

事業名	森林整備事業(地上散布)
-----	--------------

7. 写真



写真1
材料確認



写真2
薬剤調合状況



写真3
散布状況 (二見町西)

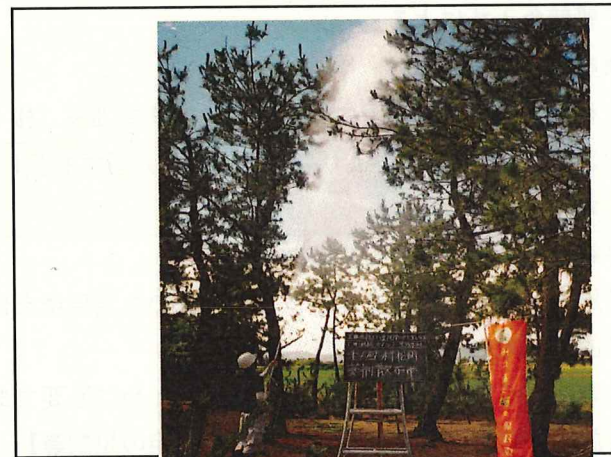


写真4
散布状況 (村松町)

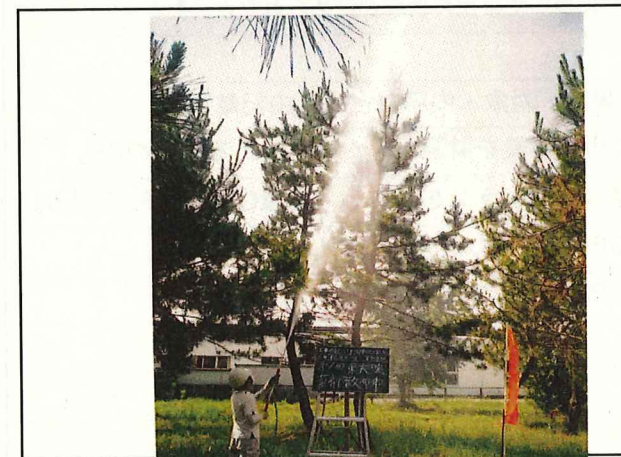


写真5
散布状況 (東大淀町)



写真6
散布状況 (東大淀町)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり
------	----------------

市町名	伊勢市
-----	-----

事業名	森林整備事業（樹幹注入）
-----	--------------

7. 写真



写真7
材料確認



写真8
材料確認（空箱）



写真9
PR看板設置状況



写真10
穿孔作業



写真11
薬剤注入状況

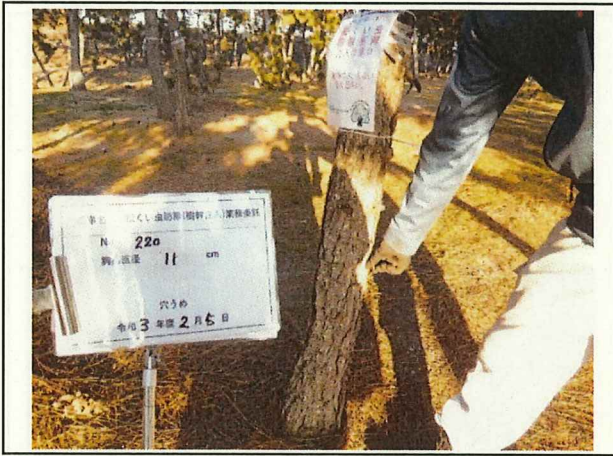


写真12
コクル詰作業

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり
------	----------------

市町名	伊勢市
-----	-----

事業名	森林整備事業（伐倒破碎）
-----	--------------

7. 写真



写真13
伐倒前



写真14
伐倒状況



写真15
伐倒後



写真16
伐採後



写真17
搬出状況



写真18
集積・運搬

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市			
事業名	森林整備事業					
積算資料(実績報告参考資料)						
作業内容	単位	数量	単価	金額	備考	
松くい虫防除(地上散布)業務委託	式	1.00		627,000	業務委託料	
松くい虫防除(樹幹注入)業務委託	式	1.00		3,166,900	業務委託料	
松くい虫防除(伐倒破碎)業務委託	式	1.00		993,300	業務委託料	
事業費				4,787,200		
作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
地上散布 6.05ha(2回)	薬剤購入費	ha	6.05	34,320	207,636	
	薬剤運搬費	回	2.0	13,520	27,040	
	薬剤調合費	ha	6.05	7,056	42,688	
	散布作業	ha	6.05	45,864	277,477	
	事務雑費	式	1.00		45,159	
	消費税	式	1.00		60,000	
	計				660,000	設計額
作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
樹幹注入 対象樹木577本 アンプル数 1,034本	薬剤費	本	1034	2,500	2,585,000	
	薬剤注入費	本	1034	432	446,688	
	事務雑費	式	1.00		87,312	
	消費税	式	1.00		311,900	
	計				3,430,900	設計額
作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
伐倒破碎 21.9m3	伐倒費	m3	21.9	13,524	296,175	
	搬出費	m3	14.6	9,212	134,495	
	枝条等集積・搬出費	m3	7.3	19,600	143,080	
	運搬費	式	1.0		24,830	
	仮設費	式	1.0		234,900	トラッククレーン等
	処分費	m3	3.0	10,000	30,000	根株
	事務雑費	式	1.0		114,520	
	消費税	式	1.0		97,800	
計				1,075,800	設計額	
作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						
作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						
作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり			市町名	伊勢市
番号	事業名				
2	みなと小学校家具製作事業				
事業費	1,340,680 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,340,680		

1. 事業の目的	
みなと小学校の児童が親しみを持って活用できる県産材を使用した木材の家具を製作し、導入することにより、木の温かみを感じ学べる環境をつくる。	
2. 事業実績概要	
【事業内容】 市内唯一建築科のある伊勢工業高等学校と伊勢周辺の若手家具職人で結成される「伊勢の家具職人」と協働で木製家具を作成し、児童も製作体験会に参加して製作した家具をみなと小学校に導入する。	
【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 伊勢市	
【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない。	
【箇所数】 1箇所（大湊町）	
【事業量】 棚2台、いす3脚	
【事業実施期間】 令和2年6月～令和3年3月	
【受益者、参加者、利用者数等】 伊勢工業高等学校建築科生徒：8人 児童数 300人（R3.4.1現在）	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
【実施箇所の選定理由】 木工や建築を志す高校性と、地元家具職人が協働で木製棚、いすを開発、作成することで地域材の活用技術が継承され、木材の良さと木材利用の必要性を伝えられる。	
【事業実施により得られた効果】 県産材を使用した棚・いすを配置することで、森林資源の活用と日常的に木に触れる機会を作り出すことが出来た。	
【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 家具を設置したみなと小学校において木製棚・いすを効果的に活用していただき、木のぬくもりを感じながら森林の持つ重要性を伝える媒体として活用することが期待される。	
【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 学校関係者、児童から御礼の言葉をいただいている。	

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり			市町名	伊勢市
番号	事業名				
2	みなと小学校家具製作事業				
事業費	1,340,680 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,340,680		
4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】					
【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】 伊勢工業高等学校と伊勢の家具職人と市による三者協定により、必要な費用を負担金として支出					
【実施方法の選定理由】 高校生のアイデアと地元家具職人の技術を活かすため					
【契約方法と落札率または補助率等】 費用については市が負担					
【契約相手方の選定理由】 伊勢工業高等学校は建築科のある唯一の学校であること、また「伊勢の家具職人」は複数の地元事業者で結成					
【事業費の積算根拠】 材料費、工賃及びその他経費を実費負担					
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】					
【事業参加や整備施設等の公益性】 製作に参加した高校生が地元産木材について学ぶ機会を持つことができ、児童も製作体験を通して家具により愛着を持つことができた。家具は、みなと小学校児童や教職員、学校関係者が日常使用するほか、来訪者の目に触れやすいオープンスペースに設置している。					
【公的関与の必要性】 製作主体が地元工業高校、地元家具職人であり、それを目指す木育・木活用人材育成となるような取組を目指しているものであるため、公的関与が必要であると考えられる。					
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】 学校施設であるため、転用や目的外使用は想定されない。					
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】					
【情報発信の内容】					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
HP掲載	今後	みえ森と緑の県民税市町交付金事業を財源とした事業であることのPR。			
チラシ等配布	実施後	みえ森と緑の県民税市町交付金を活用していることを明示したチラシを伊勢工業高等学校が製作し、みなと小学校完成式やその後の見学会で配布。			
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施後	家具設置箇所に掲示。			
のぼり設置	実施後	みなと小学校完成見学会及び新児童を対象とした木育教育時に設置。			
7. 写真 別紙のとおり					
8. その他特記事項					

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり
------	-------------------

市町名	伊勢市
-----	-----

事業名	みなと小学校家具製作事業
-----	--------------

7. 写真



写真1
高校生によるプレゼンテーション



写真2
木製家具材料



写真3
設置状況



写真4
完成後



写真5
みなと小学校木育家具プロジェクト
パンフレット



写真6
新児童を対象とした木育教育

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	伊勢市
------	-------------------	-----	-----

事業名	みなと小学校家具製作事業
-----	--------------

積算資料(実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
家具製作負担金	式	1.00		1,340,680	
事業費					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
家具製作負担金	木材料費	1	式	330,000	330,000	県産木材
	工賃	1	式	770,000	770,000	
	取付工事費	1	式	33,000	33,000	
	塗料	1	式	14,850	14,850	
	事務費	1	式	5,148	5,148	
	その他経費	1	式	187,682	187,682	海の絵作成及び木材加工用消耗品
	計				1,340,680	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	伊勢市
------	--------------------	-----	-----

番号	事業名				
3	みなと小学校整備事業				
事業費	4,835,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,835,600		

1. 事業の目的	伊勢市大湊町地内において、神社小学校・大湊小学校の統合小学校を新築するにあたり、校舎周辺を緑化することにより児童及び地域住民に身近な緑の環境を提供する。
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 校庭に植樹を行う。 シマトネリコ、アラカシ、ソメイヨシノ、サツキツツジ、ヒラドツツジ、フッキソウ、シバサクラ</p> <p>【実施主体(補助事業の場合は補助事業実施主体)】 伊勢市</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】 1箇所(大湊町)</p> <p>【事業量】 植樹一式(高木4本、中低木1,056本、地被類4,071株)</p> <p>【事業実施期間】 令和2年6月～令和3年3月</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 付近住民:4,205世帯・8,914人 児童数 300人(R3.4.1現在)</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】 校庭を緑化することにより、生徒に森林環境に興味をもってもらうとともに、森林を大切に作る気持ちを育む。行事等で住民が学校を訪れた際、緑にふれあってもらい樹木のよさを感じてもらう。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 植樹祭を開催し、木を植え育てる大切さを学ぶことが出来た。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 樹木を活用した授業や日頃の手入れを通じて森林環境に興味をもってもらう。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 学校関係者、生徒等に御礼の言葉をいただいている。</p>

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	伊勢市
------	--------------------	-----	-----

番号	事業名				
3	みなと小学校整備事業				
事業費	4,835,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,835,600		

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】
 請負

【実施方法の選定理由】
 専門的な知識と資格が必要であるため。

【契約方法と落札率または補助率等】
 要件付一般競争入札 落札率 90.0%

【契約相手方の選定理由】
 一般競争入札による。

【事業費の積算根拠】
 ・三重県県土整備部積算基準、造園集計積算マニュアル、見積、物価版による。
 ・前回の同事業からの改善点として、今回の事業では高木の本数を少なくすることで、費用を抑えることが出来た。また、植樹を児童に行ってもらう事で、緑の大切さを伝えることが出来た。

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】
 みなと小学校の児童の森林環境を学ぶ機会を提供している。
 また、付近住民にも癒しを与える環境となっている。

【公的関与の必要性】
 公立の学校施設であり、公的な支援が妥当であると考えます。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】
 学校施設であるため、転用や目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	今後	みえ森と緑の県民税市町交付金事業を財源とした事業であることのPR。
のぼり設置	実施後	植樹祭時にのぼりを設置してPR。

7. 写真

別紙のとおり

8. その他特記事項

対策区分 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり

市町名 伊勢市

事業名 みなと小学校整備事業

7. 写真

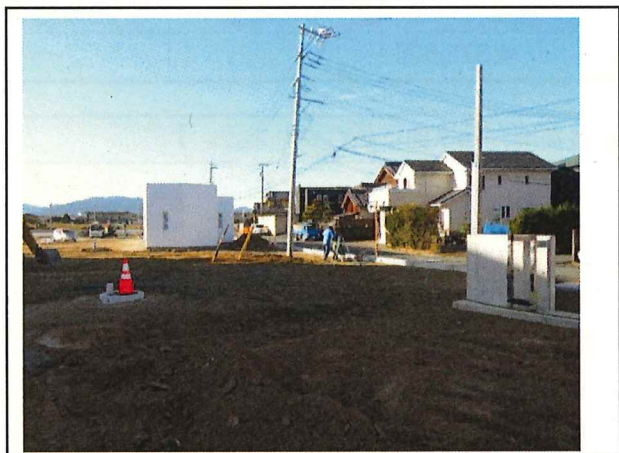


写真1
施工前



写真2
施工中



写真3
施工中



写真4
完成



写真5
完成



写真6
植樹祭

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	伊勢市
------	--------------------	-----	-----

事業名	みなと小学校整備事業
-----	------------

積算資料 (実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
神社・大湊統合小学校 (みなと小学校) 植栽整備工事	式	1.00		4,835,600	業務委託料
事業費				4,835,600	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
植栽工	高木植栽工	式	1		218,132	
	中低木植栽工	式	1		1,126,729	
	地被類植栽工	式	1		841,134	
	植栽土工	式	1		333,200	
	諸経費	式	1		2,366,805	
	消費税	式	1		488,600	
	計					5,374,600

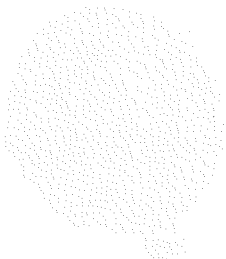
作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
計						



鳥羽市

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

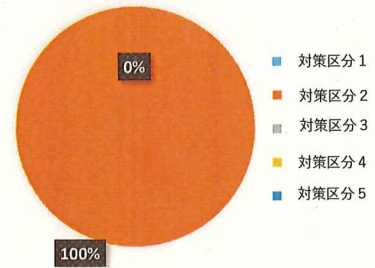
市町名	鳥羽市	三重県
人口（人）	17,962	1,782,190
年少人口割合（％）*1	9.5%	12.4%
森林面積(ha)	7,483.76	372,352.55
民有林面積(ha)*2	7,486.76	348,833.49
森林率(%)	70.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	10.2	10.1

*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



2. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木伐採事業	7,566,900	7,566,900		7,566,900				
2		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	616,100	616,100						616,100
計			8,183,000	8,183,000	0	7,566,900	0	0	0	616,100

3. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	鳥羽市では、森林所有者が高齢化していることに伴い、森林管理をできない所有者が増加している状況である。森林を管理できないと成長しきった樹木が倒木する恐れが生じ、市民が安全・安心な生活を送ることに支障をきたす可能性がある。現況を踏まえて、鳥羽市では町内会からの危険伐採要望を受けて、危険木の伐採を行う。
事業実施により得られた効果	危険木伐採を行ったことにより、市民が安全・安心な生活を送ることができるようになった。また、市民に小さく切った伐採木を椅子等の木工に活用してもらうことにより、木が持つぬくもりや利便性を感じてもらえることができた。
情報発信への取組	危険木伐採事業を施行する前に、回覧文書を作成し、対象となる町内会に周知を図った。また、施行後には、伐採木を活用してもらうよう町内会長を通じて、協力要請を行い情報発信に努めた。市ホームページでは、新たに県民税に関するページの作成を行い、紙ベースでの周知だけでなく、インターネットによる周知を図った。

令和2年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(円)	内、譲与税
1	⑰ 基金積立（森林整備等）	6,273	6,273
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	6,273	6,273

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市
------	----------------	-----	-----

番号	事業名				
1	危険木伐採事業				
事業費	7,566,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			7,566,900	—	—

1. 事業の目的	
町内会から提出された伐採要望があった危険木を放置しておくことにより、市民生活に危険が生じる恐れがある。要望危険木を伐採することにより、安心安全な生活を過ごすことが出来るようにする。	
2. 事業実績概要	
【事業内容】 安楽島町・鳥羽四丁目・神島町から提出された危険木伐採要望のうち計7本を伐採。 伐採要望が提出されていた木が倒木したため、1か所倒木処理を行った。	
【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 鳥羽市	
【補助率等】 補助事業ではないため、該当しない。	
【箇所数】 【危険木伐採】安楽島町・藤之郷地区・神島町 計3ヶ所 【倒木処理】 浦村町	
【事業量】 【危険木伐採】伐採本数 7本 【倒木処理】 3,700kg	
【事業実施期間】 令和2年8月から令和3年3月末まで	
【受益者、参加者、利用者数等】 安楽島町・鳥羽四丁目・神島町・浦村町に居住する4,441人	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
【実施箇所の選定理由】 提出された全要望を判定項目に基づき危険度判定を行い、より危険度合いが高かった3地区を選定した。また、倒木があった場所の処理を行った。	
【事業実施により得られた効果】 安楽島町・鳥羽四丁目・神島町・浦村町に居住する4,441人が安心して過ごすことができるようになった。	
【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 伐採木について、地域住民による引き取りを希望する者に対して配布を行い、小さく切った伐採木を椅子等の木工に活用してもらうことにより、木が持つぬくもりや利便性を感じてもらえることができた。	
【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 危険木を伐採したことや倒木を処理したことにより安全に生活できるとの声が市民からあった。	

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市
------	-----------------	-----	-----

番号	事業名				
1	危険木伐採事業				
事業費	7,566,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			7,566,900	—	—

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

各施行地区での市による業務委託。

【実施方法の選定理由】

危険木伐採事業について、市が実施することにより、危険度が高い木から伐採することができ、公平性を保つことができる。倒木処理は、緊急を要する倒木処理であったため、市が業務委託を行い支障を排除する必要がある。

【契約方法と落札率または補助率等】

- ・危険木伐採業務委託（安楽島地区）【指名競争入札、落札率:66.9%】
- ・危険木伐採業務委託（藤之郷地区）【指名競争入札、落札率:79.5%】
- ・危険木伐採業務委託（神島地区）【指名競争入札、落札率:87.9%】
- ・倒木処理業務委託【随意契約】

【契約相手方の選定理由】

鳥羽市が定めた「鳥羽市物品等の調達における市内業者への優先発注に係る実施方針」に基づき、鳥羽市内に本社があり、造園工事業を行える業者かつ入札参加資格名簿に登録されている事業者を選定した。

【事業費の積算根拠】

市内事業者から参考見積を徴収し、それを基に建設物価の単価を使用して積算を行った。

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】

生活道路や民家に隣接している木を伐採したため、安楽島町・鳥羽四丁目・神島町・浦村町の住民が受益を受けている。

【公的関与の必要性】

生活道路等に隣接しており、市民が安心安全な生活を送るために、生活に支障をきたす要因を排除する必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

伐採した場所は、個人や市が管理しているため、転用される恐れはない。また、該当地域は、特段規制はない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	県民税活用事業であることを視覚的に周知した。
HP掲載	実施後	事業実績をHPに掲載し、周知を行った。
回覧板・掲示板	実施前	対象町内会に事業実施期間を周知し、事業実施を周知した。

7. 写真

別紙のとおり

8. その他特記事項

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	鳥羽市
-----	-----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

7. 写真



写真1
危険木伐採事業業務委託（安楽島地区）【施行前】



写真2
危険木伐採事業業務委託（安楽島地区）【施行後】



写真3
危険木伐採事業業務委託（藤之郷地区）【施行前】



写真4
危険木伐採事業業務委託（藤之郷地区）【施行後】

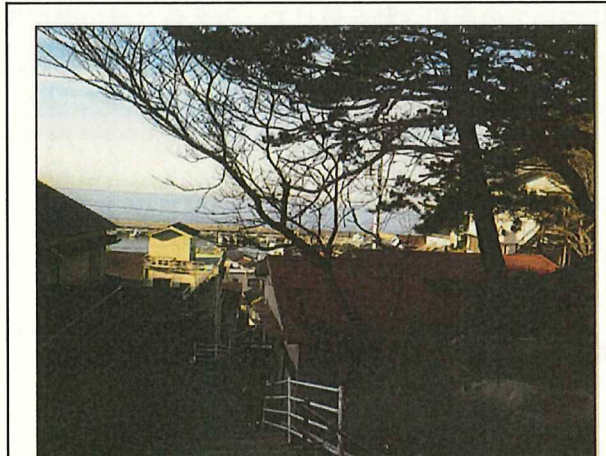


写真5
危険木伐採事業業務委託（神島地区）【施行前】



写真6
危険木伐採事業業務委託（神島地区）【施行後】

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	鳥羽市
-----	-----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

7. 写真

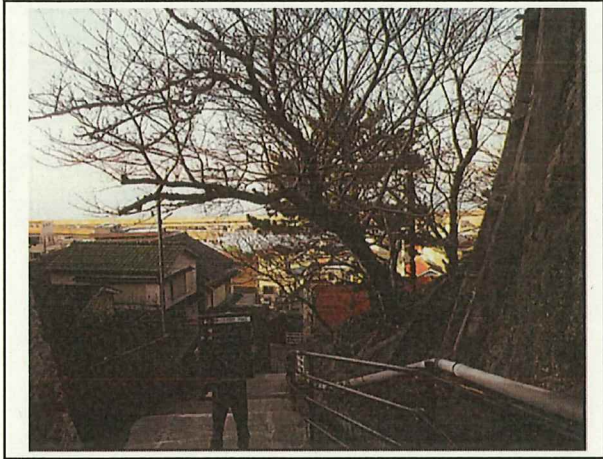


写真7
危険木伐採事業業務委託（神島地区）【施行前】



写真8
危険木伐採事業業務委託（神島地区）【施行後】



写真9
危険木伐採事業業務委託（神島地区）【施行前】

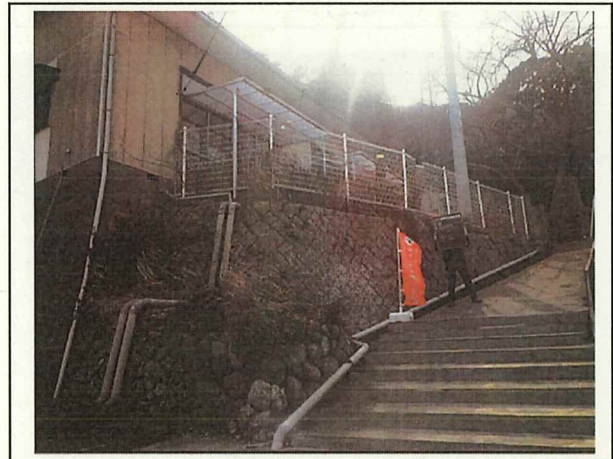


写真10
危険木伐採事業業務委託（神島地区）【施行後】



写真11
危険木伐採事業業務委託（神島地区）【施行前】

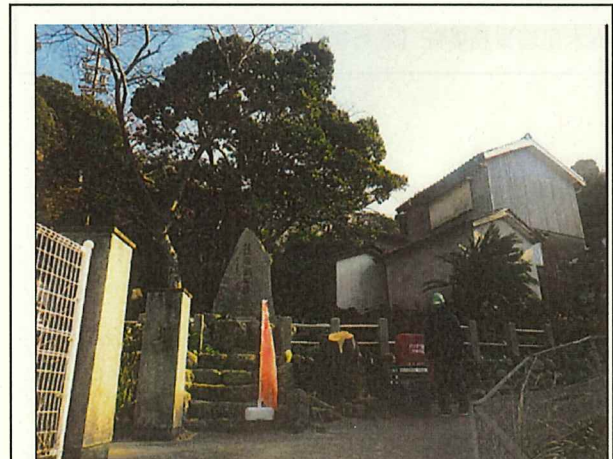


写真12
危険木伐採事業業務委託（神島地区）【施行後】

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	鳥羽市
-----	-----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

7. 写真



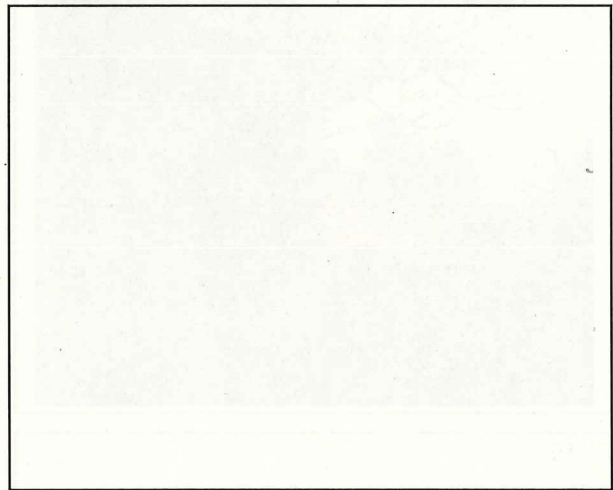
写真13
倒木処理業務委託【倒木状況】



写真14
倒木処理業務委託【施行前】



写真15
倒木処理業務委託【施行後】



対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市
------	-----------------	-----	-----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

積算資料(実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採業務委託(安楽島地区)	式	1.00	2,251,700	2,251,700	
危険木伐採業務委託(藤之郷地区)	式	1.00	2,948,000	2,948,000	
危険木伐採業務委託(神島地区)	式	1.00	1,980,000	1,980,000	
倒木処理業務委託	式	1.00	387,200	387,200	
事業費					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採業務委託(安楽島地区)	伐採業務委託(安楽島)	式	1.00	1,362,000	1,362,000	
	安全費	式	1.00	80,000	80,000	電線移設費
	共通設計費	式	1.00	88,000	88,000	
	現場管理費	式	1.00	717,000	717,000	
	一般管理費等	式	1.00	536,000	536,000	
	消費税	式	1.00	278,300	278,300	
	計	㎡	100.00		3,061,300	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採業務委託(安楽島地区)	土木一般世話役	人	1.40	23,200	32,480	
	とび工	人	5.60	27,200	152,320	
	普通作業員	人	2.50	19,600	49,000	
	ラフテレーンクレーン賃料	日	0.80	41,600	33,280	油圧伸縮ジブ型25t吊
	諸経費	式	1.00		80,120	
【足場工】	計	㎡	100.00		347,200	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採業務委託(安楽島地区)	造園工	人	6.00	21,700	130,200	
	特殊作業員	人	6.00	22,700	136,200	
	普通作業員	人	4.00	19,600	78,400	
	チェーンソー賃料	日	12.00	2,000	24,000	
	ラフテレーンクレーン賃料	日	2.00	46,000	92,000	16t オペレータ付
	諸経費	式	1.00		23,040	
	足場工	掛㎡	189.00	3,472	656,208	単管傾斜足場
	交通誘導警備員費	式	1.00	89,600	89,600	
	人力積込	㎡	30.00	2,744	82,320	施行パッケージ
	土砂等運搬	㎡	30.00	1,699	50,970	施行パッケージ
計				1,362,938		

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採業務委託(藤之郷地区)	伐採等業務	式	1.00	1,661,000	1,661,000	
	共通仮設費	式	1.00	89,000	89,000	
	現場管理費	式	1.00	746,000	746,000	
	一般管理費等	式	1.00	567,000	567,000	
	消費税	式	1.00		306,300	
	計	掛㎡			3,369,300	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採業務委託(藤之郷地区)	土木一般世話役	人	1.40	23,200	32,480	
	とび工	人	5.60	27,200	152,320	
	普通作業員	人	2.50	1,960	49,000	
	ラフテレーンクレーン賃料	日	0.80	41,600	33,280	油圧伸縮ジブ型25t吊
	諸経費	式	1.00		80,120	
	【足場工】	計	掛㎡		347,200	

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市
------	-----------------	-----	-----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

積算資料(実績報告参考資料)

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採業務委託(藤之郷地区)【ケヤキ類1本】	造園工	人	10.00	21,700	217,000	
	特殊作業員	人	11.00	22,700	249,700	
	普通作業員	人	10.00	19,600	196,000	
	チェーンソー賃料	日	20.00	2,000	40,000	
	足場工	掛㎡	266.00	3,472	923,552	
	諸経費	式	1.00		35,135	
	計				1,661,387	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採業務委託(神島地区)	伐採等業務	式	1.00	985,635	985,000	
	共通仮設費	式	1.00	69,000	69,000	
	現場管理費	式	1.00	449,000	449,000	
	一般管理費等	式	1.00	358,000	358,000	
	消費税	式	1.00	186,100	186,100	
		計				2,047,100

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採業務委託(神島地区)	1号箇所【サクラ1本】	式	1.00	96,285	96,285	
	2号箇所【サクラ1本】	式	1.00	288,855	288,855	
	3号箇所【サクラ1本】	式	1.00	385,140	385,140	
	4号箇所【サクラ1本】	式	1.00	215,355	215,355	
		計				985,635

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採業務委託(神島地区)1号箇所【サクラ1本】	造園工	人	2.00	21,700	43,400	
	普通作業員	人	1.00	22,700	227,001	
	特殊作業員	人	1.00	19,600	19,600	
	チェーンソー賃料	日	3.00	2,000	6,000	
	諸経費	式	1.00		4,585	
		計				96,285

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採業務委託(神島地区)2号箇所【サクラ1本】	造園工	人	6.00	21,700	130,200	
	特殊作業員	人	3.00	22,700	68,100	
	普通作業員	人	3.00	19,600	58,800	
	チェーンソー賃料	日	9.00	2,000	18,000	
	諸経費	式	1.00		13,755	
		計	式	1.00		288,855

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採業務委託(神島地区)3号箇所【サクラ1本】	造園工	人	8.00	21,700	173,600	
	特殊作業員	人	4.00	22,700	90,800	
	普通作業員	人	4.00	19,600	78,400	
	チェーンソー賃料	日	12.00	2,000	24,000	
	諸経費	式	1.00		18,340	
		計	式	1.00		385,140

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

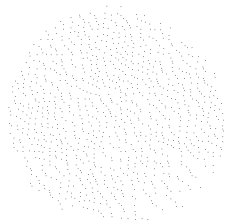
市町名	鳥羽市
-----	-----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

積算資料(実績報告参考資料)

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採業務委託(神島地区)4号箇所	造園工	人	5.00	21,700	108,500	
	特殊作業員	人	2.00	22,700	45,400	
	普通作業員	人	2.00	19,600	39,200	
	チェーンソー賃料	日	6.00	2,000	12,000	
	諸経費	式	1.00		10,255	
【計】	計	式	1.00		215,355	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
倒木処理業務委託	倒木小切作業	式	1.00	25,000	25,000	
	倒木搬出作業	人	3.00	18,000	54,000	
	使用車両	台	1.00	15,000	15,000	ダンプトラック
	積み込み機械	台	1.00	15,000	15,000	
	処分費	kg	3700.00	50	185,000	
	経費	式	1.00	58,000	58,000	
	消費税	式	1.00		35,200	
【計】	計	式	1.00		387,200	



志摩市

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和2年度版）」、「令和元年度版森林・林業統計」による

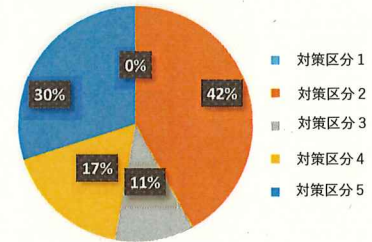
市町名	志摩市	三重県
人口（人）	47,100	1,782,190
年少人口割合（%）*1	9.2%	12.4%
森林面積(ha)	9,103.74	372,352.55
民有林面積(ha)*2	9,101.49	348,833.49
森林率(%)	51.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	6.2	10.1

*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



2. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	災害に強い森林づくり事業	3,685,000	3,684,000		3,684,000				
2	2	松くい虫防除事業	669,900	645,000		645,000				
3	3	森と緑ふれあい事業	1,135,867	1,135,000			1,135,000			
4	4	観光農園整備事業	1,771,000	1,771,000				1,771,000		
5	5	創造の森横山整備事業	3,408,900	3,088,000					3,088,000	
計			10,670,667	10,323,000	0	4,329,000	1,135,000	1,771,000	3,088,000	0

3. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	8.05	2,626,800	2,624,000	調整伐（間伐）
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	<p>志摩市の森林の多くは、広葉樹が広がり、薪炭林などとして利用されていたが、社会情勢の変化により、里山としての森林利用がされなくなり、森林病害虫の発生が見られたり、獣害被害が農地や人家近くに及ぶようになってきた。この状況下において、森林の持つ多面的な機能を市民に知ってもらうために、木製品にふれあう機会の創出や体験型の講習会などを通じ里山保全の手法を体験していただき、市民による、森と緑ふれあい事業の取組をさらに推進する。</p> <p>また、併せて災害に強い森林づくりとして森林整備を進めていく。</p>
事業実施により得られた効果	<p>① 体験型の講習会を開催したことにより、森林への関心やその手法を市民に伝えることができた。</p> <p>② 古くから海岸保全林として地元住民に親しまれていた松林の保全ができた。また、森林公園としての松林の保全ができた。</p> <p>③ 特定水源地域において、連携枠を活用し、調整伐を実施し、森林整備が促進された。</p>
情報発信への取組	<p>事業実施時の工事看板及び備品購入にあたっては、当該備品に県民税活用した旨を記載したプレートを設置している。</p> <p>また、事業実施時において地元自治会長等に事業を周知する文書を配布するにあたり、文書内に県民税を活用して事業実施している旨の文言を記載して地元住民への周知を図っている。</p> <p>事業成果について、市ホームページで紹介する予定をしている。</p>

令和2年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(円)	内、譲与税
1	② 意向調査	8,066,300	8,066,000
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	8,066,300	8,066,000

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市
------	-----------------	-----	-----

番号	事業名				
1	災害に強い森林づくり事業				
事業費	3,685,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,684,000		1,000

1. 事業の目的	<p>人家裏や道路沿いの森林において、幹や枝が折れることにより、人身や財産に影響を及ぼす可能性のある樹木を除去し、倒木による災害から市民の生命や財産を守るため。</p>
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 人家裏や道路沿いの危険木の除去を行う。</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 志摩市</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】 1か所</p> <p>【事業量】 L = 約555m 立木135本</p> <p>【事業実施期間】 令和2年7月29日 から 令和2年9月30日 まで</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 地元自治会 4,396人</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】 地元自治会等からの要望により、危険の優先度を勘案し、道路沿いや人家等に影響のある箇所を選定。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 道路沿いや人家等に影響のある箇所の危険木が除去できたことにより、周辺住民の安全性が保たれた。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 今後も農林課において同様の管理を継続していく。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 地元自治会や地域住民の方から危険木の除去ができて道路の見通しがよくなったとの意見をいただいた。</p>

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	志摩市
番号	事業名				
1	災害に強い森林づくり事業				
事業費	3,685,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,684,000		1,000

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】
委託

【実施方法の選定理由】
市有地であるので市が委託業務として実施するから

【契約方法と落札率または補助率等】
指名競争入札 落札率65.67% 随意契約

【契約相手方の選定理由】
指名競争入札

【事業費の積算根拠】
見積りによる

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】
地元住民も頻繁に活用することから、危険木の除去ができた。

【公的関与の必要性】
市が保有する保安林の一部であり、市で管理する必要性がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】
市有地であるので転用されることはない。また、実施個所については、今後、適正に管理していく。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施前・中	工事看板に県民税を活用して実施している旨の記載をした。
チラシ等配布	実施前	工事のお知らせ時に県民税活用による整備の旨を記載した。

7. 写真
別紙のとおり

8. その他特記事項

(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	志摩市
-----	-----

事業名	災害に強い森林づくり事業
-----	--------------

7. 写真



写真1
危険木伐採前

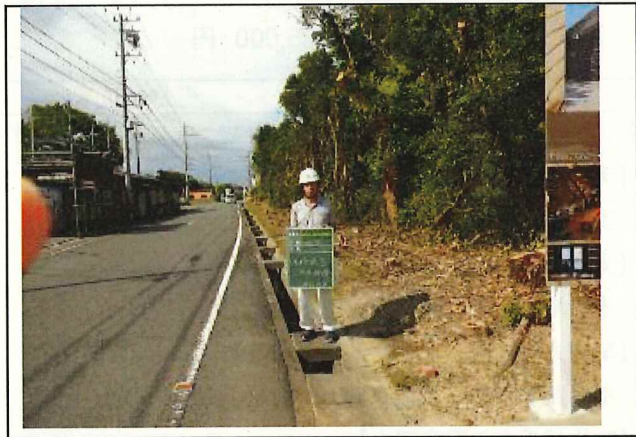


写真2
危険木伐採後



写真3
危険木伐採前



写真4
危険木伐採後



写真5
危険木伐採前



写真6
危険木伐採後

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市
------	-----------------	-----	-----

事業名	災害に強い森林づくり事業
-----	--------------

積算資料 (実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
危険木除去業務委託	式	1.00	3,685,000	3,685,000	
事業費				3,685,000	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
危険木除去業務委託①	委託業務一式	式	1.00	2,814,000	2,814,000	
					0	
	消費税	式	1.00	281,400	281,400	
					0	
	計				3,095,400	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
危険木除去業務委託②	委託業務一式	式	1.00	272,000	272,000	
					0	
	消費税	式	1.00	27,200	27,200	
					0	
	計				299,200	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
危険木除去業務委託③	委託業務一式	式	1.00	264,000	264,000	
					0	
	消費税	式	1.00	26,400	26,400	
					0	
	計				290,400	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市
------	-----------------	-----	-----

番号	事業名				
2	松くい虫防除事業				
事業費	669,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			645,000		24,900

1. 事業の目的	志摩市は、全域が伊勢志摩国立公園内に位置し、松やウバメガシなどの広葉樹が多く植生し、志摩市の景観を形成している。また、海岸沿いには、松林の公園や景勝地があり、防風、飛砂防止など地域の暮らしを守っているほか、多くの人を訪れている。松林の公園や景勝地のある松に森林病虫害の被害拡大を防ぐ対策を施し、景観形成の維持を図る。
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 枯れ松の伐倒処分</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 志摩市</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】 2ヶ所</p> <p>【事業量】 松36本伐倒</p> <p>【事業実施期間】 令和3年2月12日 から 令和3年3月13日 まで</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 地元自治会 5,990人</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】 広く住民が活用する公園であり、松くい虫により松が枯れることで倒木する恐れが考えられることから、安全性を保つ必要があると考えて選定。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 松くい虫の被害が食い止められたことにより、住民が広く活用する公園内の安全性が保たれた。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 今後も農林課において同様の管理を継続していく。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 松くい虫被害の松を伐倒したことで、園内の伐倒による危険性もなくなり併せて公園内の景観もよくなったとの意見をいただいた。</p>

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市
------	-----------------	-----	-----

番号	事業名				
2	松くい虫防除事業				
事業費	669,900 円	財源内訳	当年度交付金	市町基金	その他
			645,000		24,900

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】
委託

【実施方法の選定理由】
市有地であるので市が委託業務として実施するから

【契約方法と落札率または補助率等】
随意契約

【契約相手方の選定理由】
松くい虫防除に登録のある業者から選定した。

【事業費の積算根拠】
見積りによる。

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】
公園内の危険性を低下させ、景観をよくするため。

【公的関与の必要性】
松くい虫等の病害虫のまん延防止のため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】
今後も同様の管理を継続していく。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施前・中	工事看板に県民税を活用して実施している旨の記載をした。
チラシ等配布	実施前	地元自治会長宛てに工事实施の文書を送る際に県民税の文言を入れた。

7. 写真
別紙のとおり

8. その他特記事項

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり
------	----------------

市町名	志摩市
-----	-----

事業名	松くい虫防除事業
-----	----------

7. 写真

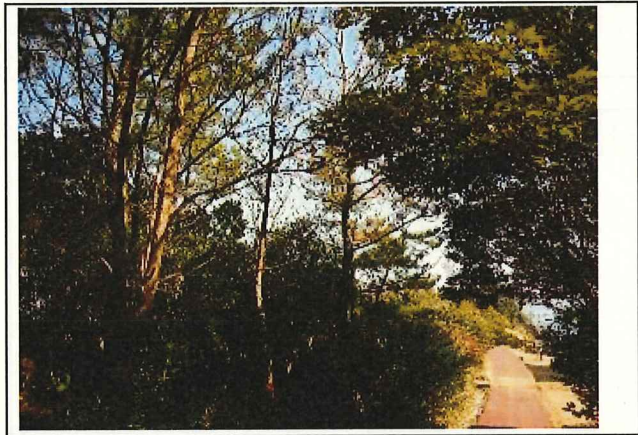


写真1
安乗岬園地



写真2
安乗岬園地

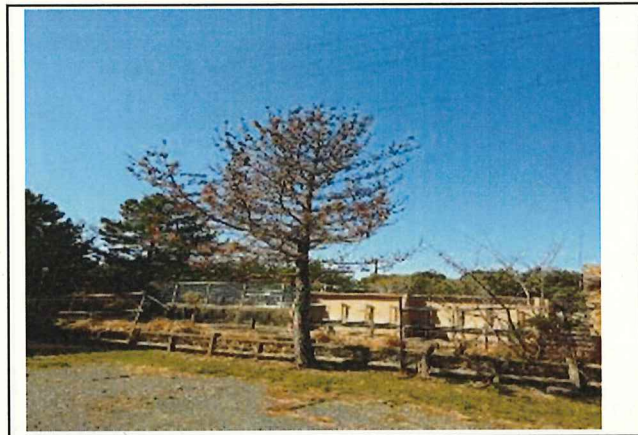


写真3
阿児の松原



写真4
阿児の松原



写真5
工事作業用看板（県民税周知文言入り）①



写真6
工事作業用看板（県民税周知文言入り）②

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市
------	-----------------	-----	-----

事業名	松くい虫防除事業
-----	----------

積算資料(実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
松くい虫防除事業 枯れ松等伐倒処理業務	式	1.00	669,900	669,900	
事業費				669,900	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
枯れ松等伐倒処理業務①	枯木処理幹30cm以上60cm未満(運搬無)	本	1.00	5,600	5,600	
	枯木処理幹30cm以上60cm未満(運搬有)	本	1.00	6,800	6,800	
	枯木処理幹60cm以上90cm未満(運搬無)	本	3.00	12,600	37,800	
	枯木処理幹60cm以上90cm未満(運搬有)	本	2.00	14,800	29,600	
	枯木処理幹90cm以上120cm未満(運搬無)	本	4.00	23,800	95,200	
	枯木処理幹120cm以上150cm未満(運搬無)	本	1.00	32,800	32,800	
	残材処分費	m3	2.50	5,000	12,500	
	諸経費	式	1.00	21,700	21,700	
	消費税	式	1.00	24,200	24,200	
	計				266,200	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
枯れ松等伐倒処理業務②	枯木処理幹30cm以上60cm未満(運搬無)	本	7.00	5,600	39,200	
	枯木処理幹60cm以上90cm未満(運搬無)	本	6.00	12,600	75,600	
	枯木処理幹90cm以上120cm未満(運搬無)	本	4.00	23,800	95,200	
	枯木処理幹120cm以上150cm未満(運搬無)	本	1.00	32,800	32,800	
	諸経費	式	1.00	24,200	24,200	
	消費税	式	1.00	26,700	26,700	
	計				293,700	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
枯れ松等伐倒処理業務③	枯木処理幹30cm以上60cm未満(運搬無)	本	2.00	5,600	11,200	
	枯木処理幹90cm以上120cm未満(運搬無)	本	2.00	23,600	47,200	
	枯木処理幹120cm以上150cm未満(運搬無)	本	1.00	32,800	32,800	
	諸経費	式	1.00	8,800	8,800	
	消費税	式	1.00	10,000	10,000	
計				110,000		

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業別実績書

対策区分	3, 森を育む人づくり			市町名	志摩市
番号	事業名				
3	森と緑ふれあい事業				
事業費	1,135,867 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,135,000		867

1. 事業の目的

市内の環境林や公園をフィールドとして、子供、親子を対象に森林に触れ合う機会を創出するためにツリークライミングや森林内で森林環境学習を実施する。また、木工教室などを開催する。さらに、一般の方を対象に天然林(人工林)の管理・天然林(人工林)の利用についての講習会や椎茸の菌打ち体験、炭焼き体験等の体験学習を開催する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

木工体験、ツリーイング体験、LEAFのプログラムによる環境学習、シイタケの原木づくり(菌うち体験)

【実施主体(補助事業の場合は補助事業実施主体)】

志摩市

【補助率等】

補助事業ではなく、該当しない。

【箇所数】

3か所

【事業量】

①木工体験 ②ツリーイング体験及びLEAFのプログラムによる環境学習 ③ほだ木づくりとシイタケ菌打ち体験

【事業実施期間】

①令和2年11月15日 ②令和2年11月29日 ③令和2年12月5日

【受益者、参加者、利用者数等】

①18人 ②32人 ③34人

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【実施箇所の選定理由】

ツリーイング体験・環境学習の会場は、生活環境保全林として森林に親しむ公園として整備している。

また、駐車場、トイレが整備されている。

【事業実施により得られた効果】

子供達や市民の方が森林が持つ多面的機能の理解と関心を広げて学び体験する場を作ることができた。

【整備した場所・施設・備品の今後の活用】

施設整備ではなく、転用や目的外使用は想定されない。

【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】

参加者へアンケートを取り、森林に関する関心を持たた。森林のことをもっと知りたい等の意見があった。

対策区分	3, 森を育む人づくり			市町名	志摩市
番号	事業名				
3	森と緑ふれあい事業				
事業費	1,135,867 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,135,000		867

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】
委託、講師依頼

【実施方法の選定理由】
専門的な知識が必要である。

【契約方法と落札率または補助率等】
随意契約

【契約相手方の選定理由】
ツリーイング体験・環境学習においてはインストラクターの資格を持つ団体（法人）に依頼した。
木工体験は市内業者で自然体験に関するプログラムの構築や自然体験等の事業を実施している団体に依頼した。
シイタケ菌打ち体験は森林環境教育の実践に携わることができる団体（法人）に依頼した。

【事業費の積算根拠】
見積り

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】
体験型の講習会であるため、人数が制約される内容のものについては、応募資格を市内に限定した。

【公的関与の必要性】
森林の持つ公益的な機能を市民に広く伝える必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】
施設整備ではなく、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示(シル・プレート等)	実施前・中・後	各講習会実施時にロゴマーク掲示を行った。
施工看板に掲示	実施前・中・後	各講習会実施時に受付等に看板を設置した。
のぼり設置	実施前・中・後	各講習会実施時に受付等のにぼりを設置した。
啓発物品配布	実施前・中・後	各講習会実施時に啓発物品を参加者に対して配布した。
HP掲載	実施前・中・後	各講習会案内について、ホームページにて周知している。
アンケート実施	実施中	各講習会等実施時にアンケートを実施している。

7. 写真
別紙のとおり

8. その他特記事項

(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	志摩市
-----	-----

事業名	森と緑ふれあい事業
-----	-----------

7. 写真



写真1
駐車場：会場案内（のぼり設置）状況①



写真2
駐車場・会場案内（のぼり設置）状況②



写真3
駐車場・会場案内（のぼり設置）状況③

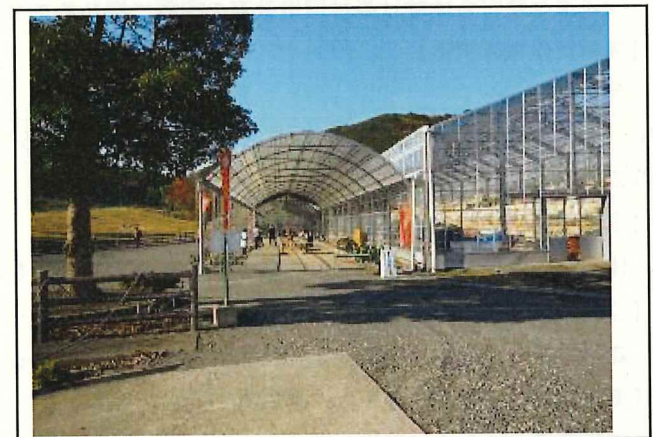


写真4
会場の様子（のぼり、施工看板設置）①



写真5
会場の様子（のぼり、施工看板設置）②



写真6
会場の様子（のぼり、施工看板設置）③

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	志摩市
-----	-----

事業名	森と緑ふれあい事業
-----	-----------

7. 写真

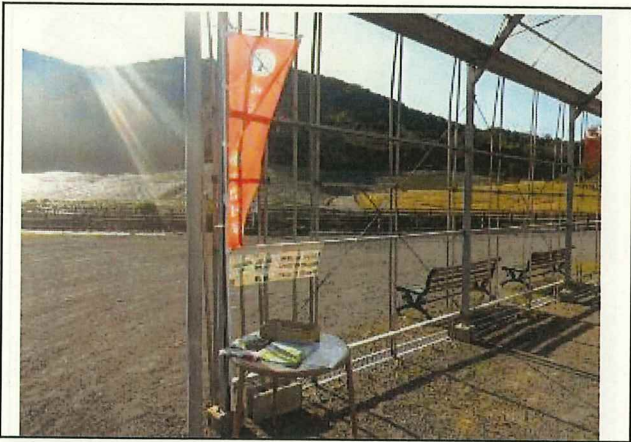


写真7
みえ森と緑の県民税周知コーナ

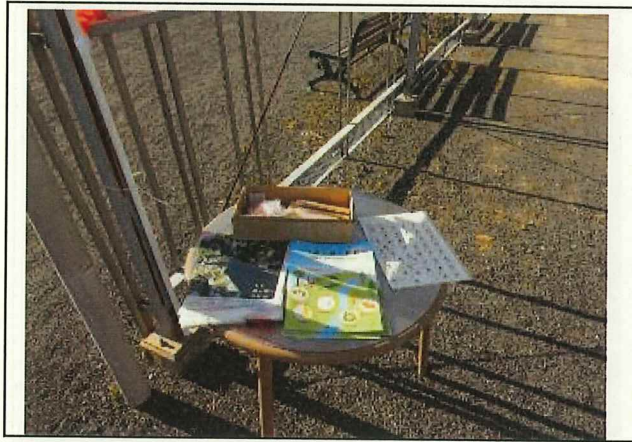


写真8
みえ森と緑の県民税周知コーナ



写真9
みえ森と緑の県民税周知コーナ



写真10
みえ森と緑の県民税周知コーナ



写真11
準備状況

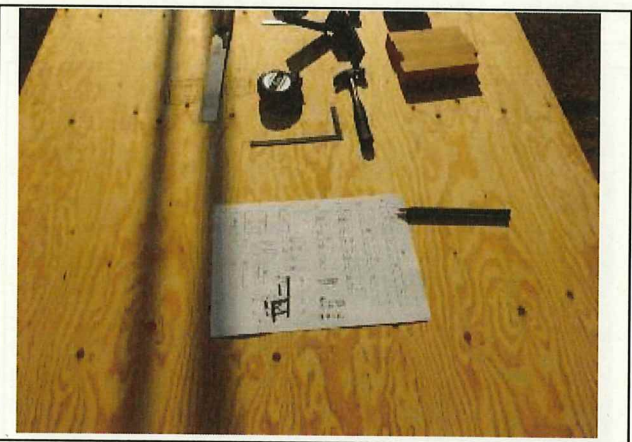


写真12
準備状況

(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	志摩市
-----	-----

事業名	森と緑ふれあい事業
-----	-----------

7. 写真



写真13 進行係から参加者へ、このイベントがみえ森と緑の県民税を活用した取組であることを伝えた。



写真14 講師から作業工程の説明



写真15 講習会の様子（講師から木取りの仕方を教えてもらう。）

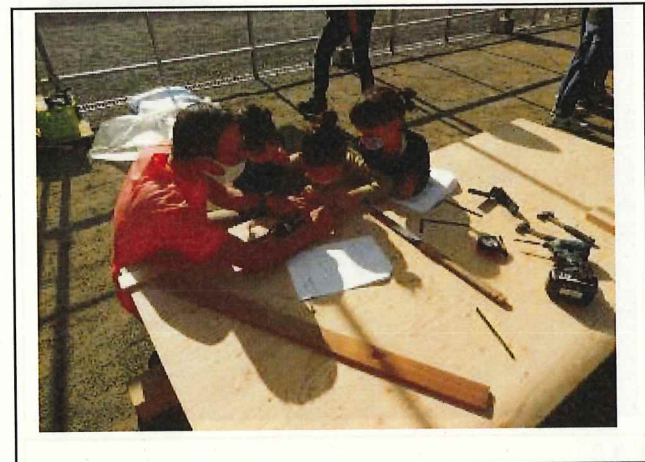


写真16 講習会の様子（講師から木取りの仕方を教えてもらう。）

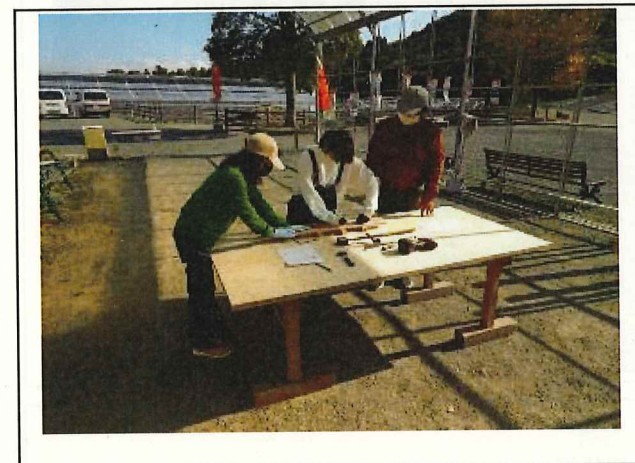


写真17 講習会の様子（木取り）

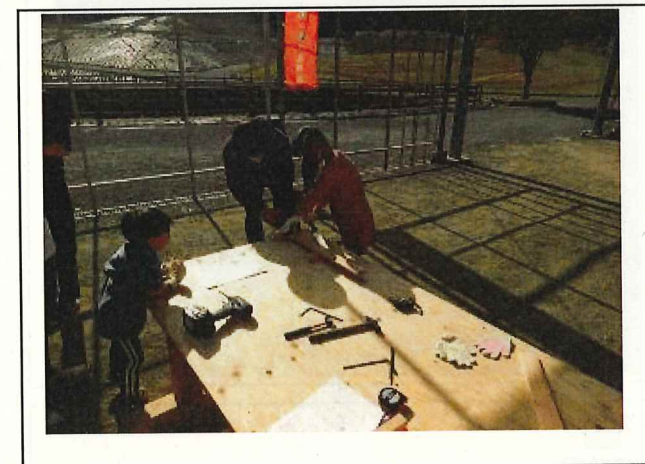


写真18 講習会の様子（のこぎり）

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	志摩市
-----	-----

事業名	森と緑ふれあい事業
-----	-----------

7. 写真



写真19
講習会の状況（釘打ち）

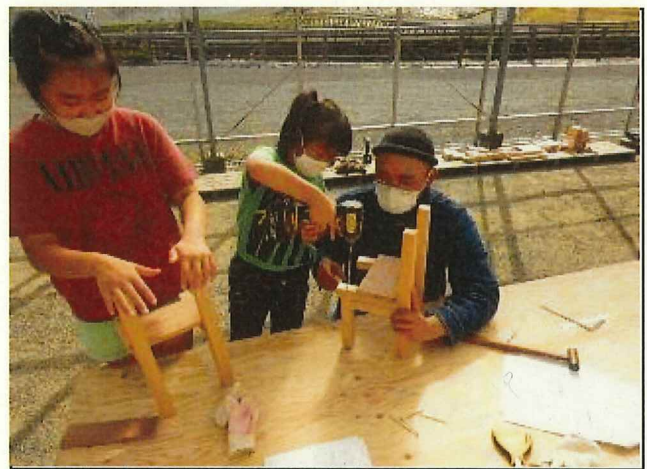


写真20
講習会の状況（ビス止め）（電動ドライバー）

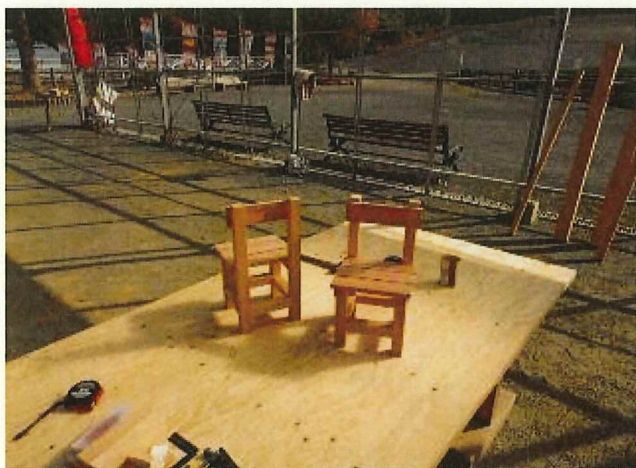


写真21
完成したい椅子

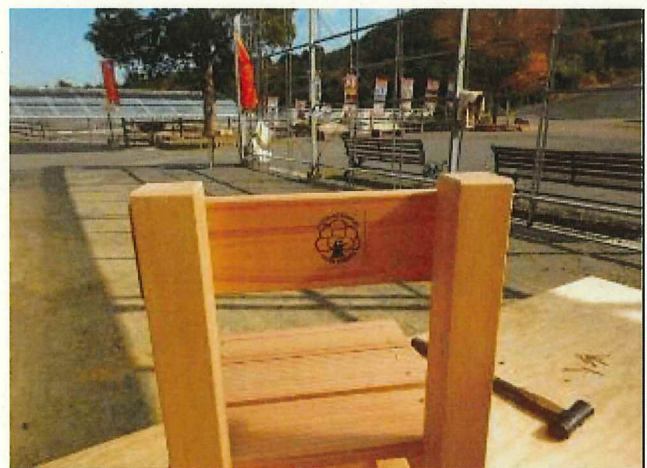


写真22
みえ森と緑の県民税のロゴマークを貼り付け完成



写真23
集合写真



写真24
集合写真

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	志摩市
-----	-----

事業名	森と緑ふれあい事業
-----	-----------

7. 写真



写真25
会場案内（駐車場・会場入り口）



写真26
会場案内（駐車場・会場入り口）



写真27
会場の様子



写真28
会場の様子



写真29
テーブル、椅子 平成29年度事業において設置



写真30
県民税周知グッズ

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市
事業名	森と緑ふれあい事業		

7. 写真



写真31
進行係から参加者へ、このイベントがみえ森と緑の県民税を活用した取組であることを伝えた。

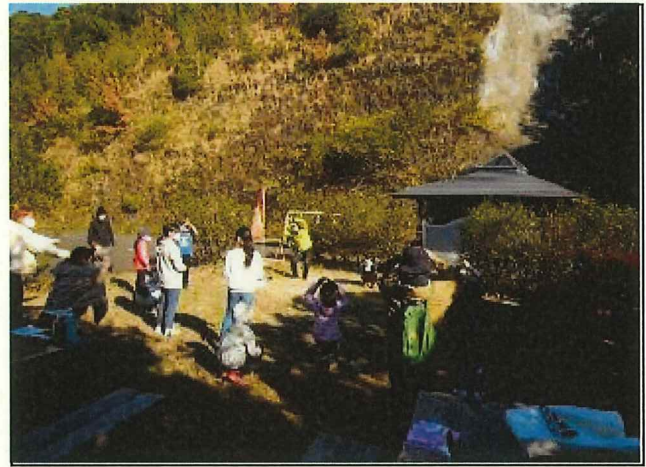


写真32
どんぐり体操



写真33
LEAFローカルインストラクタによるレクチャー



写真34
環境学習の様子 樹木の樹皮を触ったり、樹皮を観察しています。



写真35
環境学習の様子 落ち葉やどんぐりを観察しています。



写真36
環境学習の様子 自然の音を感じています。

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	志摩市
-----	-----

事業名	森と緑ふれあい事業
-----	-----------

7. 写真



写真37
ツリーイング体験の様子

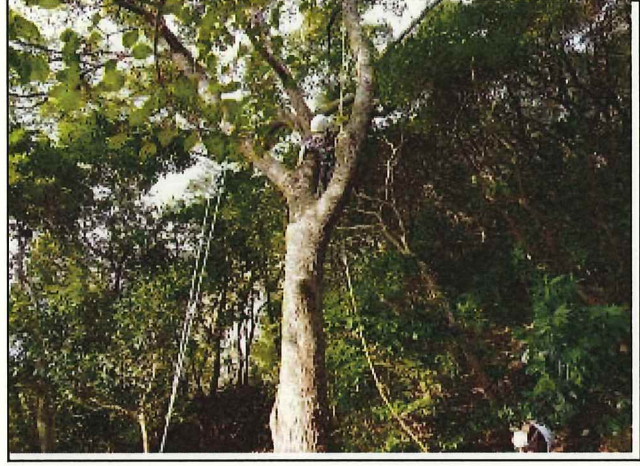


写真38
ツリーイング体験の様子



写真39 ロープワークによる高所特殊伐採について子供たちにお話している様子。



写真40
特殊伐採用のハーネスの重さを実感



写真41
まとめ



写真42
アンケート時の様子

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	志摩市
-----	-----

事業名	森と緑ふれあい事業
-----	-----------

7. 写真



写真43
みえ森と緑の県民税周知コーナー

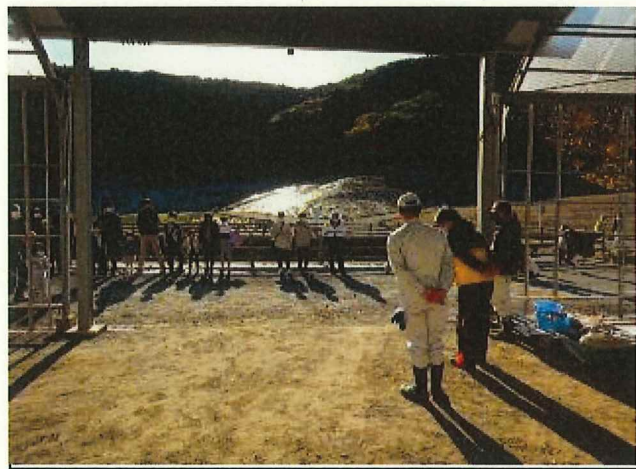


写真44
進行係から参加者へ、このイベントがみえ森と緑の県民税を活用した取組であることを伝えた。



写真45
いせしま森林組合



写真46
ほだ木作り (枝払い)



写真47
ほだ木作り (玉切り)



写真48
ほだ木作り (玉切り)

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	志摩市
-----	-----

事業名	森と緑ふれあい事業
-----	-----------

7. 写真



写真49 いせしま森林組合の職員による、シイタケ栽培の説明を受ける。

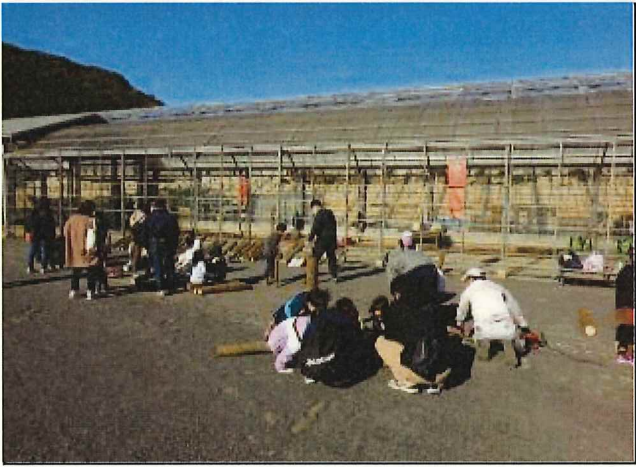


写真50 シイタケ菌打ち作業状況



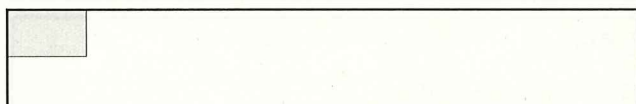
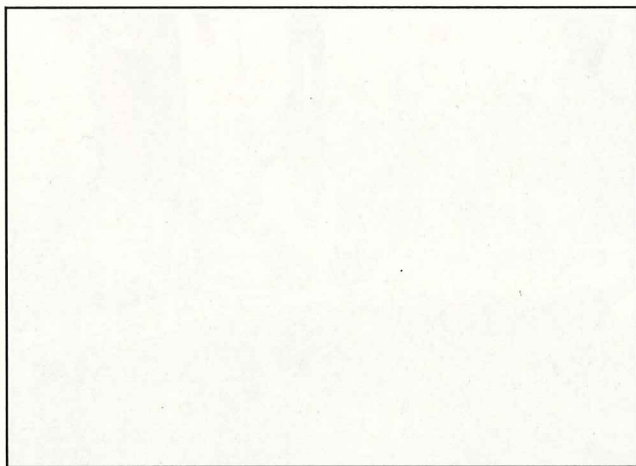
写真51 シイタケ菌打ち作業状況



写真52 シイタケ菌打ち作業状況



写真53 集合写真



対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市
------	-------------	-----	-----

事業名	森と緑ふれあい事業
-----	-----------

積算資料(実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
木工体験	式	1.00		258,500	
ツリーイング体験、森林環境学習	式	1.00		364,100	
ほだ木つくりとシイタケ菌打ち体験	式	1.00		364,100	
事業費				986,700	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
木工体験	大工派遣	人	3.00	25,000	75,000	
	運営スタッフ	人	3.00	16,000	48,000	
	事前準備	人	2.00	16,000	32,000	
	材料費	式	1.00	50,000	50,000	
	諸経費(交通費等)	式	1.00	20,000	20,000	
	イベント保険	式	1.00	10,000	10,000	
	消費税	式	1.00	23,500	23,500	
	計				258,500	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
ツリーイング体験 森林環境学習	講習費(指導員)	人	3.00	15,000	45,000	
	講習費(補助員)	人	3.00	10,000	30,000	
	実施箇所整備費	式	1.00	30,000	30,000	
	機材等借損料	セット	10.00	1,000	10,000	
	講習費(指導員)	人	3.00	10,000	30,000	
	教材費	式	1.00	20,000	20,000	
	旅費	式	1.00	112,000	112,000	
	宿泊費	式	1.00	54,000	54,000	
	消費税	式	1.00	33,100	33,100	
		計				364,100

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
ほだ木つくりとシイタケ菌打ち体験	講習会準備工	人工	6.00	19,600	117,600	
	講習費(指導員)	人	4.00	22,700	90,800	
	諸雑費	%	7.70	208,400	16,046	
	材料費	式	1.00	28,560	28,560	
	諸経費	%	31.00	253,006	77,994	
	消費税	式	1.00	33,100	33,100	
	計				364,100	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり			市町名	志摩市
番号	事業名				
4	観光農園整備事業				
事業費	1,771,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,771,000	0	0

1. 事業の目的	志摩市の集客施設を活用し、志摩市の森林の魅力を発信する場を整備するとともに、子どもたちの木育などに活用できるように環境整備し、子どもたちに森林への興味や林業への理解を深める。
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】</p> <p>木製ベンチを施設内に設置または、木製で施設を整備し、木製品にふれあう機会を創出する。また、施設内に森林に関するパネルの設置や県民税の取り組みについてのパネル等の設置を行う。</p> <p>【実施主体(補助事業の場合は補助事業実施主体)】</p> <p>志摩市</p> <p>【補助率等】</p> <p>補助事業ではなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】</p> <p>1施設</p> <p>【事業量】</p> <p>木製ベンチ 10基 テーブルベンチ 2基</p> <p>【事業実施期間】</p> <p>令和2年12月21日 から 令和3年2月26日 まで</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】</p> <p>公園入場者数 10,591人(令和元年度)</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】</p> <p>以前から実施箇所でシイタケ菌打ち体験等を実施しており、さらに集客施設であることから、木製品の設置には最適であると考えたため。</p> <p>【事業実施により得られた効果】</p> <p>みえ森と緑の県民税を活用した森と緑ふれあい事業と連携し、木工教室等の会場としての利用やその他森林に関する体験学習を親子を対象に木育を行うことや直接木製品に触れることにより森林への興味が深まったと考える。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】</p> <p>今後も同様の管理を継続していく。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】</p> <p>園内に木製品のベンチが設置してあることで、入場者等に鉄製等よりも温かみがある等という意見をいただいた。</p>

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり			市町名	志摩市
番号	事業名				
4	観光農園整備事業				
事業費	1,771,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,771,000	0	0

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】		
【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】 備品購入		
【実施方法の選定理由】 木製品ベンチ及びテーブルの購入であるため。		
【契約方法と落札率または補助率等】 随意契約		
【契約相手方の選定理由】 別の課において、創造の森横山内で山林の維持管理のため伐採事業を実施しており、そこで発生した間伐材等を使用して木製品の製作を行うため。		
【事業費の積算根拠】 見積りによる。		
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】		
【事業参加や整備施設等の公益性】 事業実施箇所は集客施設であり、県内外を問わず、来園者に休憩してもらえ空間の創出に寄与している。		
【公的関与の必要性】 当該事業実施箇所は市が直営している施設であり、市において事業実施していく必要がある。		
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】 今後も同様の管理を継続していく。		
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】		
【情報発信の内容】		
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
その他	実施後	購入した木製ベンチ及びテーブルに県民税で事業実施したプレート設置。
7. 写真		
別紙のとおり		
8. その他特記事項		

対策区分 4. 森と人をつなぐ学びの場づくり

市町名 志摩市

事業名 観光農園整備事業

7. 写真

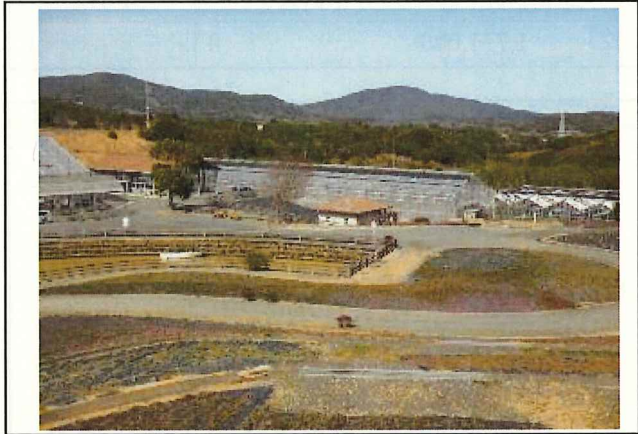


写真1
観光農園園内①



写真2
園内に設置した木製ベンチ①



写真3
園内に設置した木製テーブルベンチ①



写真4
園内に設置した木製テーブルベンチ②



写真5
園内に設置した木製テーブルベンチ③



写真6
購入した木製品につけてあるプレート

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	志摩市
------	-------------------	-----	-----

事業名	観光農園整備事業
-----	----------

積算資料（実績報告参考資料）

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
木製品購入	式	1.00	1,771,000	1,771,000	
事業費				1,771,000	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
木製品購入	背もたれ付ベンチ	基	10.00	100,000	1,000,000	
	テーブルベンチ	基	2.00	305,000	610,000	
	消費税	式	1.00	161,000	161,000	
	計				1,771,000	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり			市町名	志摩市
番号	事業名				
5	創造の森横山整備事業				
事業費	3,408,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,088,000		320,900

1. 事業の目的	<p>創造の森横山は、山頂にある展望台につながる遊歩道が整備され、自然観察会の開催やクアオルトウォーキングなどが行われ、多くの方が散策やウォーキングに訪れている。森林の総合利用のための整備として、休憩場所として利用されている山小屋の改修と改修に合わせて、木製テーブル、椅子を施設内に設置することにより木製品にふれあう機会を創出する。</p>
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 木製テーブル、椅子を施設内に設置し、木製品にふれあう機会を創出する。</p> <p>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】 志摩市</p> <p>【補助率等】 -</p> <p>【箇所数】 1か所</p> <p>【事業量】 ベンチ4脚、看板1台、スタッキングチェア18脚、テーブル4台、カウンター1台、カウンターチェア6脚</p> <p>【事業実施期間】 令和 2 年 9 月 1 日～令和 3 年 2 月 18 日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 68,724人 (令和元年 横山ビジターセンター来場者数)</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】 伊勢志摩国立公園は、環境省が実施する「国立公園満喫プロジェクト」における「国立公園ステップアッププログラム」を策定し、整備を進めています。志摩市では、当プログラムで定める自然豊かな横山園地について、園路等の整備を進めており、その一環として、木造建築物である創造の森横山作業所の改修工事を計画しました。 横山園地を訪れる多くの方が、森林にふれ、より森林の多様な機能を知る機会の創出につなげることを目的に、リニューアルした作業所を選定しました。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 創造の森の横山には遊歩道が整備され、多くの方が散策やウォーキングに訪れています。森林にふれあうことに合わせ、木製品にもふれあうことにより、森林の持つ多様な機能を知る機会が創出されています。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 創造の森横山作業所は、環境省が実施する自然観察会、市が実施する炭焼き体験等のイベントの拠点となっていることから、これらのイベント参加者を中心に、購入備品の経緯等を紹介することで、森林の持つ多様な機能を知る機会の創出を図ります。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 自然観察会に参加した子ども11名に、事業により木製の備品を作成し、それが森林の機能維持に役立っていることを説明しました。また、そのチラシを配布し、親御さんに伝えていただいたことにより、SDGsにつながる事業であるとの評価を1件いただきました。 今後も、同様にイベント参加者に説明することを継続し、事業本来の目的を中心に波及させたい。</p>

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり			市町名	志摩市
番号	事業名				
5	創造の森横山整備事業				
事業費	3,408,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,088,000		320,900

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

請負

【実施方法の選定理由】

地方自治法等に基づく市の発注基準、方法による

【契約方法と落札率または補助率等】

- ・指名競争入札 入札参加者5者 落札率：56.23%
- ・随意契約 理由：地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に該当

【契約相手方の選定理由】

地方自治法等に基づく市の発注基準、方法による

【事業費の積算根拠】

複数見積に基づく単価設定による積算

- 【単価】 ・ベンチ 120,000円 ・看板 194,000円 ・スタッキングチェア 88,800円 ・テーブル① 269,600円
 ・テーブル② 294,800円 ・カウンター 801,800円 ・カウンターチェア 124,800円

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】

横山園地は、環境省が実施する「国立公園満喫プロジェクト」における「国立公園ステップアッププログラム」を策定し、整備を進めていることもあり、最大で年間18万人が訪れる観光スポットである。観光や行楽目的の来訪者は、県民も多い。志摩市内には他の観光施設も存するが、より多くの県民が訪れる横山園地に位置する創造の森横山作業所を選択した。

【公的関与の必要性】

横山園地は、国立公園の特別地域となっており、環境省と志摩市が里山の適切な管理や希少生物の保護を長年継続して取り組んでいるため、公共による公園計画に基づく、管理及び保全が必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

創造の森横山作業所を使用する環境省や志摩市が主催の講習会またはイベントは、毎年開催が予定されている。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
チラシ等配布	実施後	創造の森横山作業所にて、イベント時にチラシを配布し説明。
その他	実施後	定例記者会見において、作業所のリニューアルオープンと合わせて紹介。

7. 写真

別紙のとおり

8. その他特記事項

対策区分 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり

市町名 志摩市

事業名 創造の森横山整備事業

7. 写真

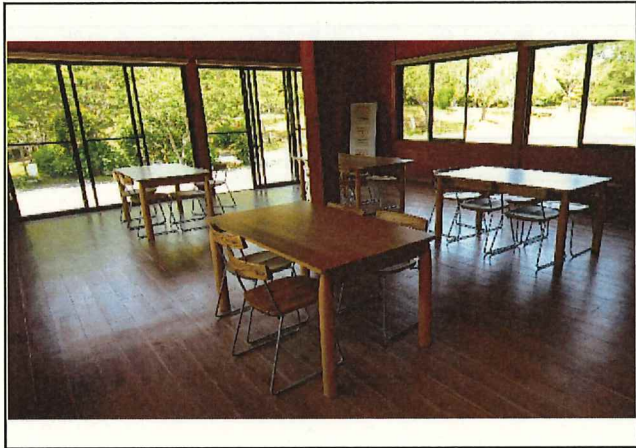


写真1
テーブル① テーブル②等

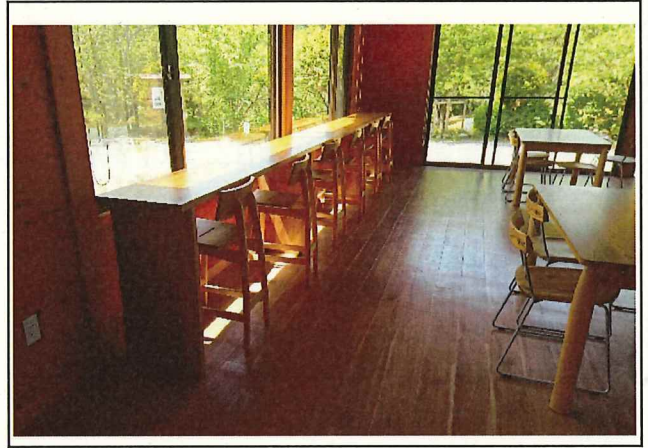


写真2
カウンター カウンターチェア



写真3
スタッキングチェア



写真4
ベンチ



写真5
看板



写真6
イベント時周知

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	志摩市			
事業名	創造の森横山整備事業					
積算資料 (実績報告参考資料)						
作業内容	単位	数量	単価	金額	備考	
創造の森横山作業所備品購入 (その1)	式	1.00		1,870,000	消費税含む	
創造の森横山作業所備品購入 (その2)	式	1.00		797,500	消費税含む	
創造の森横山作業所備品購入 (その3)	式	1.00		741,400	消費税含む	
事業費				3,408,900		
作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
その1	スタッキングチェア	脚	10.00	49,937	499,370	
	テーブル①	台	2.00	151,611	303,222	
	テーブル②	台	1.00	165,783	165,783	
	カウンター	台	1.00	450,897	450,897	
	カウンターチェア	台	4.00	70,182	280,728	
	消費税等	%	10.00		170,000	
	計				1,870,000	
作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
その2	スタッキングチェア	脚	8.00	52,878	423,024	
	テーブル①	台	1.00	158,036	158,036	
	カウンターチェア	脚	2.00	71,970	143,940	
	消費税等	%	10.00		72,500	
計				797,500		
作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
その3	ベンチ	脚	4.00	120,000	480,000	
	看板	台	1.00	194,000	194,000	
	消費税等	%	10.00		67,400	
計				741,400		
作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						
作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						
作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						
作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

玉城町

第16号様式（評価委員会資料）

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 市町別総合評価シート

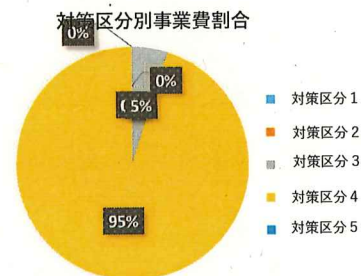
1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	玉城町	三重県
人口（人）	15,199	1,782,190
年少人口割合（％）*1	14.5%	12.4%
森林面積(ha)	1,259.02	372,352.55
民有林面積(ha)*2	1,258.77	348,833.49
森林率(%)	31.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	25.7	10.1

*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	森林環境教育・木育事業	306,900	306,900			306,900			
2	4	森林ふれあい創出事業	1,549,900	1,549,900				1,549,900		
3	4	公共施設（学び場）整備事業	4,224,000	4,224,000				4,224,000		
4		みえ森と緑の県民税市町交付金 基金積立事業	133,200	133,200						133,200
計			6,214,000	6,214,000	0	0	306,900	5,773,900	0	133,200

3. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	森林率が低い当町であるがゆえ、森林の良さ、木材の良さに気づく度合いが大きいとを考えます。森林環境への関心・身近さを少しでも感じてもらいたいとの考えに基づく。 また、教育現場での学びの場を創出すると同時に森林環境教育を実施していくことが、多くの方々に森林への関心が高まることに繋がるとの考えに基づき、実施。
事業実施により得られた効果	森林環境教育・木育を実施したことで森林への理解、森林の大切さを感じてもらえた。 また、木と触れ合える教育環境を児童とその保護者、指導者に感じてもらうことで、木材の大切さ、活用の促進と森林への理解を深めてもらうことが出来た。
情報発信への取組	町の広報誌（広報たまき）への記事を基本に町民に対して積極的に情報提供（PR）している。 町民はもとより、木育活動等を実施した施設の対象者（園児、生徒）、教員・職員からも事業に対する理解の声をいただいている。

(参考資料)

令和 2 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(円)	内、譲与税
1	⑯ その他（木材・普及啓発関係）	100,000	100,000
2	⑰ 基金積立（森林整備等）	3,964,000	3,964,000
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	4,064,000	4,064,000

第7号様式(その2) (評価委員会資料)

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠) 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町
------	-------------	-----	-----

番号	事業名				
1	森林環境教育・木育事業				
事業費	306,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			306,900	0	0

1. 事業の目的	教育現場において森林環境教育・木育を実施し、児童・生徒等の森林への理解を深める。
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 玉城町内の小学校4校において森林環境教育・木育を実施する。</p> <p>【実施主体(補助事業の場合は補助事業実施主体)】 玉城町</p> <p>【補助率等】 補助事業でないため、該当なし。</p> <p>【箇所数】 小学校 4校</p> <p>【事業量】 ・木育活動 4小学校(木育メニュー考えて、実施)</p> <p>【事業実施期間】 令和2年9月～令和3年2月</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 ①田丸小学校 児童数 61名 ②有田小学校 児童数 31名 ③外城田小学校 児童数 46名 ④下外城田小学校 児童数 24名</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】 教育委員会の要望もあり、木の良さ(ぬくもり)を感じてもらうとの観点も合致し、選定に至った。 森林環境への関心を少しでも感じることが出来ればと考え、森林教育実施を開始する学年とその準備学年である4～5年生を対象とした。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 ・自然とともに木のぬくもりを感じる教育環境を児童に対して提供出来た。 ・森林環境教育・木育をとおして森林への理解、森林の大切さを感じてもらえた。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 施設整備等ではなく、該当しない。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 広報に掲載したこともあり、保護者、関係者を含め、良い声を聞く。 アンケートを実施した。生徒から好評な結果を得た。</p>

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町
------	-------------	-----	-----

番号	事業名			
1	森林環境教育・木育事業			
事業費	306,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金
			306,900	0
				その他
				0

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

・木育活動・・・（公社）三重県緑化推進協会（みえ森づくりサポートセンター）に支援委託を願い、実施。

【実施方法の選定理由】

各小学校の5年生を対象（※林業の学習を開始するのが、5年生のため）に小学校長にメニューを提示。
教師・生徒と一緒に林業について少しでも関心を持つようにメニューを小学校毎に選択出来るように依頼。

【契約方法と落札率または補助率等】

木育活動支援業務：随意契約

【契約相手方の選定理由】

支援業務委託：随意契約（地方自治法施行令第167条の2第1項第1号）

【事業費の積算根拠】

みえ森づくりサポートセンターの見積もり等を参考。

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】

本メニューにて実施した木育活動は子供（小学生）を基本対象として実施。少しでも多くの人数に興味を感じてもらえるよう企画した。

【公的関与の必要性】

教育現場と連携して実施する内容であるため、公的に取り組む必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
その他	実施前・中・後	児童に対し、啓発を目的に物品を提供した。
のぼり設置	実施前・中・後	木育活動中、教室に設置。
広報誌掲載	実施前・中・後	町の広報誌（広報たまぎ）への記事を基本に町民に対して積極的に情報提供（PR）している。
アンケート実施	実施前・中・後	町民はもとより、木育活動等を実施した施設の対象者（園児、生徒）、教員・職員からも事業に対する理解の声をいただいている。

7. 写真

別紙のとおり

8. その他特記事項

(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	玉城町
-----	-----

事業名	森林環境教育・木育事業
-----	-------------



写真1

森林環境教育支援業務（下外城田小学校）



写真2

森林環境教育支援業務（外城田小学校）



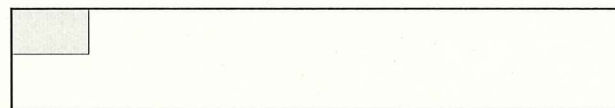
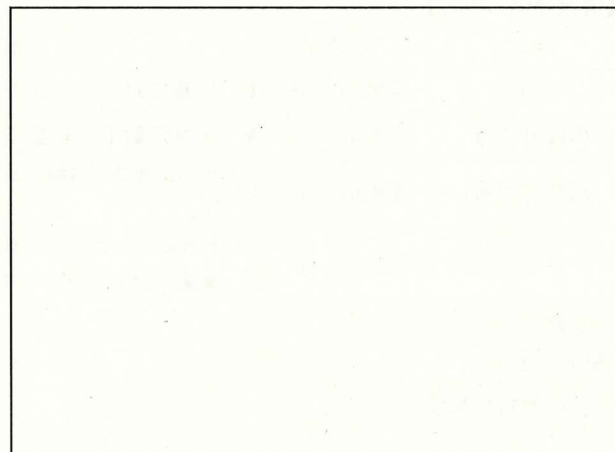
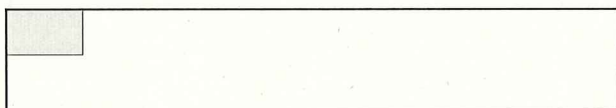
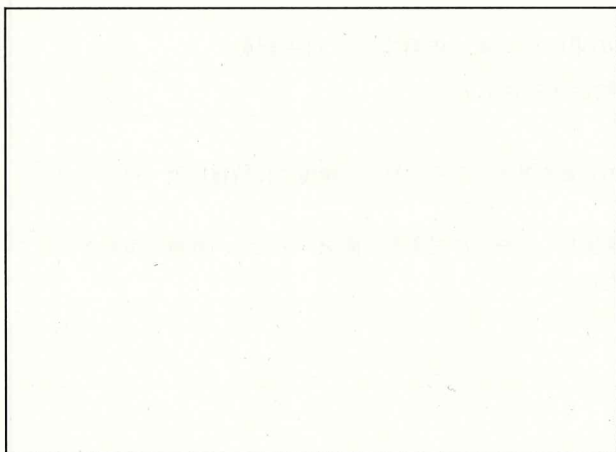
写真3

森林環境教育支援業務（田丸小学校）



写真4

森林環境教育支援業務（有田小学校）



(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町
事業名	森林環境教育・木育事業		

積算資料 (実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
森林環境教育 (田丸・有田・下外城田小)	式	1.00	269,500	269,500	
森林環境教育 (外城田小)	式	1.00	37,400	37,400	
事業費				306,900	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
森林環境教育 (田丸・有田・下外城田小)	森林環境教幾 (有田小学校・下外城田小学校・田丸小学校) 支援業務	式	1.00	245,000	245,000	
	消費税等	%	10.00	24,500	24,500	
	計				269,500	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
森林環境教育 (外城田小)	森林環境教幾 (外城田小学校) 支援業務	式	1.00	34,000	34,000	
	消費税等	%	10.00	3,400	3,400	
	計				37,400	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

第7号様式(その2)(評価委員会資料)

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり			市町名	玉城町
番号	事業名				
2	森林ふれあい創出事業				
事業費	1,549,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,549,900	0	0
1. 事業の目的					
アスピーア玉城の森林や遊歩道周辺の整備を進め、玉城町菜の町民をはじめとする県民に対し、森林や木材とふれあう場を提供する。					
2. 事業実績概要					
【事業内容】					
・アスピーア玉城の広場の池回りに木柵を設置。					
・的山公園に見晴らし台を設置。					
【実施主体(補助事業の場合は補助事業実施主体)】					
玉城町					
【補助率等】					
補助事業ではないため、該当なし。					
【箇所数】					
・アスピーア玉城 1.0箇所					
・的山公園 1.0箇所					
【事業量】					
・アスピーア玉城:木柵工事 1.0式 × 3箇所					
・見晴らし台設置 1.0式					
【事業実施期間】					
令和2年12月 ~ 令和3年3月					
【受益者、参加者、利用者数等】					
・広場利用者数(延べ) 約6,000人					
・公園利用者数 約8,000人					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【実施箇所の選定理由】					
・アスピーア玉城の施設内に遊歩道・池等が在しているため、その空間(環境)に安らぎを感じ、自然を大切に思う心を持ってもらいたいと願い、空間づくり(安全づくり)として木柵を設置した。					
・的山公園は、自然に親しむ空間づくりを目的に設置した。					
【事業実施により得られた効果】 ☆評価の分類「③事業効果」					
自然に親しむ時間の創出、自然環境を大切に感じる心の育みを得ることが出来た。					
【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 ☆評価の分類「③事業効果」「④森林を支える社会づくりへの貢献度」					
緑に囲まれた環境を散策する楽しさ・安らぎを感じる機会に繋げる。					
【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 ☆評価の分類「④森林を支える社会づくりへの貢献度」					
・木柵を設置したアスピーア玉城、的山公園に一時設置した見晴らし台により、来場者の増加に繋がっている。					
・引き続き、来場者に対し、身近にある緑環境(森林)の整備につなげていけるよう努める。					

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり			市町名	玉城町
番号	事業名				
2	森林ふれあい創出事業				
事業費	1,549,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,549,900	0	0

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

木柵工事：町による随意契約（見積合わせ）

見晴らし台設置：町による随意契約（見積合わせ）

【実施方法の選定理由】 ☆評価の分類「⑤実施方法」

経費節減。

【契約方法と落札率または補助率等】 ☆評価の分類「⑥公平性」

木柵工事：町による随意契約（見積合わせ）

見晴らし台設置：町による随意契約（見積合わせ）

【契約相手方の選定理由】 ☆評価の分類「⑥公平性」「⑦透明性」

木柵工事：随意契約（地方自治法施行令第167条の2第1項第1号）

見晴らし台設置：随意契約（地方自治法施行令第167条の2第1項第1号）

【事業費の積算根拠】 ☆評価の分類「⑦透明性」

木柵工事：見積

見晴らし台設置：見積

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】 ☆評価の分類「⑧受益対象」「⑨多様性・発展性」

・広場利用者数（延べ） 約6,000人

・公園利用者数 約8,000人

【公的関与の必要性】 ☆評価の分類「⑩支援の必要性」

・両施設共、緑環境に恵まれている。緑環境の良さ、必要性を広く知ってもらうためとして、実施。

・そのため、訪問者が訪れやすい環境整備をする必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

当課職員をはじめとした管理体制を整え、対応していく。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】 ☆評価の分類「⑬情報発信の手段」「⑭情報発信の対象」

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
標識・標柱等設置	実施中	みえ森と緑の県民税を活用した事業である標識を設置
広報誌掲載	実施後	町の広報誌（広報たまき）への記載を基本に町民に対して積極的に情報提供（PR）していく。

【情報発信の内容】

町の広報誌（広報たまき）への記載を基本に町民に対して積極的に情報提供（PR）している。

7. 写真

別紙のとおり ※掲載する写真には、状況説明を記載する。

8. その他特記事項

※その他、特記すべき工夫や事業の特徴などがあれば記載する。記載にあたっては、「評価のポイント」を考慮して記

(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり
------	-------------------

市町名	玉城町
-----	-----

事業名	森林ふれあい創出事業
-----	------------



写真1

アスピア玉城木柵設置工事①



写真2

アスピア玉城木柵設置工事②



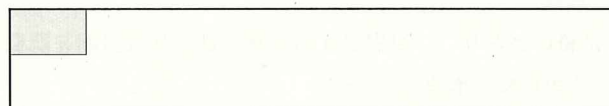
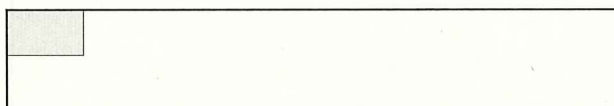
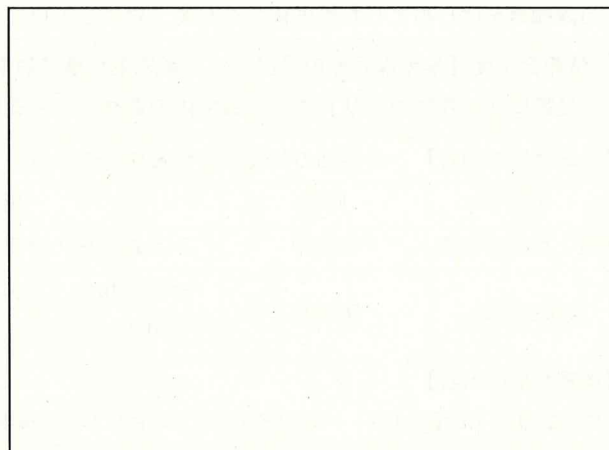
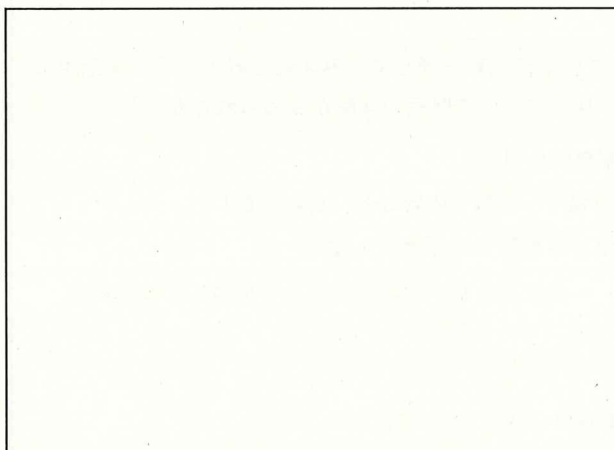
写真3

的山公園見晴らし台設置①



写真4

的山公園見晴らし台設置②



第7号様式（その2）（評価委員会資料）

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり			市町名	玉城町
番号	事業名				
3	公共施設（学び場）整備事業				
事業費	4,224,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,224,000	0	0

1. 事業の目的	<p>木材と触れ合う場を提供（床木質化改修）することで森林への理解をすすめる。</p>
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材と触れ合う場を提供するために、1小学校（1室）の床を木質化した。 ・また、1児童館に、ランドセル収納棚を導入した。 <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】</p> <p>玉城町</p> <p>【補助率等】</p> <p>補助事業ではないため、該当なし。</p> <p>【箇所数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田丸小学校 1.0箇所 ・いなほの郷児童クラブ 1.0箇所 <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田丸小学校 96.0㎡（コンピューター教室 1室） ・いなほの郷児童クラブ 1.0式（ランドセル収納棚設置 1.0基） <p>【事業実施期間】</p> <p>令和2年4月～令和3年3月</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田丸小学校 児童数 約240名 ・いなほの郷児童クラブ 登録者数 約40名
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】</p> <p>・木とふれあえる保育・教育環境を園児・児童・保護者に提供することで、木材の活用の促進と森林づくりへの理解を得るため。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 ☆評価の分類「③事業効果」</p> <p>・木とふれあえる保育環境を園児・保護者に提供したことで、木材の活用の促進と森林づくりへの理解が進んだ。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 ☆評価の分類「③事業効果」「④森林を支える社会づくりへの貢献度」</p> <p>・田丸小学校、いなほの郷児童クラブ：授業、児童クラブ滞在の際、床改修したPC教室・導入したランドセル収納棚を利用することで森林（木材）への意識向上、身近に感じるよう引き続き活用していく。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 ☆評価の分類「④森林を支える社会づくりへの貢献度」</p> <p>・県産材により床を木質化したことにより児童、職員から環境（明るさ、木の温もり、清潔感）が良かったとの声をいただいている。</p> <p>・引き続き、森林についての学びの場を積極的に県産材を利用し、整備を行う。行った整備事業等による施設を利用し、森林に関する周知・啓発を行っていく。</p>

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり			市町名	玉城町
番号	事業名				
3	公共施設（学び場）整備事業				
事業費	4,224,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,224,000	0	0

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

設計委託：町による随意契約（見積合わせ）、床の木質化：町による工事請負契約、
資材導入：町による随意契約（見積合わせ）

【実施方法の選定理由】 ☆評価の分類「⑤実施方法」

経費節減。

【契約方法と落札率または補助率等】 ☆評価の分類「⑥公平性」

設計委託：町による随意契約（見積合わせ）、床の木質化：町による工事請負契約
資材導入：町による随意契約（見積合わせ）

【契約相手方の選定理由】 ☆評価の分類「⑥公平性」「⑦透明性」

設計委託：随意契約（地方自治法施行令第167条の2第1項第1号）
床木質化：指名競争入札
資材導入：随意契約（地方自治法施行令第167条の2第1項第1号）

【事業費の積算根拠】 ☆評価の分類「⑦透明性」

床の木質化：設計委託の成果による積算を実施。

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】

児童はもとより、職員からも教育環境が良くなった中、授業が出来ていると実感。
児童クラブに導入したランドセル収納棚については、生活環境がよくなることはもとより、木材の良さを見ることが日常感じることに繋がる。

【公的関与の必要性】 ☆評価の分類「⑩支援の必要性」

町有施設であり、公益性施設整備のために要望のある施設については劣化等の度合いを精査し、実施する必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

担当課及び施設管理者において、管理体制を整え、維持管理に努める。

- ・担当課：田丸小学校、教育委員会
- ・担当課：いなほの郷児童クラブ、保健福祉課

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】 ☆評価の分類「⑬情報発信の手段」「⑭情報発信の対象」

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
標識・標柱等設置	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業であるプレートを設置
広報誌掲載	実施後	広報たまきへ掲載。

【情報発信の内容】 ☆評価の分類「⑮情報発信の方法」「⑯情報発信の内容」

ケーブルテレビや町広報誌にて町民、町のHPにて県民に情報を発信する。

7. 写真

別紙のとおり

8. その他特記事項

(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり
------	-------------------

市町名	玉城町
-----	-----

事業名	公共施設（学び場）整備事業
-----	---------------

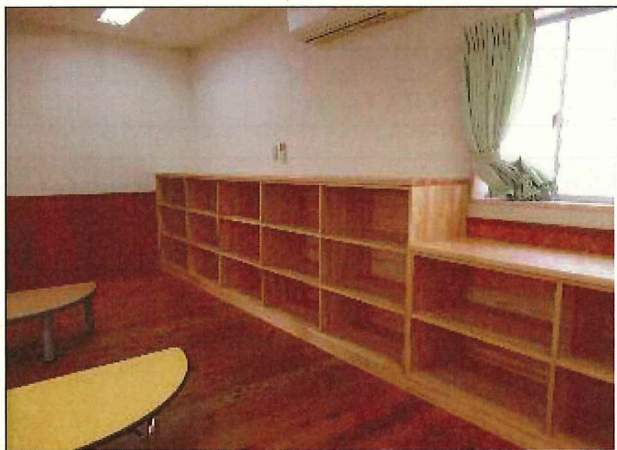


写真1
いなほの郷児童クラブ備品（ランドセル収納棚）購入①

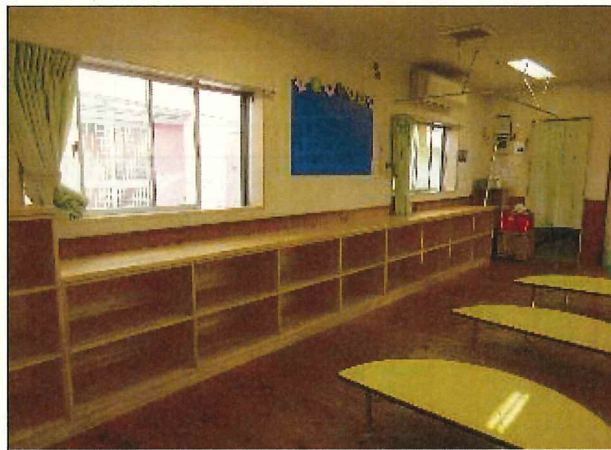
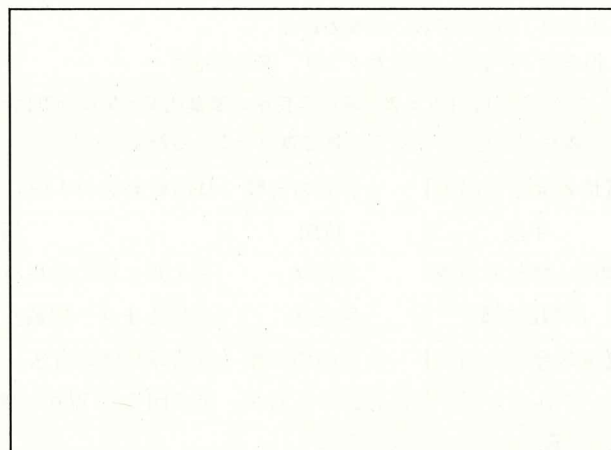
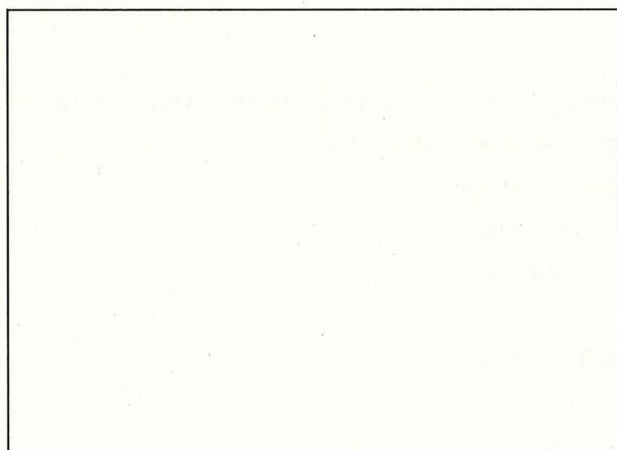
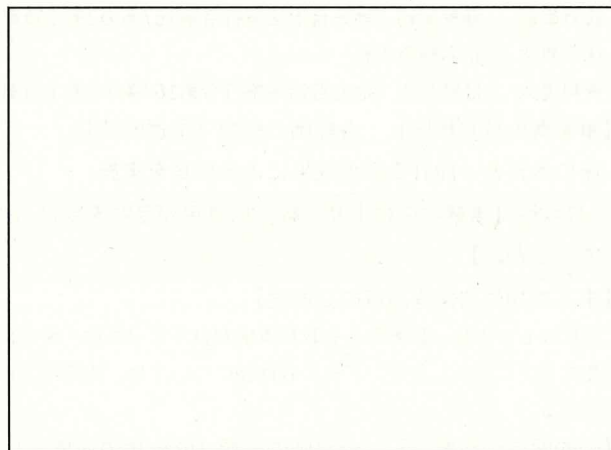


写真2
いなほの郷児童クラブ備品（ランドセル収納棚）購入②



写真3
田丸小学校パソコン教室床改修



(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	玉城町
------	-------------------	-----	-----

事業名	公共施設（学び場）整備事業
-----	---------------

積算資料（実績報告参考資料）

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
玉城町立田丸小学校（PC教室）床改修工事設計業務	式	1.00	495,000	495,000	
玉城町立田丸小学校（PC教室）床改修工事	式	1.00	3,267,000	3,267,000	
いなほの郷児童クラブ備品購入（その2）	式	1.00	462,000	462,000	
事業費				4,224,000	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
玉城町立田丸小学校（PC教室）床改修工事設計業務	委託料	式	1.00	450,000	450,000	
	消費税等	%	10.00	45,000	45,000	
	計				495,000	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
玉城町立田丸小学校（PC教室）床改修工事	工事費	式	1.00	2,970,000	2,970,000	
	消費税等	%	10.00	297,000	297,000	
	計				3,267,000	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
いなほの郷児童クラブ備品購入（その2）	備品購入費	式	1.00	420,000	420,000	
	消費税等	%	10.00	42,000	42,000	
	計				462,000	

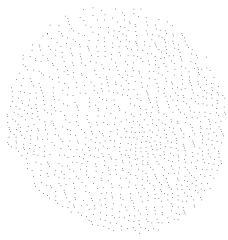
作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						



度会町

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

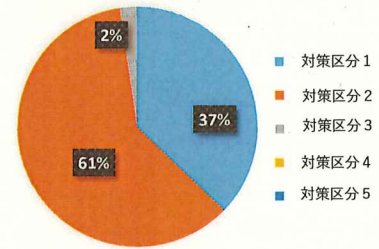
市町名	度会町	三重県
人口（人）	7,950	1,782,190
年少人口割合（%）*1	11.6%	12.4%
森林面積(ha)	11,410.44	372,352.55
民有林面積(ha)*2	11,410.44	348,833.49
森林率(%)	85.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	9.6	10.1

*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



2. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)（当年度交付金額+基金活用額）							
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立	
1	1	流倒木撤去事業	3,245,000	3,245,000	3,245,000						
2	2	危険木伐採事業	5,293,200	5,282,000		5,282,000					
3	3	森林環境教育推進事業	199,320	199,000			199,000				
計			8,737,520	8,726,000	3,245,000	5,282,000	199,000	0	0	0	

3. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	16.7	8,140,000	8,077,000	間伐
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	「災害に強い森林づくり」を目指し、防災・減災を図るとともに、住民に森林について学ぶ場と触れ合う場を提供する。
事業実施により得られた効果	道路沿い等については住民に危害を与える恐れのある危険木を伐採し、河川沿いについては大雨時に下流へ倒木等が流出しないよう撤去し、防災・減災に努めた。 また小学校においては出前授業を行い、森林について学ぶ場・触れ合う場を提供した。
情報発信への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・町ホームページ及び町広報紙により取組みを周知。 ・森林環境教育推進事業については記者提供をおこない、出前授業の取り組みを伊勢新聞（令和3年2月18日朝刊）へ掲載、ZTVでは2月22日～24日のいせトピコーナーにて放送。 ・庁舎内掲示板にて事業事例の紹介 ・現地に県民税ののぼり旗の設置

令和2年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(円)	内、譲与税
1	② 意向調査	2,310,000	2,310,000
2	⑰ 基金積立（森林整備等）	23,308,000	23,308,000
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	25,618,000	25,618,000

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり			市町名	度会町
番号	事業名				
1	流倒木撤去事業				
事業費	3,245,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,245,000		0

1. 事業の目的	<p>度重なる大雨により、河川上流の護岸が浸食され、多くの木が倒れかかっており、また、堆積した土砂により 川の流が変わり、本来河川でない山の裾など低い所を水が流れその土地も浸食されている。これにより、立木や間伐された残木も流されて橋に詰まる等、下流域において災害を拡大させるおそれがあるため、護岸付近の倒木や根本の表土が流失している立木を除去し、災害の拡大を抑制する。</p>
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 河川沿いの流倒木の除去および根本の表土が流失している立木の伐採。</p> <p>【実施主体(補助事業の場合は補助事業実施主体)】 度会町、委託契約先(いせしま森林組合)</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】 5箇所(川上地区)</p> <p>【事業量】 5箇所</p> <p>【事業実施期間】 令和3年1月12日~令和3年3月17日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 下流域 21世帯、58名(川上地区 R3.3月末時点) 県道度会大宮線利用者 約2,000人/日</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】 流倒木等の下流への流出の危険がある箇所を実施。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 河川に倒れかかっている立木や河川内の流木を除去することにより、道路や下流域への災害の拡大が抑制された。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 森林所有者、河川管理者で維持管理を行う。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 当該河川の下流域の住民より、倒木が除去されたことで流れ出る心配がなくなったとの回答を得ている。</p>

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり			市町名	度会町
番号	事業名				
1	流倒木撤去事業				
事業費	3,245,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,245,000		0

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

委託

【実施方法の選定理由】

林業事業体に委託することで、効率的かつ安全に配慮した施行が可能。

【契約方法と落札率または補助率等】

指名競争(3社) 落札率92.3%

【契約相手方の選定理由】

最低金額入札者

【事業費の積算根拠】

参考見積書

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】

下流域 21世帯、58名（川上地区 R3.3月末時点）

県道度会大宮線利用者 約2000人/年

【公的関与の必要性】

河川沿い等では森林所有者による整備が困難なため、町が実施することで災害拡大を抑制する。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

流倒木の撤去であり、実施箇所の転用、目的外使用の規制等は設けない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前・中・後	年度当初に実施する事業について町HPで公表した。
広報誌掲載	実施後	事業の内容を町広報誌3月号に掲載した。
のぼり設置	実施中	実施中に県民税ののぼり旗をたて、県民税で事業を実施していることを周知した。
回覧板・掲示板	実施後	庁舎内で事業の施行前後写真を掲示し、事業効果を伝えた。

7. 写真

別紙のとおり

8. その他特記事項

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり
------	-------------------------

市町名	度会町
-----	-----

事業名	流倒木撤去事業
-----	---------

7. 写真

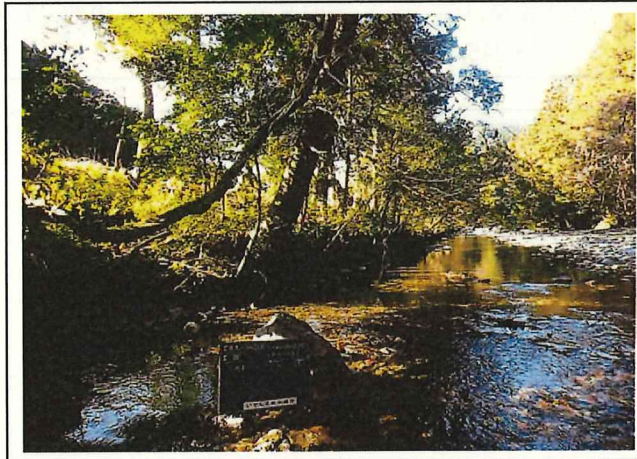


写真1
川上地区① 施行前



写真2
川上地区① 施行後



写真3
川上地区② 施行前



写真4
川上地区② 施行後



写真5
事業紹介 庁舎玄関



写真6
事業紹介 拡大

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり
------	-------------------------

市町名	度会町
-----	-----

事業名	流倒木撤去事業
-----	---------

積算資料 (実績報告参考資料)

作業内容	式	数量	単価	金額	備考
流倒木撤去作業	式	1.0		1,732,000	
諸経費	式	1.0		1,461,000	
消費税	%	10.0		319,300	
事業費				3,512,300	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
流倒木撤去作業	1号箇所	式	1.0		442,723	
	2号箇所	式	1.0		349,903	
	3号箇所	式	1.0		234,854	
	4号箇所	式	1.0		187,869	
	5号箇所	式	1.0		516,658	
	計				1,732,007	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町
------	----------------	-----	-----

番号	事業名				
2	危険木伐採事業				
事業費	5,293,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,282,000		11,200

1. 事業の目的	<p>施業予定箇所は、生活道路として多くの住民が利用している道路に隣接した森林であり、暮らしに身近な森林として、防災・減災を図るために、危険木を伐採し、住民の安全を確保する。</p>
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 町道川南線および農道鮎川下久具線、県道伊勢大宮線の隣接箇所における危険木の伐採。</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 度会町、委託契約先（いせしま森林組合）</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】 3箇所</p> <p>【事業量】 0.37ha</p> <p>【事業実施期間】 令和2年6月1日～令和2年12月11日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 利用者 県道：30,000人/日 町道：200人/日 農道：200人/日</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】 通学路、生活道路等で危険な箇所として要望があったため。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 利用する住民の安全を確保することができた。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 森林所有者や自治会で適切に管理を行ってもらう。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 雨風が強い日でも、安心して通行することができると声を得ている。</p>

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり		市町名	度会町
番号	事業名			
2	危険木伐採事業			
事業費	5,293,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金
			5,282,000	
				その他
				11,200

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】
委託

【実施方法の選定理由】
樹高が高く、林業事業体に委託することで、安全に配慮した施行が可能。

【契約方法と落札率または補助率等】
①指名競争（3社）落札率83.0%（町道川南線）
②指名競争（3社）落札率87.3%（農道鮎川下久具線）
③指名競争（3社）落札率93.5%（棚橋地内）

【契約相手方の選定理由】
最低価格見積者

【事業費の積算根拠】
参考見積書

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】
利用者 県道：30,000人/日 町道：200人/日 農道：200人/日

【公的関与の必要性】
生活道路などに隣接している危険木を町が実施することにより、生活道路を利用する住民の安全を確保することができる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】
実施箇所については転用される見込みはなく、所有者や自治会で適切に管理を行ってもらう。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前・中・後	年度当初に実施する事業について町HPで公表した。
広報誌掲載	実施中	事業の内容を町広報誌3月号に掲載した。
のぼり設置	実施中	実施中に県民税ののぼり旗をたて、県民税で事業を実施していることを周知した。
回覧板・掲示板	実施後	庁舎内で事業の施行前後写真を掲示し、事業の効果を伝えた。

7. 写真

別紙のとおり

8. その他特記事項

(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり
------	----------------

市町名	度会町
-----	-----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

7. 写真

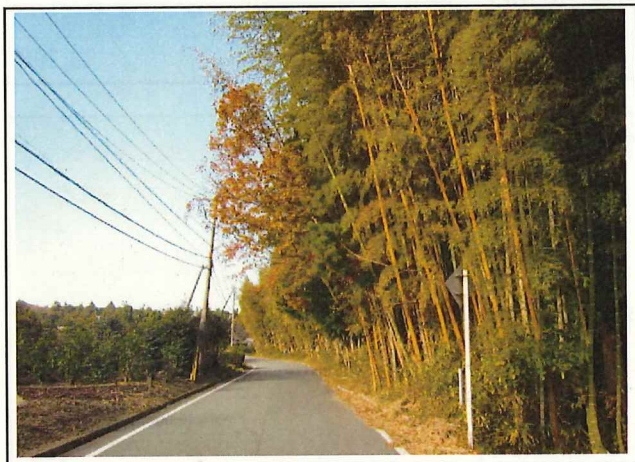


写真1

農道鮎川下久具線 実施前



写真2

農道鮎川下久具線 実施後



写真3

町道川南線 実施前



写真4

町道川南線 実施後



写真5

のぼり旗設置 実施中



写真6

事業紹介

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	度会町
-----	-----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

積算資料 (実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
伐採作業	式	1.0		5,653,000	
消費税	%	10.0		565,300	
事業費				6,218,300	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
農道鮑川下久具線	伐採作業	ha	0.15		1,482,000	
	諸経費				1,250,000	
計					2,732,000	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
町道川南線	伐採作業	ha	0.15		1,187,000	
	諸経費				1,002,000	
計					2,189,000	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
庁舎裏	伐採作業	ha	0.07		414,000	
	諸経費				318,000	
計					732,000	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	3. 森と育む人づくり	市町名	度会町
------	-------------	-----	-----

番 号	事 業 名				
3	森林環境教育推進事業				
事 業 費	199,320 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			199,000		320

1. 事業の目的	<p>町や山林の将来を担う子供たちの森林・林業への関心を高め、森や緑の大切さについての理解を深める。 また、実際に木に触れる場を提供することで、五感を通して森林について感じてもらう。</p>
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 小学3年生を対象に森林・林業に関する出前授業を実施。 3クラス2限ずつ実施し、前半は森の先生による講義、後半は木を使ったキーホルダー作りを実施。 講義後、ひのきの湯玉を配布し、生徒だけでなく、家族の中でも森に関心をもってもらえるように行った。</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 度会町、委託契約先（いせしま森林組合）</p> <p>【補助率等】 該当しない</p> <p>【箇所数】 1箇所（度会小学校）</p> <p>【事業量】 6回（3クラス2限）</p> <p>【事業実施期間】 令和3年2月17日、18日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 受講者73名 担任先生3人（3クラス1名ずつ）</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】 小学生に森林・林業へ関心を持つきっかけを作り、森や緑の大切さについての理解を深めるため。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 木や森と接する機会が少ない現代の子供たちにとって、貴重な教育であり、森林に興味を持つ良い機会となった。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 施設整備等ではなく、該当しない。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 「森にいろいろな生き物がすんでいることを教わり、森を大切にしたいとおもった」「本物の木の匂いを嗅いだり、キーホルダー作ったり楽しい体験ができた」など森林に対して理解が深まった感想を得ている。</p>

対策区分	3. 森と育む人づくり			市町名	度会町
番号	事業名				
3	森林環境教育推進事業				
事業費	199,320 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			199,000		320

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

委託

【実施方法の選定理由】

業者が実施することで、専門的な知見から適切な教育を実施できるため。

【契約方法と落札率または補助率等】

随意契約

【契約相手方の選定理由】

林業事業体であり、近隣市町での実績があるため。

【事業費の積算根拠】

参考見積書

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】

受講者73名 担任先生3人(3クラス1名ずつ)

【公的関与の必要性】

公が実施することにより、住民・関係団体・事業者との架け橋になれる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等ではなく、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前・中・後	年度当初に実施する事業について町HPで公表した。
広報誌掲載	実施中	事業の内容を町広報誌3月号に掲載した。
のぼり設置	実施中	実施中に県民税ののぼり旗をたて、県民税で事業を実施していることを周知した。
TV（行政チャンネル等）	実施後	2月22日～24日にZTVのいせトピコーナーにて活動内容を放送。
その他	実施後	2月18日の中日新聞へ記事として掲載。
啓発物品配布	実施中	県で制作した県民税のハンカチを生徒へ配布した。
回覧板・掲示板	実施後	庁舎内で事業の実施状況写真を掲示し、事業の紹介を行った。

7. 写真

別紙のとおり

8. その他特記事項

対策区分 3. 森と育む人づくり

市町名 度会町

事業名 森林環境教育推進事業

7. 写真

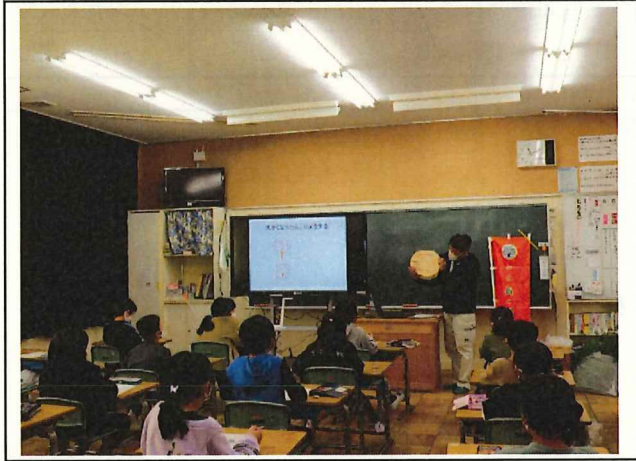


写真1
実施状況①



写真2
実施状況②



写真3
実施状況③



写真4
実施状況④



写真5
実施状況⑤



写真6
実施状況⑥

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	度会町
-----	-----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

積算資料(実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
講師料	人	2.0	27,000	54,000	
準備費	式	1.0	72,000	72,000	
資材費	式	1.0	25,000	25,000	
諸経費	式	1.0		30,200	
消費税	%	10.0		18,120	
事業費				199,320	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

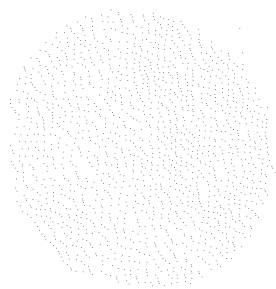
作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					



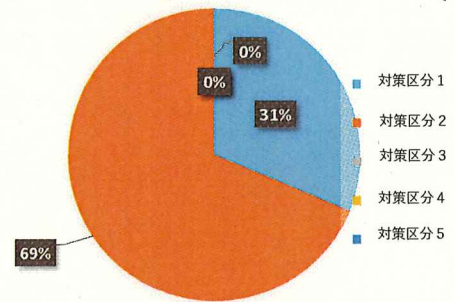
大紀町

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	大紀町	三重県
人口（人）	8,068	1,782,190
年少人口割合（%）*1	7.8%	12.4%
森林面積(ha)	21,131.83	372,352.55
民有林面積(ha)*2	20,406.17	348,833.49
森林率(%)	91.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	13.2	10.1

対策区分別事業費割合



*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	1	渓流倒木等処理事業	2,503,600	2,503,300	2,503,300					
2	2	生活環境林整備事業	5,496,700	5,496,700		5,496,700				
3		みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	3,347,000	3,347,000						3,347,000
計			11,347,300	11,347,000	2,503,300	5,496,700	0	0	0	3,347,000

3. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	9.1	4,900,000	4,900,000	間伐等(災害緩衝林一体型)
森林再生力強化対策事業	1272	533,000	533,000	植栽タイプ
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	<p>基本方針1の「災害に強い森林づくり」を強力に進める為、生活環境林整備事業と渓流倒木等処理事業を実施し、町民生活の安全安心を向上させていく。</p> <p>また、非常時における森林内の危険木流出による被害拡大を軽減させる為、河川の上流部に位置する大紀町としての役割を果たすことが、県民全体の安全安心に繋がっていく。</p>
事業実施により得られた効果	<p>事業実施により、通常時、住民が利用する生活道路や、生活に直結している人家への安全性が向上したことと、非常時における避難や、被害拡大防止の観点からも、住民の安全安心を向上することが出来た。</p>
情報発信への取組	<p>事業実施について、森林所有者や地区代表者に税事業での実施を説明している。</p> <p>事業実施中は、県民税職を事業箇所にて、県民税での事業実施をPRしている。</p> <p>事業完了後、当年行った事業においてPRポスターを作製し、庁舎掲示及び大紀町HPにアップし税事業のPRを行う。</p>

令和2年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(円)	内、譲与税
1	② 意向調査	2,402,000	2,402,000
2	① 意向調査の準備作業	789,000	789,000
3	⑬ 木造公共建築物の整備等	52,093,000	49,674,000
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	55,284,000	52,865,000

過

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町
------	-------------------------	-----	-----

番号	事業名				
1	溪流倒木等処理事業				
事業費	2,503,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,503,300	0	300

1. 事業の目的	過去の台風や豪雨により発生した、山間部溪流沿いの倒木や流木は、今後豪雨が発生した際には、下流域へ流出する危険があり、災害が増幅することが予想されることから、継続して倒木、流木の撤去を行うことにより、自然災害の拡大化を抑制する。
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 山間部溪流沿いの危険倒木・流木を除去(溪流外に搬出)する。(県事業以外の小規模箇所対象)</p> <p>【実施主体(補助事業の場合は補助事業実施主体)】 大紀町</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】 7箇所</p> <p>【事業量】 野原引瀬地区:25本 神原北野地区:100本 阿曾大原野地区:20本 柏野柿ノ谷地区:15本 崎下崎地区:100本 大内山池ノ谷越地区:10本 大内山 イヤ谷地区:20本 計290本</p> <p>【事業実施期間】 令和2年6月9日~令和3年3月25日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 受益戸数434戸</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】 溪流沿いの人家の近くや、下流に橋梁等がある箇所で、危険木等が流出する可能性がある箇所から実施。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 流木等の危険木を除去したことにより、下流域での流木の橋梁等への衝突や堆積の危険性が減少し、流域広範囲における住民の安全性が向上しました。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 施設整備でなく、該当しない。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 地域の代表者への聴き取りによると、地域の安全性が向上し喜んでいる。</p>

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり			市町名	大紀町
番号	事業名				
1	渓流倒木等処理事業				
事業費	2,503,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,503,300	0	300
4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】					
【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】					
委託契約					
【実施方法の選定理由】					
森林所有者による整備が困難な箇所及び、渓流内に堆積する所在不明の流木であることから、町が実施することにより、特に緊急性の高い箇所において整備を進めました。					
【契約方法と落札率または補助率等】					
見積りによる随意契約。落札率95.1%					
【契約相手方の選定理由】					
現地及び、当該事業に精通している大紀森林組合を選定。					
【事業費の積算根拠】					
組合による各箇所の見積りを参考とし、積算し事業費を決定した。					
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】					
【事業参加や整備施設等の公益性】					
危険木を除去したことにより、直下の集落の受益より、更に下流域の集落まで多数の受益効果が見込まれる。					
【公的関与の必要性】					
森林所有者による整備が困難であることと、渓流内に堆積する流木の所有者が判別できない為、町により緊急性の高い箇所を整備する必要がある。					
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】					
森林所有者に、税事業での実施を説明する際に、その他目的に転用しないよう説明をする。					
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】					
【情報発信の内容】					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税での実施をPRする為、施行中に幟を設置し、県民税での実施をPRした。			
ポスター掲示	今後	施行実績を、県民税パンフレットと共に庁舎内に掲示し、来庁者にPRをする。			
HP掲載	今後	施行実績を、大紀町HPに記載し、HP閲覧者にPRをする。			
7. 写真					
別紙のとおり					
8. その他特記事項					

対策区分 1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり

市町名 大紀町

事業名 溪流倒木等処理事業

7. 写真



写真1
野原引瀬地区 着手前



写真2
野原引瀬地区 作業中



写真3
野原引瀬地区 完成



写真4
神原北野地区 着手前



写真5
神原北野地区 作業中



写真6
神原北野地区 完成

対策区分 1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり

市町名 大紀町

事業名 溪流倒木等処理事業

7. 写真



写真7
阿曾大原野地区 着手前



写真8
阿曾大原野地区 作業中

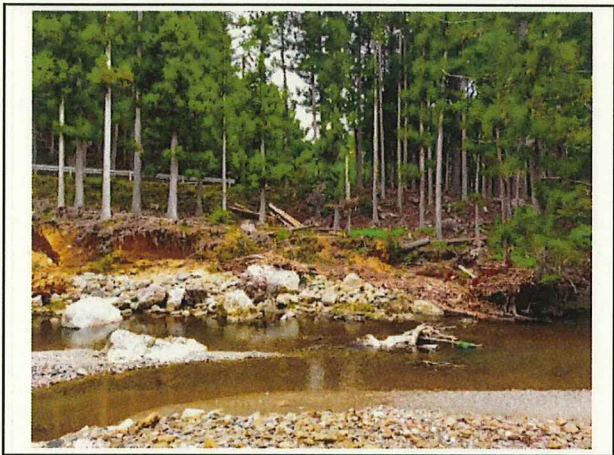


写真9
阿曾大原野地区 完成



写真10
柏野柿ノ谷地区 着手前



写真11
柏野柿ノ谷地区 着手前



写真12
柏野柿ノ谷地区 完成

対策区分 1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり

市町名 大紀町

事業名 溪流倒木等処理事業

7. 写真



写真13
崎下崎地区 着手前



写真14
崎下崎地区 作業中



写真15
崎下崎地区 完成

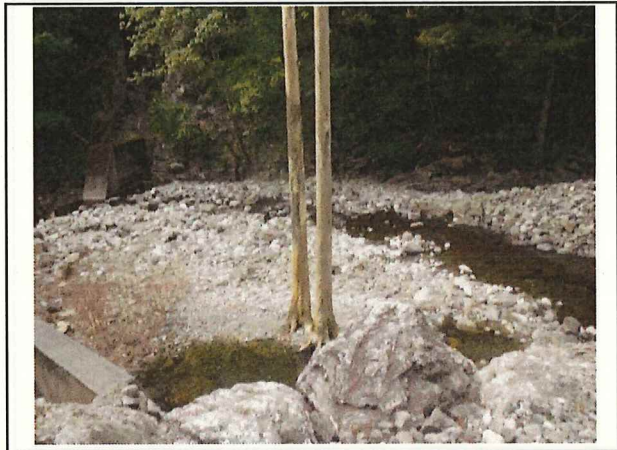


写真16
大内山池ノ谷地区 着手前

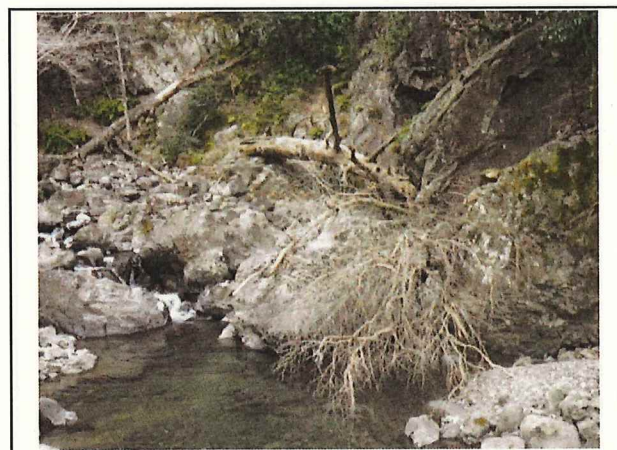


写真17
大内山池ノ谷地区 着手前



写真18
大内山池ノ谷地区 完成

対策区分 1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり

市町名 大紀町

事業名 溪流倒木等処理事業

7. 写真



写真19 大内山イヤ谷地区 着手前



写真20 大内山イヤ谷地区 着手前



写真21 大内山イヤ谷地区 作業中



写真22 大内山イヤ谷地区 完成

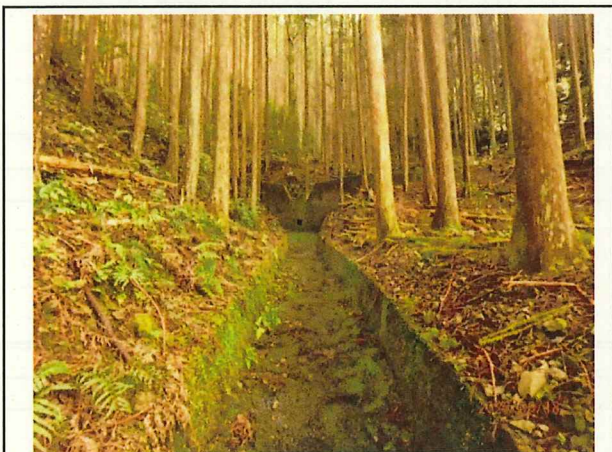
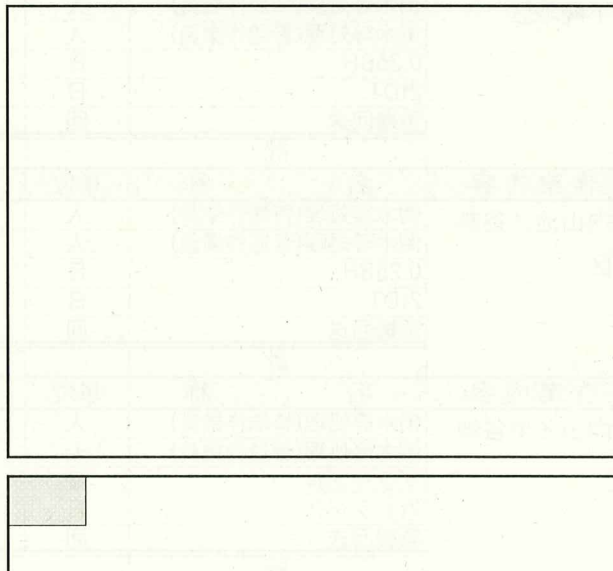


写真23 大内山イヤ谷地区 完成



対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町
------	-------------------------	-----	-----

事業名	溪流倒木等処理事業
-----	-----------

積算資料(実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
野原引瀬地区	式	1.00		344,800	
神原北野地区	式	1.00		181,100	
阿曾大原野地区	式	1.00		234,800	
柏野柿ノ谷地区	式	1.00		78,400	
崎下崎地区	式	1.00		420,400	
大内山池ノ谷越地区	式	1.00		244,600	
大内山イヤ谷地区	式	1.00		344,800	
諸経費				543,100	
合計				2,392,000	
請負業務価格				2,276,000	
消費税相当額				227,600	
請負額				2,503,600	
事業費					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
野原引瀬地区	倒木等処理(特殊作業員)	人	4.00	22,700	90,800	県単価
	倒木等処理(普通作業員)	人	8.00	19,600	156,800	県単価
	グラップル	日	4.00	15,000	60,000	見積
	2tトラック	日	2.00	8,600	17,200	建設物価
	重機回送	回	2.00	10,000	20,000	見積
	計					344,800

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
神原北野地区	倒木等処理(特殊作業員)	人	3.00	22,700	68,100	県単価
	倒木等処理(普通作業員)	人	3.00	19,600	58,800	県単価
	0.25BH	日	3.00	11,400	34,200	建設物価
	重機回送	回	2.00	10,000	20,000	見積
	計					181,100

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
阿曾大原野地区	倒木等処理(特殊作業員)	人	4.00	22,700	90,800	県単価
	倒木等処理(普通作業員)	人	4.00	19,600	78,400	県単価
	0.25BH	日	4.00	11,400	45,600	建設物価
	重機回送	回	2.00	10,000	20,000	見積
	計					234,800

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
柏野柿ノ谷地区	倒木等処理(普通作業員)	人	4.00	19,600	78,400	県単価
計					78,400	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
崎下崎地区	倒木等処理(特殊作業員)	人	7.00	22,700	158,900	県単価
	倒木等処理(普通作業員)	人	7.00	19,600	137,200	県単価
	0.25BH	日	7.00	11,400	79,800	建設物価
	2tDT	日	5.00	4,900	24,500	建設物価
	重機回送	回	2.00	10,000	20,000	見積
	計					420,400

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
大内山池ノ谷越地区	倒木等処理(特殊作業員)	人	4.00	22,700	90,800	県単価
	倒木等処理(普通作業員)	人	4.00	19,600	78,400	県単価
	0.25BH	日	4.00	11,400	45,600	建設物価
	2tDT	日	2.00	4,900	9,800	建設物価
	重機回送	回	2.00	10,000	20,000	見積
	計					244,600

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
大内山イヤ谷地区	倒木等処理(特殊作業員)	人	4.00	22,700	90,800	県単価
	倒木等処理(普通作業員)	人	8.00	19,600	156,800	県単価
	グラップル	日	4.00	15,000	60,000	見積
	2tトラック	日	2.00	8,600	17,200	建設物価
	重機回送	回	2.00	10,000	20,000	見積
	計					344,800

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	大紀町
番号	事業名				
2	生活環境林整備事業				
事業費	5,496,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,496,700	0	0

1. 事業の目的

公共施設や生活道路沿い及び人家裏等の倒木の恐れのある危険木を除去し、通常の暮らしの安全を図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】
公共施設や、生活道路及び人家裏の倒木や、その可能性がある危険木を除去し、暮らしの安全が向上しました。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】
大紀町

【補助率等】
補助事業ではなく、該当しない。

【箇所数】
生活道路：2箇所 人家裏危険木：3箇所 計5箇所

【事業量】
生活道路2箇所：30本 人家裏：150本 計180本

【事業実施期間】
令和2年6月9日～令和3年3月25日

【受益者、参加者、利用者数等】
受益戸数409戸

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【実施箇所の選定理由】
特に危険度が高く、緊急を要する箇所から、生活道路及び人家裏等の危険木の除去を実施。

【事業実施により得られた効果】
危険木を除去することにより、通常の生活の安全安心を確保できた。また、危険木を伐採したことにより、台風等の非常時に倒木等による通行止め等になる可能性を下げ、住民の避難への安全性が向上しました。

【整備した場所・施設・備品の今後の活用】
施設整備でなく、該当しない。

【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】
地域の代表者への聴き取りによると、地域の安全性が向上し喜んでいいる。

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	大紀町
番号	事業名				
2	生活環境林整備事業				
事業費	5,496,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,496,700	0	0

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

委託契約

【実施方法の選定理由】

森林所有者による整備が困難な箇所において、町が実施することにより、公共施設や生活道路等の特に緊急性の高い箇所において整備を進めました。

【契約方法と落札率または補助率等】

見積りによる随意契約。落札率94.9%

【契約相手方の選定理由】

現地及び、当該事業に精通している大紀森林組合を選定。

【事業費の積算根拠】

組合による各箇所の見積りを参考とし、積算し事業費を決定した。

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】

生活道路の危険木を除去したことにより、当該該当受益戸数より不特定多数の受益効果が見込まれる。

【公的関与の必要性】

森林所有者による整備が困難な為、町による緊急性の高い箇所を整備する必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

森林所有者に、税事業での実施を説明する際に、その他目的に転用しないよう説明をする。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税での実施をPRする為、施行中に幟を設置し、県民税での実施をPRした。
ポスター掲示	今後	施行実績を、県民税パンフレットと共に庁舎内に掲示し、来庁者にPRをする。
HP掲載	今後	施行実績を、大紀町HPに記載し、HP閲覧者にPRをする。

7. 写真

別紙のとおり

8. その他特記事項

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町
事業名	生活環境林整備事業		

7. 写真

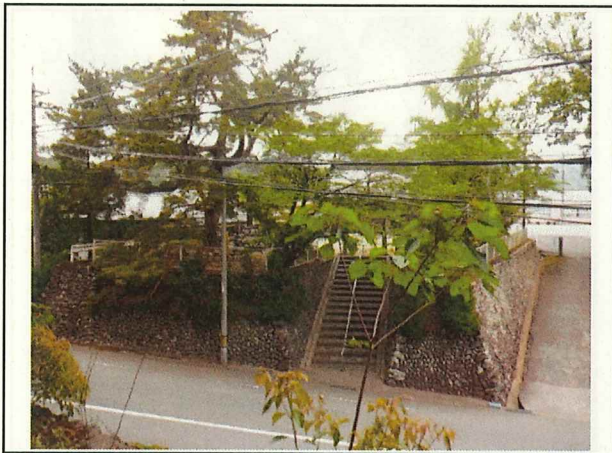


写真1
野原久保地区 生活道路着手前

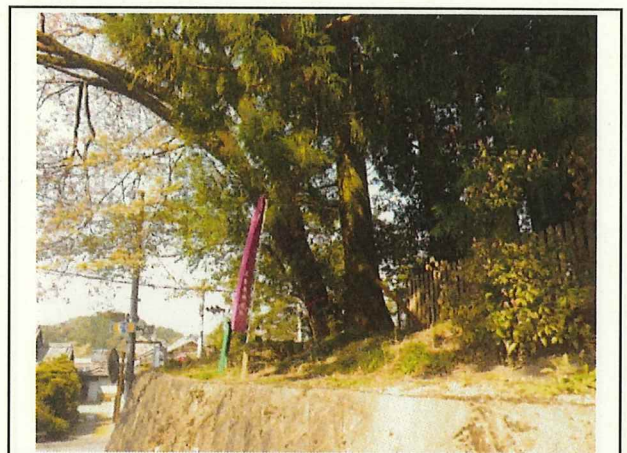


写真2
野原久保地区 生活道路着手前

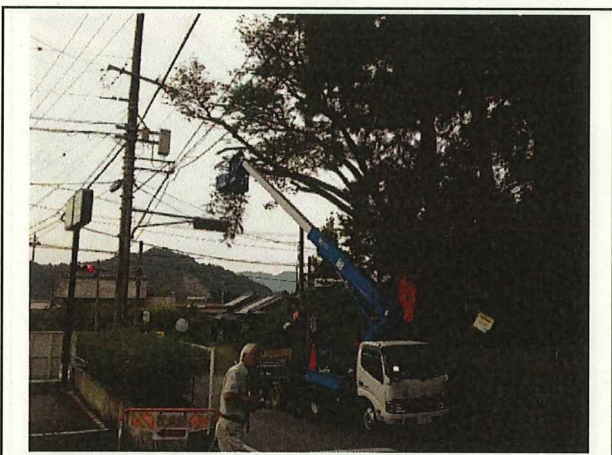


写真3
野原久保地区 生活道路作業中



写真4
野原久保地区 生活道路作業中



写真5
野原久保地区 生活道路完成



写真6
野原久保地区 生活道路完成

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	大紀町
-----	-----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7. 写真



写真7
滝原河原地区 人家裏危険木着手前

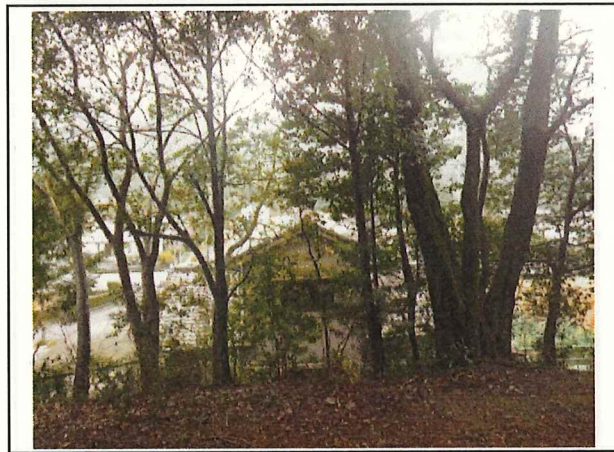


写真8
滝原河原地区 人家裏危険木着手前



写真9
滝原河原地区 人家裏危険木作業中



写真10
滝原河原地区 人家裏危険木作業中



写真11
滝原河原地区 人家裏危険木完成



写真12
滝原河原地区 人家裏危険木完成

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり
------	----------------

市町名	大紀町
-----	-----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7. 写真



写真13
滝原頓登原地区 生活道路着手前



写真14
滝原頓登原地区 生活道路着手前



写真15
滝原頓登原地区 生活道路作業中



写真16
滝原頓登原地区 生活道路作業中



写真17
滝原頓登原地区 生活道路完成



写真18
滝原頓登原地区 生活道路完成

対策区分 2. 暮らしに身近な森林づくり

市町名 大紀町

事業名 生活環境林整備事業

7. 写真



写真19
錦の場地区 人家裏着手前

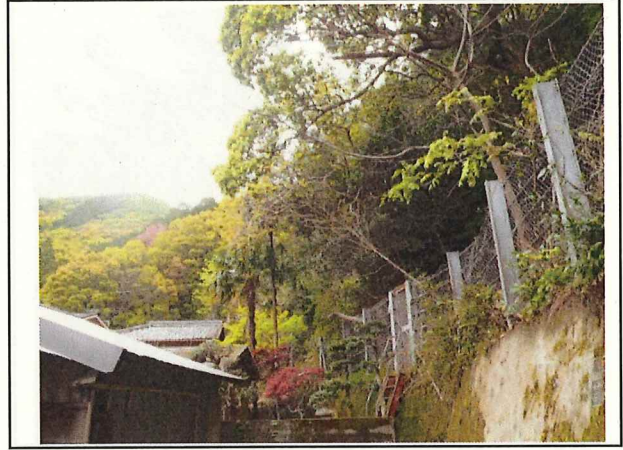


写真20
錦の場地区 人家裏着手前



写真21
錦の場地区 人家裏作業中



写真22
錦の場地区 人家裏作業中

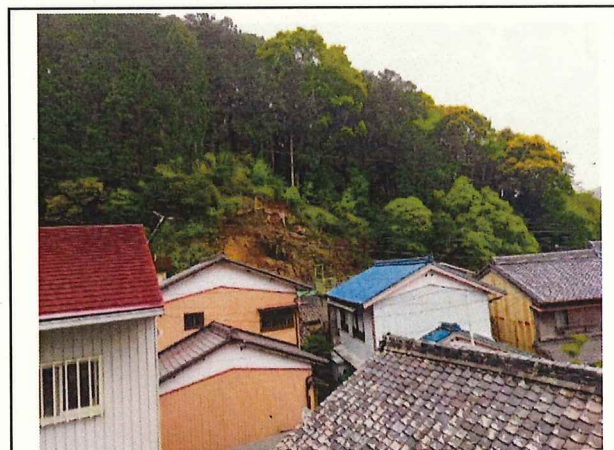


写真23
錦の場地区 人家裏完成

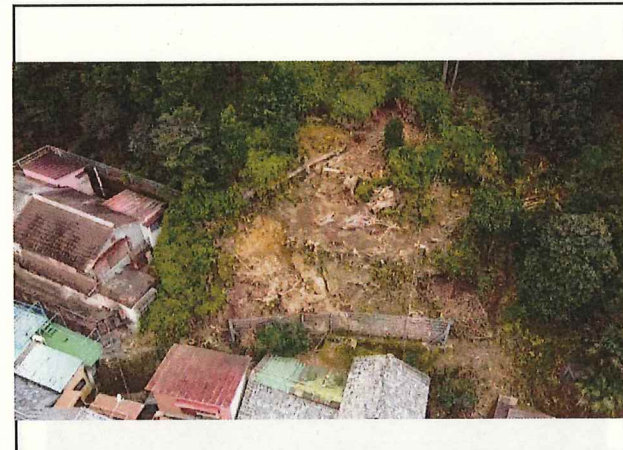


写真24
錦の場地区 人家裏完成

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	大紀町
-----	-----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7. 写真



写真25
大内山向駒地区 人家裏着手前

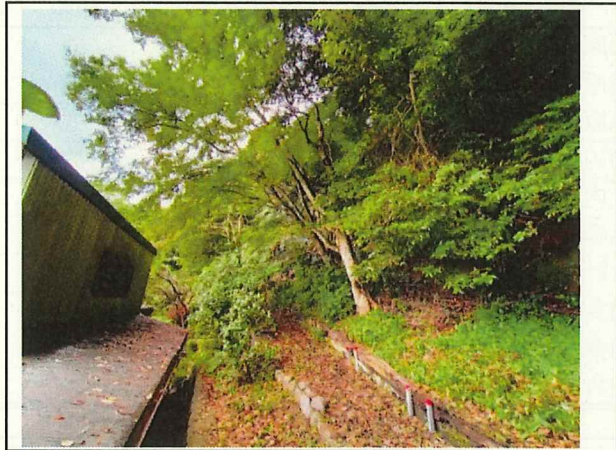


写真26
大内山向駒地区 人家裏着手前



写真27
大内山向駒地区 人家裏作業中

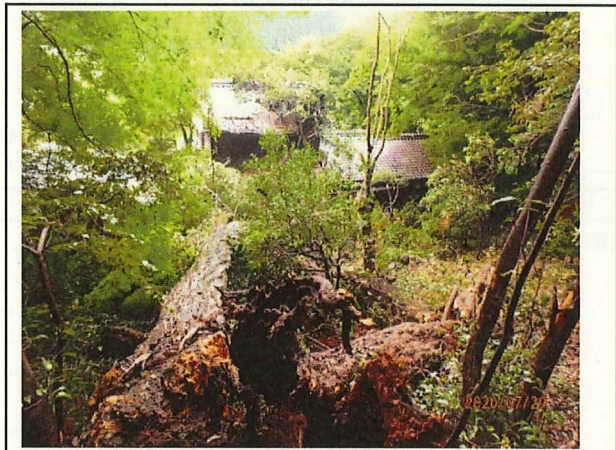


写真28
大内山向駒地区 人家裏作業中

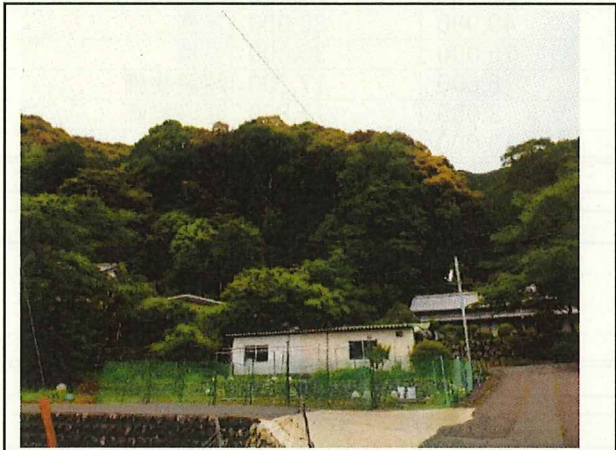


写真29
大内山向駒地区 人家裏完成

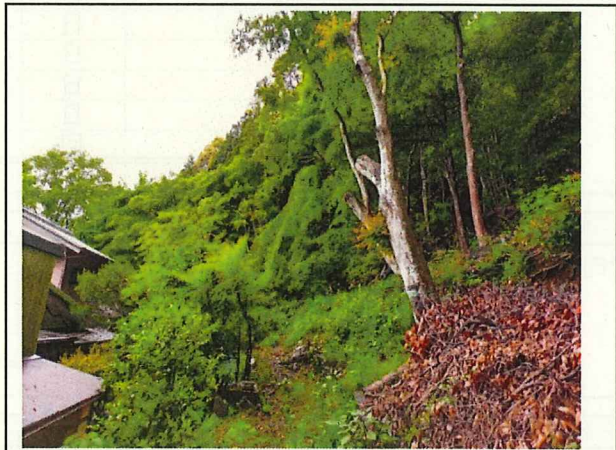


写真30
大内山向駒地区 人家裏完成

(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町
事業名	生活環境林整備事業		

積算資料(実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
野原久保地区	式	1.00		753,300	
滝原河原地区	式	1.00		1,739,300	
滝原頓登端地区	式	1.00		640,400	
錦の場地区	式	1.00		309,500	
大内山向駒地区	式	1.00		647,100	
諸経費				1,175,400	
合計				5,265,000	
請負業務価格				4,997,000	
消費税相当額				499,700	
請負額				5,496,700	
事業費					

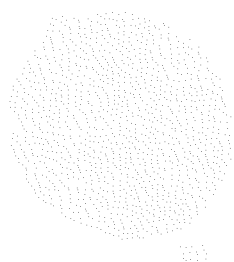
作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
野原久保地区	倒木等処理(特殊作業員)	人	9.00	22,700	204,300	県単価
	倒木等処理(普通作業員)	人	11.00	19,600	215,600	県単価
	高所作業車(12m)	日	3.00	40,000	120,000	見積
	高所作業車(22m)	日	2.00	40,000	80,000	見積
	グラップル	日	4.00	15,000	60,000	見積
	2tトラック	日	4.00	8,600	34,400	建設物価
	3tDT	日	2.00	8,900	17,800	建設物価
	交通誘導警備員	人	4.00	12,800	51,200	県単価
計					783,300	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
滝原河原地区	倒木等処理(特殊作業員)	人	15.00	22,700	340,500	県単価
	倒木等処理(普通作業員)	人	40.00	19,600	784,000	県単価
	高所作業車(22m)	日	5.00	40,000	200,000	見積
	グラップル	日	14.00	15,000	210,000	見積
	2tトラック	日	7.00	8,600	60,200	建設物価
	3tDT	日	14.00	8,900	124,600	建設物価
	重機回送	回	2.00	10,000	20,000	見積
計					1,739,300	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
滝原頓堵地区	倒木等処理(特殊作業員)	人	6.00	22,700	136,200	県単価
	倒木等処理(普通作業員)	人	12.00	19,600	235,200	県単価
	ラフタークレーン	日	2.00	52,000	104,000	建設物価
	高所作業車(27m)	日	2.00	40,000	80,000	見積
	グラップル	日	2.00	15,000	30,000	見積
	2tトラック	日	2.00	8,600	17,200	建設物価
	3tDT	日	2.00	8,900	17,800	建設物価
重機回送	回	2.00	10,000	20,000	見積	
計					640,400	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
錦の場地区	倒木等処理(特殊作業員)	人	5.00	22,700	113,500	県単価
	倒木等処理(普通作業員)	人	10.00	19,600	196,000	県単価
計					309,500	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
大内山向駒地区	倒木等処理(特殊作業員)	人	7.00	22,700	158,900	県単価
	倒木等処理(普通作業員)	人	24.00	19,600	470,400	県単価
	3tDT	日	2.00	8,900	17,800	建設物価
計					647,100	



南伊勢町

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

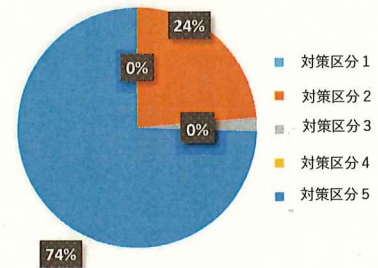
市町名	南伊勢町	三重県
人口（人）	11,461	1,782,190
年少人口割合（%）*1	6.1%	12.4%
森林面積(ha)	20,629.37	372,352.55
民有林面積(ha)*2	20,429.98	348,833.49
森林率(%)	85.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	0.2	10.1

*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



2. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木除去事業	2,737,900	2,731,000		2,731,000				
2	3	森林環境教育事業	205,700	205,000			205,000			
3	5	阿曾浦公園ウッドチップ舗装整備事業	8,580,000	8,580,000					8,580,000	
計			11,523,600	11,516,000	0	2,731,000	205,000	0	8,580,000	0

3. 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	公共施設の周辺や通学路・避難道等の危険木の除去や、森林環境教育事業で森を大切に思う子どもの育成、住民が木材に触れながら快適に過ごすことができる空間づくりなど、町民が将来にわたって安全安心に過ごしながらか森や緑と関わる機会を創出するため、県民税を活用させて頂いている。
事業実施により得られた効果	危険木の除去については、自然災害等による倒木を未然に防ぐことで、安全安心して暮らすことに寄与している。 森林環境教育事業については、森や緑の働きを知ったり触れ合うことで森と緑の大切さを理解し、将来の森林を守り続けていくことに寄与している。 阿曾浦公園ウッドチップ舗装整備事業については、町民が日常的に使用する公園をウッドチップ舗装することにより、木材に親しみ身近に感じてもらうことができている。また、区民が一堂に会する夏祭り等のイベントで使用されることにより、木や県民税を身近に感じてもらう機会となっている。
情報発信への取組	町の広報誌やHPへ掲載することにより、情報発信を行いました。 森林環境教育については、東海テレビでの放映や、町のケーブルテレビで放送して情報発信をしました。

令和2年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(円)	内、譲与税
1	② 意向調査	1,782	1,782
2	⑬ 木造公共建築物の整備等	2,024	2,024
3	⑰ 基金積立（森林整備等）	21,225	21,225
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	25,031	25,031

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	南伊勢町
番号	事業名				
1	危険木除去事業				
事業費	2,737,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,731,000		6,900

1. 事業の目的	<p>公共施設の周辺や通学路、避難道等の危険木を除去することで、災害に強い森林づくりを進めるとともに安心安全な街づくりを目指し、地域住民の生活環境の向上を図る。</p>
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 地域住民の要望を確認し、公共施設の周辺や通学路、避難道等の危険木の除去を行う。</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 南伊勢町（委託契約先：いせしま森林組合）</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない</p> <p>【箇所数】 2箇所（船越、大方竈） すべて私有林</p> <p>【事業量】 船越：大木5本、大方竈：45本程度(小さなものまで含めると100本以上)</p> <p>【事業実施期間】 令和2年11月10日～令和3年3月19日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 船越 502名 大方竈 33名 計535名 船越はゴミ集積所の近くで避難道沿いであり、日常の安全や台風等の災害時でも安全安心に避難できることに寄与している。 大方竈は通学路・避難道としても使用される主要道路沿いであり、子どもたちや区民が安全安心に暮らせることに寄与している。</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】 全地区へ要望調査を行い、要望箇所を確認して緊急性・必要性による優先順位をつけて実施箇所を選定した。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 通学路、避難道など、町民が日常に多く利用する道路や、緊急時にも利用する道路周辺の危険な状態の木が除去されたことにより、安全安心な街づくりに寄与した。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 日常の見回りなどの管理は区や所有者が行うこととし、規模が大きい整備については町が実施する予定。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 区民の反応について区長に聞き取りを行い、『事前に危険や災害を防ぐことができて良かった。とてもありがたい。』という声が上がっていることを確認した。危険木があればまず土地所有者に相談し、所有者が不明な場合や相談ができないなど、困った場合はぜひ県民税の活用を相談していただくよう説明をした。</p>

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	南伊勢町
番号	事業名				
1	危険木除去事業				
事業費	2,737,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,731,000		6,900

4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

委託

【実施方法の選定理由】

町からの業務委託により実施。緊急を要する事業であり、また伐採技術が必要なことや所有者の高齢化等の理由から住民活動での実施は難しく、業務委託とした。

【契約方法と落札率または補助率等】

3者による指名競争入札 落札率99.8%

【契約相手方の選定理由】

町の規定に基づき、度会町・大紀町・大台町の認定林業事業体から、指名競争入札で選定した。

【事業費の積算根拠】

見積りをもとに積算し、箇所をとりまとめたうえで発注した。（見積もり：直接費1,351千円(船越583千円、大方竈768千円)、間接費1,142千円、消費税249,300円 計2,742,300円)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【事業参加や整備施設等の公益性】

船越 502名 大方竈 33名 計535名

船越はゴミステーションの近くで避難道沿いであり、日常の安全や災害時でも安全安心に避難できることに寄与した。

大方竈は通学路としても使用される主要な道路沿いであり、子どもたちや区民が安全安心に通行できることに寄与した。

【公的関与の必要性】

通学路や避難道の安全は確保する必要があるが、高齢化も進んでおり、また伐採に技術が必要であることや、緊急に実施する必要性があるため、所有者による整備は困難であると考えられる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

通学路や避難道の安全のための緊急の危険木除去であり、箇所の転用の制限等は設けずに柔軟に対応していきたいと考えている。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施中	みえ森と緑の県民税の説明とともに、令和2年度事業実績として効果が分かりやすいように実施前と実施後の写真と併せて公開した。
広報誌掲載	今後	みえ森と緑の県民税の説明とともに、効果が分かりやすいように実施前と実施後の写真と併せて公開する。

7. 写真

別紙のとおり

8. その他特記事項

平成27年度からの継続事業。

(評価委員会資料)

対策区分 2. 暮らしに身近な森林づくり

市町名 南伊勢町

事業名 危険木除去事業

7. 写真



写真1
船越 事業実施前



写真2
船越 事業実施後



写真3
大方竈 実施前



写真4
大方竈 実施後



写真5
大方竈 実施前

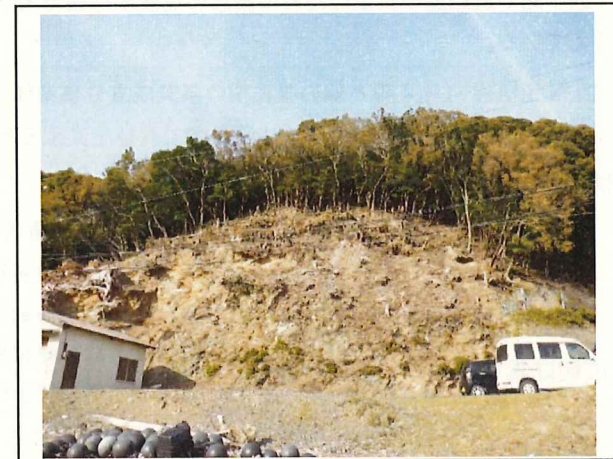


写真6
大方竈 実施後

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	南伊勢町
-----	------

事業名	危険木除去事業
-----	---------

積算資料 (実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採工(第1期・第2期)	箇所	2.00		1,339,000	
諸経費	式	1.00		1,150,000	
処分費	式	1.00		0	
消費税	%	10.00		248,900	
事業費				2,737,900	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
第1期伐採	危険木伐採工	箇所	2.00		1,193,000	
	諸経費	式	1.00		1,026,000	
	処分費	式	1.00		0	
	消費税	%	10.00		221,900	
	計				2,440,900	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
第2期伐採	危険木伐採工	箇所	1.00		146,000	
	諸経費	式	1.00		124,000	
	処分費	式	1.00		0	
	消費税	%	10.00		27,000	
	計				297,000	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり			市町名	南伊勢町
番号	事業名				
2	森林環境教育事業				
事業費	205,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			205,000		700

1. 事業の目的

森林や緑を大切に思い育む人づくりや、森林への理解を深めるため、小学生を対象に、森林の働きや木材について学びふれあう機会となる森林環境教育を実施する。

2. 事業実績概要

【事業内容】
町内の小学生を対象に、森や緑について学びふれあうことを目的とした木育教室を実施する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】
南伊勢町（委託契約先：いせしま森林組合）

【補助率等】
補助事業ではなく、該当しない

【箇所数】
2箇所（南島西小学校・南島東小学校）

【事業量】
南島西小学校：1～2年生児童20名
南島東小学校：1～2年生児童19名 計39名 及び学校関係者

【事業実施期間】
南島東小学校：令和3年2月15日 南島西小学校：令和3年2月19日

【受益者、参加者、利用者数等】
南島東小学校20名、南島西小学校19名、及び学校関係者に対し、森林のもつ働きや海との関係性を話すとともに、チェーンソーを使った木の切断を見たり、木の葉や幹の輪切りの提供や、木のマグネット作りを通して森林や木材と触れ合う機会を創出したことで、森林についての理解が進むことが期待される。

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【実施箇所の選定理由】
興味を持って森のお話を聞き、軽作業を楽しみながらできる低学年をベースに検討し、町内の2小学校の1～2年生を対象とした。

【事業実施により得られた効果】
森林や木材にふれあう機会が少ない現代の子どもたちにおいて、木や緑とふれあう貴重な機会であり、森林に興味を持ってもらえたとても良い機会になった。木のマグネットを作ったことは、保護者にも喜ばれたとのお話を先生からお聞きした。先生からも子どもたちも楽しんで取り組めたとの声をいただいた。
チェーンソーを使った木の切断は、音が大きくてとても驚いていた様子から、森林環境教育が子どもたちの印象に残ったのではないかと考えられる。

【整備した場所・施設・備品の今後の活用】
子どもが木とふれあう貴重な機会であり、楽しみながら体験が出来ることから、今後も継続的に森林環境教育を実施していきたい。

【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】
対象児童から、チェーンソーの音にとっても驚いたことや、マグネット作りが楽しかったとの意見が多かった。先生方からも好評であり、森林について触れ合いながら学ぶことができる貴重な機会であることから、対象学年を検討しながら今後も継続して実施していきたいと考えている。

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	南伊勢町
番号	事業名			
2	森林環境教育事業			
事業費	205,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金
			205,000	
				その他
				700
4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】				
【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】				
委託				
【実施方法の選定理由】				
専門的な立場から森林環境教育の重要性を認識した適切な教育を実施することができるため、森林・林業の専門家に委託している。				
【契約方法と落札率または補助率等】				
随意契約				
【契約相手方の選定理由】				
町の規定に基づき、随意契約を行なった。県民税を活用して設立されたみえ森づくりサポートセンターに森のせんせいとして登録がある方を選定した。				
【事業費の積算根拠】				
参考見積り。南島東小学校：85千円、南島西小学校：86千円(講師料・準備費・資材費・交通費含む)、間接費16千円、消費税18,700円 計205,700円				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【事業参加や整備施設等の公益性】				
南島西小学校19名、南島東小学校20名及び学校関係者に対して実施している。森林環境は文科省の学習指導要領で記載されているとおり教育が必要な事項である。事業を継続して実施することは森林を大切に育む子どもたちを育成することであり、公益性に寄与している。				
【公的関与の必要性】				
通常の授業のほか、総合的な学習として森林環境教育を実施することは、これからの地域を支える子どもたちにとって非常に重要である。また森林環境教育を校外の先生が行うことは、子どもたちの関心が格段に高まるなどの効果が期待できる。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
森林環境教育事業であるため、転用等が想定されず、該当しない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
HP掲載	実施中	みえ森と緑の県民税の説明とともに、令和2年度事業実績として実施中の写真や内容を発信している。		
広報誌掲載	実施後	町のできごと欄にて、実施中の写真と内容について発信した。		
のぼり設置	実施中	授業中、のぼりを設置した。		
TV（行政チャンネル等）	実施後	東海TVの夕方のニュース番組や、町のCATVにて、授業中の様子やインタビューを放送して情報発信した。		
7. 写真				
別紙のとおり				
8. その他特記事項				

(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	南伊勢町
-----	------

事業名	森林環境教育事業
-----	----------

7. 写真



写真1
森林環境教育 南島東小学校 令和3年2月15日



写真2
森林環境教育 南島東小学校 年輪かぞえ

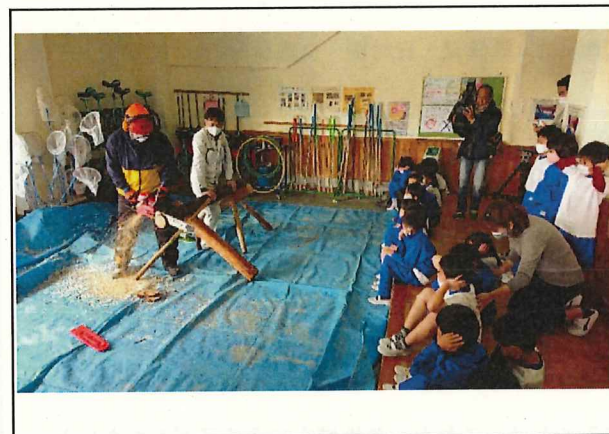


写真3
森林環境教育 南島東小学校 チェーンソー実演見学



写真4
森林環境教育 南島東小学校 マグネット作り

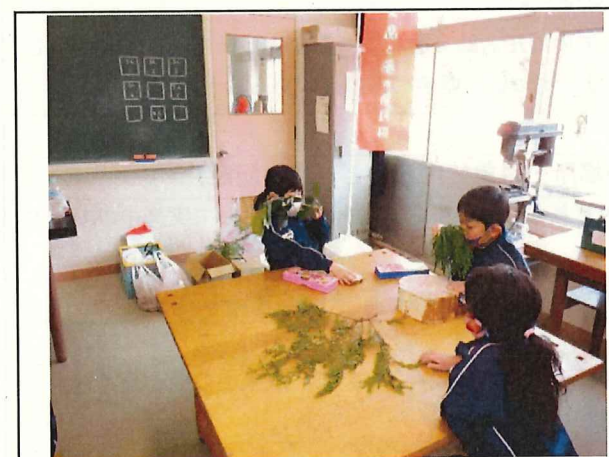


写真5
森林環境教育 南島西小学校 令和3年2月19日



写真6
森林環境教育 南島西小学校 令和3年2月19日

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	南伊勢町
-----	------

資料2-2

事業名	森林環境教育事業
-----	----------

積算資料（実績報告参考資料）

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
森林環境教育	式	1.00			
直接費	校	2.00		170,700	
間接費	校	2.00		16,300	
消費税	%	10.00		18,700	
事業費				205,700	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
南島東小学校	講師料 2限	人	2.00	9,000	18,000	
	準備費	式	1.00	48,000	48,000	
	資材費	式	1.00	18,000	18,000	
	交通費	式	1.00	1,000	1,000	
	計				85,000	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
南島西小学校	講師料 2限	人	2.00	9,000	18,000	
	準備費	式	1.00	48,000	48,000	
	資材費	式	1.00	18,000	18,000	
	交通費	式	1.00	1,700	1,700	
	計				85,700	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	南伊勢町
------	--------------------	-----	------

番 号	事 業 名				
3	阿曾浦公園ウッドチップ舗装整備事業				
事 業 費	8,580,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			8,580,000		0

1. 事業の目的	<p>町民が利用する公園をウッドチップで木質化することにより、木材に対する理解や関心を深め、木材とふれあう機会を増やすことで、誰もが木材や森林を身近に感じながら公園を利用できるように 4 か年計画で整備する。</p>
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 公園をウッドチップでの木質化による整備を行う。木材は県産材を調達し、三重の木を積極的に使うこととする。</p> <p>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】 南伊勢町 (契約先：株式会社大江建設)</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない</p> <p>【箇所数】 1 箇所 (阿曾浦公園)</p> <p>【事業量】 336㎡のウッドチップ舗装 (1,290㎡の公園を 4 か年計画で舗装)</p> <p>【事業実施期間】 令和 2 年 7 月 29 日～令和 2 年 10 月 26 日 ※ 4 か年計画のうち 3 年目</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 阿曾浦 659 名 当該公園は区民が集う憩いの場であり、地区のお祭りなどの行事もこの公園で行っている。もともと砂地であった公園がウッドチップで舗装されることにより、子どもたちや高齢者が安全快適に過ごすことに寄与している。</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p>【実施箇所の選定理由】 地区住民から舗装を望む声があり、公園をウッドチップで整備することで、子どもから高齢者までが身近に木材に触れる機会を増やし、また園児や小学生については裸足で遊べるような場としている。また、砂地であったため砂の飛散が多く、舗装することで飛散を防いでいる。</p> <p>【事業実施により得られた効果】 公園の整備が一部未完成の部分があるが、完成すればさらに理解が深まり喜ばれることが期待される。また木材の新しい使い方として知られることが期待される。ウッドチップ舗装は滑りにくい上にクッション性も高く、また水はけが良いのでコケも生えにくいことから、子どものケガの防止や高齢者の膝への負担が少なく、景観も損なわないことより住民の心身の健康面での効果が期待される。</p> <p>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】 町が維持管理を行い、区民が日常的に活用できるようにする。 阿曾浦区の大きなイベントである夏祭り等の際に、県民税のチラシを配布して、森林と海のつながりの説明や木材の利用啓発普及を行いたい。</p> <p>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】 区長や区民より、砂の飛散が少なくなったことや、クッション性があって利用しやすいと感謝の声が上がってきている。令和 3 年度事業で完成を目指している。</p>

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり			市町名	南伊勢町
番号	事業名				
3	阿曾浦公園ウッドチップ舗装整備事業				
事業費	8,580,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			8,580,000		0
4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】					
【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】					
工事請負					
【実施方法の選定理由】					
町が管理する施設であるため					
【契約方法と落札率または補助率等】					
指名競争入札。落札率97.9%					
【契約相手方の選定理由】					
町の規定に基づき、町内に本店を有する舗装（Aランク・Bランク）業者から、指名競争入札で選定した。					
【事業費の積算根拠】					
治山林道必携の公園工事及び見積もりによる					
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】					
【事業参加や整備施設等の公益性】					
阿曾浦 659名 当該公園は区民が日常使用する公園であり、子どもたちから高齢者まで安全安心に活用できる。					
【公的関与の必要性】					
町が管理する施設であるため。子どもから高齢者まで広く木材に触れながら活用していただくことや、砂の飛散で区民が困っていたこともあり、優先的に公的な整備が必要であった。					
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】					
公共施設の整備であるため、転用等が想定されず、該当しない。					
6. 情報発信度-【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】					
【情報発信の内容】					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
HP掲載	実施中	みえ森と緑の県民税の説明とともに、令和2年度事業実績として写真や事業内容を発信している。			
回覧板・掲示板	今後	近くの掲示板にみえ森と緑の県民税のチラシを掲示する。			
その他	今後	完成後、県民税による整備を行った旨の看板を立てることを予定。			
7. 写真					
別紙のとおり					
8. その他特記事項					
4ヵ年計画で、令和3年度で完成予定。					

対策区分 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり

市町名 南伊勢町

事業名 阿曾浦公園ウッドチップ舗装整備事業

7. 写真



写真1 阿曾浦公園 ウッドチップ舗装 前



写真2 阿曾浦公園 ウッドチップ舗装 後



写真3 阿曾浦公園 ウッドチップ舗装 前



写真4 阿曾浦公園 ウッドチップ舗装 後



写真5 阿曾浦公園 ウッドチップ舗装



写真6 阿曾浦公園 ウッドチップ舗装

対策区分 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり

市町名 南伊勢町 資料 2-2

事業名 阿曾浦公園ウッドチップ舗装整備事業

積算資料（実績報告参考資料）

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
純工事費	式	1		4,525,000	
現場管理費	式	1		1,930,000	
一般管理費	式	1		1,345,000	
消費税	%	10		780,000	
事業費				8,580,000	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
純工事費内訳	舗装工	式	1		4,082,000	
	共通仮設費	式	1		443,000	
		式	1			
		%	10			
	計				4,525,000	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計				0	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
	計					

